

(第六類 第二十四號)

(三九六)

第七十四回 帝國議會衆議院 輕金屬製造事業法案委員會議錄(速記)第

付託議案（審査終了ノモノヲ除ク）
工業組合法中改正法律案（政府提
出）

任命解職ノ事柄ガ全部ノ組合員ニ施行セラ

昭和十四年三月十八日(土曜日)午前十時二
一、開港

出席委員左ノ如シ

委員長代理 理事葉梨新五郎君

理事金本
理事中田
理事尾田
理事大井
理事太郎君
理事高橋君

池田 清秋君
寺島 権藏君

瀧澤
七郎君
牧野
良三君

長谷 長治君
木村 淳七君

阿部 茂夫君 渡邊 泰邦君

中村 高一君 渡邊玉三郎君

出席國務大臣左ノ如シ

商工大臣兼機務大臣
八田嘉明君

商工政務次官

商工參與官 澤田利吉君

商工省工務局長 東榮二君

臨時物資調整局次長 竹内 可吉君

海軍主計少將 山本丑之助君

シ 委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如

商工書記官 吉田 悅一郎君

第六類第一十四號 輕金屬製造事業法案委員會議錄 第八回 昭和十四年三月十八日

製造事業法案委員会

會議錄(速記)第八二

ルノデアリマス、併シナガラソレハ只今申
シタ通り特別ノ場合デアリマシテ、其ノ場
合ニ於キマシテモ、組合員ノ公正ナル多數
ノ意見ヲ十分ニ尊重スルト云フコトヘ、是
ハモウ間違ナクヤラナケレバナラヌコトデ
アルト考ヘマスノデ、御趣旨ノ點ハ全ク同
感ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

リシテ置イテ戴キタイト思ヒマスコトハ、只
モ、斯ウ云フ場合ニ政府當局者カラハツキ
戴カウトモ考ヘテ居リマセヌシタクレド
今ハ組合ノ役員ノ任命解職ト云フヤウナ事
柄ヲ、他ノ配給ト云フ事柄ニ關聯シテ斯ウ
云フ法文ニ無イコトヲモ行ツテ居ラレルヤ
ウナ場合ガアリマス、勿論サウ云フ場合ニ
於キマシテハ、相當理由ノアルコトグラウ
トハ思ヒマスケレドモ、ソレガ爲ニ實際ニ
携ツテ居ル組合員ノ或ル部分ノ者ニ、非常
ナル不満ト不快ノ念ヲ與ヘテ居ルヤウナ場
合ガアリマス、法律ガナクトモ斯様ナコト
ニナツテ居ル際デアリマスカラ、寧ロ之ヲ
法文化スルコトガ宜イトハ信ジテ居リマス
ルケレドモ、併シ第八條ノ追加事項ヲ本當
ニ行ハルル場合ニ於テハ、篤ト其ノ組合ノ

役員ニ對シマスルアリ監督林九郎イサレ居
マス點ニ付テ、只今御話ノ點ハ洵ニ御尤ナ
點デアリマス、申上ゲルマデモナク、役員
ノ選任解任ハ、特別ノ場合ニ限リサウ云フ
條項ヲ發動スルノデアリマス、今日工業組
合ノ役員諸氏ガ、非常ナ面倒ナル仕事デア
ルニ拘ラズ、多大ノ御苦心ヲナスツテ居ル
コトモ能ク諒承致シテ居ルノデアリマス、
唯場合ニ依リマスト、色々ト其ノ組合員ノ
仕事ノ上カラ隨分苦シイ立場ニ立タレル場
合モアリマセウ、又或ル場合ニハ、稀ナ場
合デアリマセウケレドモ、適當デナイ處置
ヲ執ルト云フヤウナ場合モアリ得ルト思フ
ノデアリマス、サウ云フ場合ニ、此ノ條項
ニ依ツテ、或ハ前者ノ場合ニハ其ノ役員ヲ
保護シ、或ハ後者ノ場合ニ於テハ其ノ更迭

得タコトト存ジマス、唯此ノ運用ヲ、本當ニシメテ置イテ戴キタイト云フコトヲ念ノ爲ニ申上ゲマス
尙ホ私ハ他ノ機會ニ於テ、一言ダケ大臣御考ヲ求メテ置キタイト思フコトガアツタノデアリマス、此ノ委員會デハ或ハ相應シカラヌコトト思ヒマスガ、物資配給ニモ關係シテ居リマスシ、工業組合法ニモ關係シテ居リマスカラ、一言ダケ申上ゲテモ違法デハナイト思フノデアリマス、機會ガアリマセヌデシクカラ、此ノ際大臣ニ御伺シテ置キタイト思フノデアリマスガ御許ヲ願ヒマス、ソレハ物資配給ニ關スル中ノ銑鐵ニ關スルコトデアリマス、今回鑄業法ノ改正其ノ他色々アリマスケレドモ、

得タコト存ジマス、唯此ノ運用ヲ、本當ニ其ノ局ニ當ラレル方ニ此ノ趣旨ヲ徹底セシメテ置イテ戴キタイト云フコトヲ念ノ爲ニ申上ダマス

尙ホ私ハ他ノ機會ニ於テ、一言ダケ大臣ノ御考ヲ求メテ置キタイト思フコトガアツタノデアリマス、此ノ委員會デハ或ハ相應シカラヌコトト思ヒマスガ、物資配給ニモ關係シテ居リマスシ、工業組合法ニモ關係シテ居リマスカラ、一言ダケ申上ゲテモ違法デハナイト思フノデアリマス、機會ガアリマセヌデシタカラ、此ノ際大臣ニ御伺シテ置キタイト思フノデアリマスガ御許ヲ願ヒマス、ソレハ物資配給ニ關スル中ノ銑鐵ニ關スルコトデアリマス、今回鑛業法ノ改正其ノ他色々アリマスケレドモ、

鐵鑛ニ關スル限リニ於テハ日本製鐵ニ御任セニナツテ居ラレルノデアリマシテ、本議會ニ提案サレルコトニ關シテモ、殆ド鐵ノ製造ニ關スルコトハ除カレテ居ルノデアリマスガ、先般ノ報道ニ依リマスト、獨逸デハ地下數千尺ノ所ニ五%ノ鐵鑛ヲ數億噸見付ケタト云フノデ、非常ニ喜ンデ居ルト云フ報道デアル、私共考ヘテ見マスニ、日本内地ニモ三五%乃至四〇%位ノ鐵鑛ハ——ソレマデ利用スルコトガ出来レバ、非常ニ多量ニアルコトト存ジマス、其ノ多量ニアルモノヲ利用シテ行ケバ、今日金貨ヲ拂ツテ南洋、印度アタリカラ持ツテ來ルモノヲ、相當補フコトガ出來ルト云フ確信ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、併シ是ハ素人ノ確信デアリマシテ、技術家カラ見タラ、私共ノ確信ハ殆ド空想ニ近イナドト申スカモ知レマセヌ、私共相當調查研究ノ結果左様ニ考ヘテ居ルケレドモ、未ダ以テ外國ノ良イ鐵鑛ニノミ憧レテ居ル、今日新聞ニモアリマスガ、之ヲ輸入スルニ非常ニ船腹ガ不足デ困ツテ居ル、斯ウ云フ場合ニ於テモ尙且富鑛ノミヲ漁ツテ居リマス、國內ノ資源ヲ開發スルコトガ、鐵鑛ニ關スル限リニ於テ非常ニ私ハ遺憾ナ點ガ多

法ヲ以テ鐵鑛ノコトヲ御考下サルナラバ、相當ナル利用價値ノモノガアルト思フ、素人考ナラバ、六〇ノモノト四〇ノモノヲ合セテ平均スレバ五〇ニナルカラ、ソレデ出来ルノダ、是ハ素人考デ、玄人ノ方面デハイケナイト申シマスケレドモ、イケナイト云フコトニ付テハ、ナゼイケナイカト云フ理由ヲ拜承シタク、二五%ノ鐵鑛ヲ一千尺ノ地下ニ發見シタ獨逸ノヤウニ出マセヌカト云フコトヲ伺ヒタイ、之ヲ致シマシタナラバ、南洋カラ來ル鐵鑛ヲ、十分トハ申シマセヌケレドモ相當量補フノミナラズ、金貨ヲ外國ニ拂ハナイト云フコトデアルカラ、相當補助助成サレルコトヲ日本製鐵株式會社ニ御命令ニナルコトガ私ハ必要ダト存ジマス、物資配給ノ點カラ、工業組合ト云フヤウナコトヲ考ヘテ、此ノ機會ニ大臣ノ御考ヲ伺ツテ置キタイト思フノデアリマス

○八田國務大臣 低品位ノ鐵鑛ニ付キマシテハ、御話ノ通り、私ノ承知致シテ居ル所モ相當内地ニモアリマス、又滿洲ニモアルノデアリマス、過去ニ於テハ例ヘバ滿洲ナドデモ低品位ノ四〇%以下ノヤウナモノ、特別ナル工法ニ依ツテ之ヲ利用シテ居リマスルコトハ、他ノ方面デ貧鑛ノ研究ヲスルヨリモ、日本製鐵デ貧鑛ノ研究ヲシテ居ル、其處ニ金ヲ掛ケルコトガ一番少クテ進歩シ

之ヲ十分ニ御監督ヲ願ヒタイト云フコトヲ附加ヘテ申上ゲテ置キマス
○葉梨委員長代理 牧野委員ニ御相談申上ゲマスガ、大臣ガ十一時カラ他ニ行カレルサウデアリマスカラ、アナタノ質疑ガ若シガ大臣ヲ要求シテ居リマスカラ、先ニ御許コトヲ、マダ私ハ聞イテ居リマセヌ、併シナガラ必ズソレハ出來ルモノト考ヘテ居リマスシ、又其ノ他ノ方面デモ、此ノ點ニ付テハ相當研究ガ進ンデ居ルヤウニ承知致シスカ
トノ點ガ研究サレテ、滿洲ニ於テモ是マデノ方法ニ依ラズニ、直チニ熔鑛爐ニ之ヲ利用スルト云フヤウナ方法モ案出サレテ居ルヤウニ私ハ承知致シテ居リマス、唯ソレガ今ドンナ風ナ程度ニナツテ居ルカト云フコトヲ、マダ私ハ聞イテ居リマセヌ、併シナガラ必ズソレハ出來ルモノト考ヘテ居リマスシ、又其ノ他ノ方面デモ、此ノ點ニ付テハ相當研究ガ進ンデ居ルヤウニ承知致シスカ
マス、隨ヒマシテサウ云フコトガ出來ルヤウニナリマスレバ、只今御話ノヤウニ日鐵等ニ於テモ十分考ヘテ居ルコトト存ジマスルノデ、商工省ト致シマシテモ、只今御話ノヤウナ或ル「パーセンテージ」以下ノモノヲ最モ有效ニ使フヤウニ、此ノ上トモ努力致シテ見タイト思ヒマス、ソレニ付キマシテハ外國方面デ研究サレテ居ルコトニ付テモ、モウ既ニ相當私ハ日本デ研究サレテ居ルト承知シテ居リマスケレドモ、更ニ努力致シタイト存ズル次第アリマス
○樋口委員 商工省ノ物資統制ヲヤラレル所ヲ見マスト、洵ニ其ノ場ニ差當ツタコトヲ處理シテ行クト云フヤリ方ノヤウニ思ヒマスガ、大體事變モ既ニ三年ヲ迎ヘテ居リマスルシ、尙ホ長期ニ亘ルト云フコトハ、既ニ一般モ豫期セネバナラヌ時デアリマスガ、一體我國ノ工業能力ヲ、軍需工業ト平和工業、之ヲドンナ割合ニ能力ノ分配ヲ御計畫ニナツテ居リマスカ、是ガ計畫ヲ樹テラレズニ、ヤハリ其ノ場當リナ處置ヲ執ラレルト、其ノ度每ニ困ル者ハ小サイ工業者ニアリマス、此ノ點ニ付テ御伺致シタイ
アリマスガ、是モ統制ヲシテ配給ノ圓滑ヲ

イト思フ、今日ノ產金ヲ獎勵スルガ如キ方

最近ニハ只今御話ノアリマシタヤウニ色々

圖ラウトセラレバ、直チニ品物ハ市場カ
ニ影ヲ隠ス、其ノ結果ハ闇取引トカ、或ハ
ニ物資ガ偏在シ、價格ガ不統制ニナツテ來
テ違反モ出來ル、物價ヲ抑制セラレル目的
デ最高價格ヲ御決メニナリマスト、直チニ
翌日カラ品物ガナクナリ、結局間モナク不
自然ナ所謂人氣暴騰ト云ヒマスカ、直チニ
最高價格ニ行ツテシマツテ居ル、其ノ度每
ニ又物價ヲ吊上ゲテ居リマス、ソレガ單リ
其ノ決メラレタモノバカリデナクシテ、何
レノモノモ賣惜ミ、買急グト云フガ爲ニ、
一般ノ物價ヲ値上スルト云フコトニナツテ
來テ居ルノガ現狀デアツテ、ナサレルコト
ハ何レモ是レ失敗ニ終ツテ居ルノデアリマ
ス、其ノ度毎ニドウ云フ者ガ一番直接迷惑
スルカト言ヒマスト、正直ナル所ノ者、中
小商工業ノ資力ノナイ者、是ガ一番先ニ迷
惑ヲ致シマシテ、延イテハ一般ノ國民ノ生
活上ニモ影響致スノデアリマス、此ノ點ニ
付テノ缺陷ハ相當種々ナ原因ガアルト思ヒ
マスガ、一體之ヲ主トシテドンナ所ニ缺陷
ガアリト見テ居ラレルカ、尙モ今後之ニ付
行カレル御考デアルカ、此ノ點ニ付テ御伺

○八田國務大臣 第一ノ御尋ノ、一口ニ言
ヘバ大工業ト其ノ反面小工業ト云フヤウナ
方面トニ對シテ統制ノ方針ハドウデアル
カ、斯ウ云フコトデアリマスガ、物資ノ點
カラ申シマシテ、是ハモウ私カラ申上ゲル
マデモナク、今日最モ重要缺クベカラザル
コトハ、目前ニ進行致シテ居リマスル戰爭
遂行ノ爲ニ必要ナル事業ハ、是ハドウシテ
モ確保シナケレバナラヌコトハ申上ゲルマ
デモナイノデアリマスガ、次ニ來ルモノハ
生産力擴充ノ問題デアリマス、生産力擴充
ガ主トシテ大工業ノ組織ニ依ツテ今日成シ
遂ゲラレントシツツアル譯デアリマスカラ、
ドウ致シマシテモ物資ノ配給ヲ確保シナケ
レバナラヌト云フコトニ相成リマス、然ラ
バ其ノ他ノ所謂小工業ニ屬スルモノニ對シ
テハドウナツテ居ルカト申シマスルト、是
ハ第一ニ輸出產業ニ關係致シテ居リマスル
モノニ對シテ、是非トモ物資ノ配給ヲ致ス、
其ノ物資ノ配給ノ中ニハ、申スマデモナク
輸入ニ仰グ物資ト國內產ノ物資トアル譯デ
アリマスルガ、何レニ致シマシテモ特ニ輸
入原材料ノ確保ヲ以テ、輸出產業ヲ出來ル
ダケ援助致シテ、過チナカランヤウニ物資
ノ配給ヲ致サナケレバナラヌト云フコトニ
相成ル譯デアリマス、サウスルト結局物

資ガ不足勝ニアリマスカラ、其ノ仲ノ平和産業ト申シマスカ、或ハ其ノ中ニハ代用品工業ト云フヤウナモノモ含ミマシテ、相當窮屈ニナルノデアリマス、之ニ付キマシテハ、代用品工業ト云フヤウナモノモニ對シテハ、已ムヲ得ズ轉業ヲ誘導致シテ居ル譯デアリマス、即チ組合制度ニ依リマシテハ大工業ト申シマスカ、時局産業ノ方へ向ケテ行クヤウナ風ニ致シ、或ハ輸出産業竝ニ代用品工業ニ轉業スルヤウニシテ、之ニ必要ナル所ノ組合制度竝ニ配給組織及ビ資政府ハ出來ルダケノコトヲ致シテ居ルノ云アリマス、而モ殘ル所ノ所謂平和産業ナルモノノ中ニハ、我國ト致シマシテモ、何慮マデモ維持シテ行カナケレバナラヌモノモ相當アルノデアリマスカラ、大變缺乏ノ由デハアリマスルケレドモ、企業ヲ續ケテ行キマスル最小限度ノ物資ヲ其ノ方ニ配給スルコトニ、實ハ努メテ居ルヤウナ次第アリマス、併シナガラ此ノ事モ今後ノ所謂戰時經濟體制ガドウ云フ風ニナツテ參リマスルカ、其ノ他ノ關係デ、當局ト致シマシタヤウナコマス、要スルニ只今申上ゲマシタヤウナコ

トニ必要ナル統制ヲ、大申小ノ工業竝ニ産業ニ加ヘテ居ルト云フコトハ、敢て御説明申上ゲルマデモナイコトデアリマスケレドモ、只今申上ゲタヤウナ氣持デヤツテ居ルヤウナ次第デアリマス

第二ニ、統制ニ關シテ起ル所ノ物價問題、之ニ付キマシテハ、是モ繰返シテ申上ゲマセヌガ、物ガ足リナクナルノデアリマスカラ、自然ニ物價ノ上ルト云フコトハ洵ニ已ムヲ得ナイコトデアルト思ヒマス、ト申シテ之ヲ放置スル譯ニハ參リマセヌノデ、或ル程度以上ニ不自然ナル物價ノ昂騰ヲ致シマスモノニ付キマシテハ、御承知ノ通リ抑制ヲ致シテ居ルノデアリマス、サウシシテソレニ對シマシテハ、出來ルダケ恒久的物價對策ヲ講ズベク、目下色々ト準備ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマスガ、應急處置ト致シマシテハ、所謂公定價格ヲ臨機ノ處置ヲ以テ定メマシテ、大シタ誤ノナイヤウニ手當ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、結局ハ此ノ事態方進ンデ參リマスレバ、全面的ニ物價ノ所謂恒久的抑制ト申シマスルカ、合理的價格ヲ決定シテ參ラナケレバナラヌト考ヘテ居ルノデアリマス、之ニ付キマシテモ配給ノ圓滑ヲ圖リ、出來ルダケ自發的ノ抑制ト云フコトヲ希望致シテ已マナイ次第デ

アリマスガ、一方ニ於テハ統制ヲ強化シテ
進ンデ行クト云フコトモ亦已ムヲ得ナイト
考ヘルノデアリマス、左様ニ御諒承ヲ願ヒ

○樋口委員 時間ガアリマセヌカラ、モウ

「ストック」ニ對スル免稅點ト云フモノヲ大藏省ノ方ニ設ケテ居リマスガ、此ノ「ストック」ニ對スル免稅點ノ爲ニ、物資ガ益々偏在シテ行ク、此ノ程度マデハ買ツテモ宜イ、持ツテ居レルト云フコトデ、結局資力ノアル者ハ其ノ程度マデ買フ、ダカラ「ストック」ノ免稅點ト云フモノガアリマス爲ニ、一面物資ノ統制ヲ圖ル上カラ行キマシテモ、却テ偏在ヲ懲懲スルヤウナ結果ニナツテ居ルノデアリマス、ソレニ對シマシテ、是モ徵稅上ノ都合ガアツテイカスト云フコトデアリマセウガ、要ハ消費稅デアリマス以上ハ、四月一日ニナリマスレバ消費著ハ皆稅金ヲ出スモノデアツテ、商人ハ稅金ダケ高ク賣ルニ決ツテ居ルモノデアリマスカラ、私共ハ斯ウ云フ時局下ニ於ルヶ增稅ニ際シテ、「ストック」品ニ對スル免稅點ヲ設ケルト云フ場合ニハ、先づ物資ノ偏在ト云フコトヲ考慮ノ中ニ入レテ戴カナケレバナラヌト思フ、現在増稅ノ項目ニナツテ居ルモノハ悉ク製

造屋ニハナインデアリマス、資力ノナイ者ハ
買置ク譯ニモイカヌシ、ドウスルコトモ出
来ヌ、結局公定價格ヲ決メテナイ所ノモノハ
益、暴騰ヲシテク行ノデゴザイマス、此ノ「ス
トック」品ニ對スル免稅點ノ爲ニ、品物ガ必ズ
高クナツテ來ルト思フノデアリマシテ、斯
ウ云フ品物デ公定相場ノ決ヌテナイト云フ
ヤウナモノガ澤山アルノデゴザイマスガ、此
ノ物價ノ昂騰ニ對シテ、商工省ハ如何ナル對策
ヲ講ゼントシテオ居デニナルノデアルカ、
現ニ事情ヲ御調ニナレバ能ク分リマス、モ
ウ日夜製造シテ、而モソレハ增稅以上ニ高
ク賣ツテ居ルノデアリマス、是ニハ色々都
合モアリマセウガ、併シ商工省トシテ、增
稅ニ加フルニ物價ヲ高メテ行クト云フコト
ニナレバ、需要者ノ負擔スル消費稅ハ二重
ニモ出サナケレバナラヌコトニナツテシマ
フノデアツテ、是ハ物資ノ偏在ガ其ノ原因
ヲ爲シテ來ルト思フノデアリマス、之ニ對
シテ物價ノ暴騰ヲ防グ對策ガオアリニナル
カ、其ノ結果一番打撃ヲ受ケル者ハ資力ノ
ナイ者、見越買ヲシテ置クコトノ出來ヌ者
デアリマス、サウ云フ者ハ已ムヲ得ズ知ラ
ズ識ラズノ裡ニ闇取引モシマセウ、公定價
格ノナイモノハ自然高イモノヲ仕入レテ行
カナケレバナラヌ、隨テ消費者ハ稅金ノ上

ニサウ云フ高イ値段ヲ以テ買ハナケレバナ
ラヌ、併シソレデモ物ガ間ニ合ハヌデ、小
工業ノ者ガ皆困ル、今回小工業ノ爲ニ小組
合ト云フモノヲ御作リニナツタノハ、其ノ
對策トシテデアラウト思フノデアリマスガ、
此ノ小組合ト云フコトニ對シテ、昨日來色
色政府委員ノ御答辯ヲ聽イテ居リマスト、
免ニ角資力ノナイ者ニ適切ナル共同施設ヲ
シテ活躍セシメルモノデアルト云フ御話デ
ゴザイマス、是ダケヲ承レバ至極結構ノヤ
ウデアリマス、從來ニ於テモサウ云フ施設
ガ講ゼラレ、歷代ノ政府ガ中小商工業ノ救
濟策トシテ爲シテ居ルノガヤハリ同ジ意味
デアルノデアリマスガ、今回斯ウ云フコト
ヲ特ニ商工省ガ、過去ノ實績ノ擧ラザル中
小工業者救濟ノ實情ヲ見テ居ラレル上ニ於
テ、特ニヤラレルト云フコトニ付テハ、餘
程ノ御決心ガナクテハナラヌト私共ハ思フ
ノデアリマス、如何ニシテ是ガイカヌカト
言ヒマスト、御承知ノ通リニ是ハ低利資金
ヲ以テヤラナケレバナラヌコトデアリマス、
低利資金ヲ融通スル場合ニ於テ、勸業銀行
デモ農工銀行デモ、擔保ノ有ル者、資力ノ
有ル者ニアラザレバ貸サヌノデアリマス、
故ニ從來ノ小工業ニ低利資金ヲ貸スト言ハ
レテモ、其ノ借リテ居ル者ハ資力ノ有ル人

テアツテ資力ノ無イ者ハヤハリ之ヲドウス
ルコトモ出來ヌコトハ、過去ノ實例デ明
カデアリマス、今回ノ小工業ニ低利資金ヲ
融通スルコトニナリマスト、政府ハ從來ノ
如ク低利資金ヲ融通スルト云フダケデ置ク
ノカ、或ハ政府ガ再補償ヲ致シマスルカ、
即チ損失補償ノ制度ニ依ツテ、若シヨウ返
サヌ時ニハ、政府ガ其ノ責任ヲ持ツテヤル
ノダスウ云フヤウナ建前デ進マレルナラバ
ソレハ宣シイ、而モ今日茲ニ参考書トシテ
貢ヒマシタモノノ中ヲ見マシテモ、此ノ損
失補償ニ對スル低利資金ノ融通ト云フコト
ガアルガ、何レノ府縣ニモ實績ガ譽ツテ居
ラヌノデアリマス、之ニ對シテ商工大臣ハ
如何ナル覺悟ヲ持ツテオ居ニナリマスカ、
御伺致シマス、私共ガ昨日カラ聽イテ居リ
マスト、御助金ヲ七十五万圓位用意ラシテ
居ルトカ、或ハ低利資金ヲドレグケ用意シ
テ居ルトカ言ハレルケレドモ、第一補助金
ヲ貰フニシテモ、事業ヲヤル者ハ補助ニ對
スル幾分ハ持タナケレバナラヌ、若シソレ
ツテ行ク、デアリマスカラ結局力ノ有ル者
ハ事業ヲヤレルガ、力ノ無イ者ハ依然トシテ
御心配ニナラヌデモ、ソレ等ノ人ハ自力デヤ
同ジヤウナコトニナル、此ノ小組合ヲ拵ヘ

テ、小工業者ノ最モ困窮シテ居ル者ヲ救濟ニ對スル處置トシテハ、七十五万圓ノ施設ノ補助ハ、全國三十万ト見テ、一人ニ付テ二圓五十錢バカリニナルノデアリマス、之ヲ幾組合ニヤルカト云フコトハ又後デ御伺シマスガ、兎ニ角商工省ト致シマシテ、斯ウ云フ劃期的ノ一つノ方法ヲ考ヘルナラバ、其ノ組合員ノ借リラレル處置ヲスルナラバ、少クトモ三億圓、四億圓ノ金ヲ用意シナケレバ、是ハヤレルモノデハナイノデアリマス、若シソレガヤレスト云フヤウナコトナラバ、全クソレハ出來ナイ事ヲ、所謂小工業者ノ苦シニ居ルノヲ、謂ハバ斯ウヤツテ救濟スルト云フヤウナ名前ダケニ見エルノデゴザイマス、又二億圓トカ三億圓、四億圓ト云フ金ハ、勿論今日ノ非常時ニ於テ、政府トシテモ容易ナラザル事デアリマスケレドモ、從來此ノ小工業者ハ我國ノ工業ノ大多數ヲ占メテ居リ、最モ其ノ中堅ヲ成シテ、今日ノ我國ノ工業ヲ現狀ニ至ラシメテ居ルコトヲ考ヘル時ニ、之ヲシテ今ニ於テ助成シ、尙ホ益、今後活躍セシメルト云フコトハ、第一我國ノ工業ト云フモノヲ進メテ行ク一番根本問題デアル、其ノ中小工

業ヲ潰シテ、以テ軍需工業へ轉業サセルトニ
チ者ヲ軍需工業ニシヨウトシテモ、實際ニ
轉業シテ行ク者ハ千分ノ一位ノモノデ、サ
ウスウ言ツテ居ル内ニ濟ンデシマフヤウナ
實情ニナルニ付テハ、此ノ二億トカ三億ト
云フ金ハエライケレドモ、此ノ場合軍需工
業ト相並行シテ、平和工業ヲモツト進ヌテ
行ク、而モ其ノ中堅ヲ成シテ居ル此ノ小企
業者ヲ救濟助成スルト云フコトニ向ツテ
ハ、斷然タル覺悟ヲ以テ進ンデ然ルベキダ
ト私ハ思ツテ居ル、又大臣モ其ノ御決心ガ
アツテナサレタト思ヒマスガ、是等ニ付テ
先づ詰ラヌ者ガ借リラレル方法ヲ簡單ニ
リタイ

ソレカラ監督ノ強化ト、其ノ命令ノ範圍
ヲ擴大スルト云フコトニ付テデアリマス、
先程瀧澤君カラモ之ニ付テノ御尋ガアリ、
又昨日來色々ニ伺ツテ居ルノデアリマス、
兎ニモ角ニモ工業組合ナドト云フ實施團體
ノ斯ウ云フ私法人ニ對シテ、政府ガ其ノ役員
ヲ任命シ、解職スル、尙ホ又定款マデモ命
令ヲ以テヤルト云フヤウナ、機構ノ内容ニ
立入ルト云フコトハ工業組合員ノ自主的
神ヲ喪失セシメ、圓満ナル協調ヲ缺クシ、
不平不滿モ起ツテ來マスシ、ソレガ、爲ニ

思想上甚ダ容易ナラヌ結果ヲ來スノデアリマス、今ヤ國民ハ總親和、或ハ協力一致シテ、官民相反目スルヤウナ結果ニナリ一曲ナケレバナラヌ場合ニ於テ、斯様ナコトヨ打壊ス結果ニナルト思ヒマス、之ニ付テハ勿論サウ云フ御考ガアツテ出サレタモ、デハナイデアリマセウケレドモ、結果ニシテサウ云フコトニナリマス、此ノ點ニ付テ是ダケ申上ゲタダケデハ御分リニクカラムト思ヒマスカラ、現在ニ於ケル政府ノ指導、監督、命令等ニ於ケル實情ヲ先ヅ申上ゲマシテ、是ガ運用上如何ニ危險極マルノデアルカト云フコトニ付テ、大臣ノ御認識ヲ御願ヒ致シタイト思フノデアリマス、先ヅ最近ノ例ヲ申上ゲマスレバ、兎ニ角矢力ナル組合ガ、役員ノ満期改選ヲ致シテ、サウシテ地方廳へ持ツテ行ツタ、所ガソレハ不適任ダカラ認可ヲセヌ、コチラ委セロ、コチラカラ選任シテヤルカラソコデ縣ハ認可セス、又組合ハソンナ事ヲ承服ガ出來ナイトシテ、總代會ノ何十人トシテ者ガ寄り合ツテ見タガ決マラナイ、結果

一方ハ認可セヌ、一方ハ縣ノ言フコトニハ
委セラレス、委セラレス譯ダ、何年モノ間
圓滿ナノデアル、特別ナ事情ノアル譯ズモ
ナシト云フノデ、サウ云フヤウナ問題ニ先
づ逢著致シマシタ、縣ハ認可セヌ、組合ハ
縣ノ言フコトニハ從ハヌノガ當然デアリマ
ス、適法ニ圓滿ニ選出シタ者ナルニ拘ラ
ズ、之ヲ認可セヌ、認可スペキ官廳ガ之ヲ
自身特別ニ任命スルトカ、云フコトハ何デ
アルカ、私共ハ分ラヌニ依ツテ、縣ノ方へ行
ツテ調べテ見マスト、課長ハ新任デアリマ
ス、一向實情モ分リサウニモナイ、仍テ經
濟部長ニ聽イテ見レバ、經濟部長モ亦知ラ
ナイ、知事モ勿論之ヲ知ラヌ、サウシテ其
ノ間約三十日モ執ツテ居ル、二百人モ事務
員ヲ持ツテ居ル組合ガ、ソレガ爲ニ十分
ナ執務ガ出來ズ、又千何百人ト云フ組合
員ガ、全クスウ云フコトニ當惑サセラレ
テ居ル、段々調べテ見ルト、是ハ本省ノ方
カラ指圖ヲシテ居ル、現ニ此處ニオ居デニ
ナリマスル工業組合課長カラ指圖ヲシテ居
ル、ナゼサウ云フコトヲナサルカト言ツテ
犯規ヲ犯シタヤウナ者ハ罷メテ貰ハナケレ
バイカヌ、第八條ヲ適用シテ、組合ニハ此
方カラサウ云フ指圖ヲスル權利ガアルト言

フ、斯ウ云フ法文ヲ立テテ、全ク法ニ使ハレテサウ云フ指圖ヲスル、ソコデ私共モ長イ物ニハ卷カレロ、補助金ヲ貰ツタリ何カセヌデハヤレヌカラ、商工省ノ御機嫌ヲ取ラナケレバナラヌ、仍テ之ヲ言フニ任セテ今日總改選ヲ致シマシタ、ソシテ今ヤツテ居リマスガ、現在選シング理事ト前ノ理事トデハ、劣ルト雖モ勝ル筈ハナイノデアリマス、ソコデ昨日來屢々皆サンカラ綱紀肅正ニ付テノ御話が出て居ルガ、其ノ犯罪ハ何デアルカト云フト、補助金ヲ詐取シタト云フノデアリマス、ソシテ同時ニ是ガ瀆職罪、是ダケ聞キマスト如何ニモ重大ナ犯罪ノヤウデアリマスガ、地方ノ者方商工省へ参りマスルト、先づ商工省デハ話ガ付カヌノデアリマス、ソレダカラマアタ飯デモ食ヒニ行カウカト云ツテ誘ハレル、ソシテ其處デ夕飯デモ食ツテ好イ氣持ニナツタ時ニ、廊下ニ出テ一寸五十圓貸シテ吳レ、百圓貸シテ吳レト言ハレバ、地方カラ來タ者ハ、五十圓、百圓ノ金ヲ無イトモ言ハレヌシ、若シソコデ斷ツタナラバ、必ズヤ自分ノ要求シテ居ル補助金ニモ非常ナ難題ヲ付ケラレルニ違ヒナイ、板挾ミニナツテ已ムヲ得ズ其ノ金ヲ立替ヘル、是ハ一面其ノ人カラ見レバ、社會儀禮ダト思ツテ之ヲヤツタノ

デアリマス、所ガ商工省ノ方ハドウダト云ヘバ、犯罪者ヲ出シタト云フ、繩付キハ商工省が出シテ居ル、而モ其ノ例ハ全國一般デモノガ澤山出テ居ルノデゴザイマス、元ハト云ヘバ商工省ガ即チ其ノ犯罪ヲ起サセルベク、懲罰ヲセラレタ、補助金ヲ詐取スル方法ヲ教ヘラレタモ見エルノデゴザイマス、サウ云フヤウナ者ガ一人入ツテ居ルト云ツテ、ソレガイカスト云フナラ、他ノ幾多ノ組合ニ果シテサウ云フ犯罪人ヲ入レヌカト云ヘバ、其ノ當時ソレヨリ以上ナル人ノ役員デゴザイマス、此ノ聯合會ノ役員ガ、皆聯合會ノ役員デゴザイマス、此ノ聯合會ノ役員ガ、人モ縣竝ニ商工省ニハ分ツテ居ル、他ノ専務理事ヤ何カハ認メテ居ル、ソレヲ何ノ爲ニ此ノ人ニ限ツテ言フカト云ヘバ、ソレハ商工省ニ意中ノ人ガアル、意中ノ人ガアルガ爲ニ、心ナラズモサウ云フ理窟ヲ付ケテ言フノデアリマスルガ、是等ノ點カラ見マシテモ、先以テ第一次監督ハ縣廳デアル、ソレヲ差措イテ商工省ガ色々指示ヲシ、却テ組合ニ迷惑ヲ掛ケル、若シソレ商工省ノ言ハレル通リニ其ノ人ヲ入レマシタナラバ、其ノ組合ハ直チニ紛糾ヲ起スコトハ、火ヲ賭ルヨリモ明カナル現状ニアツタノデゴザイマス、其ノ指圖ヲ地方長官ガヤツタト云フノナラ又別デアリマスガ、何レモ商工省

ガヤツテ居ル、ソレカラ次ニ然ラバ其ノ第一次監督ニ喙ヲ容レラレルナラバ、自分ノ直轄シテ居ル聯合會ニ對シテノ指導監督ハアル、何レノ府縣デモ此ノ犯罪ト同一ナルト云ヘバ商工省ガ即チ其ノ犯罪ヲ起サセルノガ澤山出テ居ルノデゴザイマス、元ハト云ヘバ商工省ガ即チ其ノ犯罪ヲ起サセルベク、懲罰ヲセラレタ、補助金ヲ詐取スル方法ヲ教ヘラレタモ見エルノデゴザイマス、サウ云フヤウナ者ガ一人入ツテ居ルト云ツテ、ソレガイカスト云フナラ、他ノ幾多ノ組合ニ果シテサウ云フ犯罪人ヲ入レヌカト云ヘバ、其ノ當時ソレヨリ以上ナル人ノ役員デゴザイマス、此ノ聯合會ノ役員ガ、皆聯合會ノ役員デゴザイマス、此ノ聯合會ノ役員ガ、人モ縣竝ニ商工省ニハ分ツテ居ル、他ノ専務理事ヤ何カハ認メテ居ル、ソレヲ何ノ爲ニ此ノ人ニ限ツテ言フカト云ヘバ、ソレハ商工省ニ意中ノ人ガアル、意中ノ人ガアルガ爲ニ、心ナラズモサウ云フ理窟ヲ付ケテ言フノデアリマスルガ、是等ノ點カラ見マシテモ、先以テ第一次監督ハ縣廳デアル、ソレヲ差措イテ商工省ガ色々指示ヲシ、却テ組合ニ迷惑ヲ掛ケル、若シソレ商工省ノ言ハレル通リニ其ノ人ヲ入レマシタナラバ、其ノ組合ハ直チニ紛糾ヲ起スコトハ、火ヲ賭ルヨリモ明カナル現状ニアツタノデゴザイマス、其ノ指圖ヲ地方長官ガヤツタト云フノナラ又別デアリマスガ、何レモ商工省

ガヤツテ居ル、ソレカラ次ニ然ラバ其ノ第一次監督ニ喙ヲ容レラレルナラバ、自分ノ直轄シテ居ル聯合會ニ對シテノ指導監督ハアル、何レノ府縣デモ此ノ犯罪ト同一ナルト云ヘバ商工省ガ即チ其ノ犯罪ヲ起サセルノガ澤山出テ居ルノデゴザイマス、元ハト云ヘバ商工省ガ即チ其ノ犯罪ヲ起サセルベク、懲罰ヲセラレタ、補助金ヲ詐取スル方法ヲ教ヘラレタモ見エルノデゴザイマス、サウ云フヤウナ者ガ一人入ツテ居ルト云ツテ、ソレガイカスト云フナラ、他ノ幾多ノ組合ニ果シテサウ云フ犯罪人ヲ入レヌカト云ヘバ、其ノ當時ソレヨリ以上ナル人ノ役員デゴザイマス、此ノ聯合會ノ役員ガ、皆聯合會ノ役員デゴザイマス、此ノ聯合會ノ役員ガ、人モ縣竝ニ商工省ニハ分ツテ居ル、他ノ専務理事ヤ何カハ認メテ居ル、ソレヲ何ノ爲ニ此ノ人ニ限ツテ言フカト云ヘバ、ソレハ商工省ニ意中ノ人ガアル、意中ノ人ガアルガ爲ニ、心ナラズモサウ云フ理窟ヲ付ケテ言フノデアリマスルガ、是等ノ點カラ見マシテモ、先以テ第一次監督ハ縣廳デアル、ソレヲ差措イテ商工省ガ色々指示ヲシ、却テ組合ニ迷惑ヲ掛ケル、若シソレ商工省ノ言ハレル通リニ其ノ人ヲ入レマシタナラバ、其ノ組合ハ直チニ紛糾ヲ起スコトハ、火ヲ賭ルヨリモ明カナル現状ニアツタノデゴザイマス、其ノ指圖ヲ地方長官ガヤツタト云フノナラ又別デアリマスガ、何レモ商工省

ガヤツテ居ル、ソレカラ次ニ然ラバ其ノ第一次監督ニ喙ヲ容レラレルナラバ、自分ノ直轄シテ居ル聯合會ニ對シテノ指導監督ハアル、何レノ府縣デモ此ノ犯罪ト同一ナルト云ヘバ商工省ガ即チ其ノ犯罪ヲ起サセルノガ澤山出テ居ルノデゴザイマス、元ハト云ヘバ商工省ガ即チ其ノ犯罪ヲ起サセルベク、懲罰ヲセラレタ、補助金ヲ詐取スル方法ヲ教ヘラレタモ見エルノデゴザイマス、サウ云フヤウナ者ガ一人入ツテ居ルト云ツテ、ソレガイカスト云フナラ、他ノ幾多ノ組合ニ果シテサウ云フ犯罪人ヲ入レヌカト云ヘバ、其ノ當時ソレヨリ以上ナル人ノ役員デゴザイマス、此ノ聯合會ノ役員ガ、皆聯合會ノ役員デゴザイマス、此ノ聯合會ノ役員ガ、人モ縣竝ニ商工省ニハ分ツテ居ル、他ノ専務理事ヤ何カハ認メテ居ル、ソレヲ何ノ爲ニ此ノ人ニ限ツテ言フカト云ヘバ、ソレハ商工省ニ意中ノ人ガアル、意中ノ人ガアルガ爲ニ、心ナラズモサウ云フ理窟ヲ付ケテ言フノデアリマスルガ、是等ノ點カラ見マシテモ、先以テ第一次監督ハ縣廳デアル、ソレヲ差措イテ商工省ガ色々指示ヲシ、却テ組合ニ迷惑ヲ掛ケル、若シソレ商工省ノ言ハレル通リニ其ノ人ヲ入レマシタナラバ、其ノ組合ハ直チニ紛糾ヲ起スコトハ、火ヲ賭ルヨリモ明カナル現状ニアツタノデゴザイマス、其ノ指圖ヲ地方長官ガヤツタト云フノナラ又別デアリマスガ、何レモ商工省

要スルニ本省ノ言ハレルガ儘ニ定款ヲ變更
致シマシタナラバ、小工業ト云モノハ直
チニ職ヲ失ツテシマフ、ソンナ定款デアリ
マスニ依ツテ、ソレガ分ツテワ一々騒然
トナツタノデ、遂ニ持ツテ行ツタ案ヲ御撤
回ニナツタノデ事ナク濟ンダ、ソレカラ今
ノ役員ノ選任デゴザイマス、此ノ例カラ申
シマシテモ、先ヅ理事長ヲ聯合會デ選ブト
云フコトデ、理事會ヲ開イタ時ニ、商工省
カラ吉田課長ノ命ナリトシテ、柴田ト云フ
人ガ見エテ、サウシテ理事會ニ向ツテ、此
ノ理事長ハ本省ガ選ブノダ、前ノ時ニ本省
ヘ仕セルト云ツタニ依ツテ、任期中ニ亡ク
ナツタカラ此方デ選ブ権利ガアルト言ハレ
ル、前ニ御推薦ヲ願ツタ人ハドウカト云フ
ニ、一年ニ二度カ三度シカ來ナイ、不在理事長
トマデ名ヲ謳ハレルヤウナ人ヲ商工省ガ推
薦シテ來タ、幾ラ其ノ人ガ偉イト雖モ、一
日モ仕事ハ忽セニ出來ヌト云フ今日ノ場合
ニ、一期二箇年間ニ二度キ三度シカ來ヌ人
ヲ商工省ガ推薦シテ、尙且ツ此ノ成績ノ舉
ラザル所ヘ、此方ガ前ニ頼ンダ理事長ガ任
期中ニ亡クナツタニ依ツテ、其ノ任期中ハ
此方ガ選ブ権利ガアル、ソツチデ選ンデハ
イケナイ、本省カラ理事長ヲ決メテ發表スル
ト言ツテ、理事ノ決定ヲ見ズシテ歸ツタコ

トガアルノデアリマス、サウ云フ風ニシテ
宜シイ、特別ノ場合トカ言ハレルケレドモ、
實際ニ行クトサウ云フコトニナル、ソレカ
ラ此ノ法文ノ改正ノ主タル所ノ第八條ノ關
係トカ、是等ニ付テノ先ヅ取締ノ狀況ヲ申シ
マスト、此ノ電磁器、電氣器具、是ハ一箇
六厘カ一錢位ノモノデゴザイマス、ソレハ
一番食ヘヌ者ノヤル仕事デゴザイマス、家
庭工業トシテ婦ト子供トデヤレル工業デア
リマス、食ハンガ爲ニ先ヅドウデモ斯ウデ
モ三十圓ナリ二十圓ナリ儲ケントシテヤツ
テ居ルガ、此ノ第八條ヲ適用セラレルガ爲
ニ、遂ニ一箇月ノ割當高ガ十圓トカ二十圓
ニナル、ソンナコトデ燒キヤウガナクテ、
遂ニ菰冠リナンカヲ餘分ニ燒イテ居リマス
ガ、是等ハ決シテ儲ケンガ爲ト云フヨリ、
食ハンガ爲ニ燒カザルヲ得ヌ結果ニナツテ
居ル、ソコデドウシテモ之ヲ取締ラナケレ
バイカスト云フノデ、第八條ノ取締ヲナサ
レル時ニ、本省カラ事務官ガ御出張ニナル、
サウシテ所轄警察署長等ヲ集メテ此ノ取締
ヲ先ヅ厲行サセラレル、其ノヤリ振りハド
ウデアルカト云フト、今ノ營利會社ノ検査員、
所謂社員、是等ガ手傳ツテ、警察官ニ當該
官吏十幾人ト云フモノガ彼等ノ家ヲ取巻キ

マシテ、サウシテ人ノ見ル目モ見レヌヤウ
ナ嚴重苛酷ナル御取調ヲセラレル、誰シモ
其ノ犯シタ罪ヲ良イトハ言ハヌケレドモ、
其ノ取締ノ程度ノ酷イノニハ、隨分皆ノ者
ガ同情シテ居ル、殊ニ又其ノ中ニハ出征軍
人ノ遺族ガアリマス、二人モ三人モ行ツテ
居ル、ソレ等ノ者ハ留守中食ハンガ爲ニソ
レヲヤツテ、僅ニ五十圓ヤ百圓ノモノヲ燒
クノデアリマスガ、ソレ等ニ向ツテノ御取
締ニ付テモ、子供等ハ泣キ、母ハ哀訴歎願
シテ寛大ナル御處置ヲ願ツテ居ル、又或ル家
デハ、明日カラ食へスト云ツテ半狂亂ニナツテ
居ル、今日歸ルカ、明日歸ルカ、其ノ間母ヲ
力ニシテ居ル子供等ガ泣キ纏ツテ歩ク所ヲ
眺メタ者ハ、涙ナクシテ之ヲ見ルコトハ出來
ナイ、何デソンナ慘タラシイコトアセンナラ
スカ、洵ニ銃後ノ者ガ惡カツタト言ツテ涙ヲ
流シテ同情シテ居ル、是等ノ者ハ召集令狀
一本デ潔ク身ヲ君國ニ捧ゲ、サウシテ細ヤ
カナル吾ガ家、吾ガ工場ヲ振返ツテ、留守
中ハ鹽梅宜クヤレヨ、後ハ宜シク御願申シ
シタ者デアリマス、苟モ此ノ銃後ノ護ヲ賴
リニ戰地ニ居リマス出征者ガ、留守中ニ親
ヤ子ガ斯ウ云フニ遭ツテ居ルト云フコト
ヲ見タ時ニ何ト思フデセウ、是ハ一體誰ノ

罪デアルカ、如何ニ統制ヲ強化スルト云ツ
テモ、食フト云フコトハ一番ノ限度デナケ
トニナルノデス、ソレモ來タ役人ガ惡イカ
ト言ヘバ、役人モ本省カラノ御指圖デアル
カラ、ソレヲヤラナケレバ、誠首ニナツテシ
マフ、誠首ニナルノガ恐ロシサニ、人ハ何
ト言ハウト情ケ容赦モナイヤウナ取調ヲス
ル、其ノ結果ハドウカト云ヘバ、全部焼上
ゲタ所デ千圓カ千二三百圓、其ノ中二割
カ、三割ノ儲ケヲスル者ヲ取締ツタトテ、弱
其ノ統制上ニドレダケノ影響ヲ及ボスカ、
要ハ第八條ハ斯ウ云フモノダト言ツテ、弱
キ小工業者ヲ困ラセセルヤウナコトヲオヤリ
ニナツテ居リマセウガ、法ヲ尊重スル上方
ラ行ケバ、今日萬民ニ處ヲ得セシムルト云
フ此ノ政治ヲ行フ時ニ、食ヘヌガ爲ニヤル
者ニ、儲ケンガ爲ニスル者ニ對スルヤウナ
統制ニ本省ガ力ヲ云フコトガ何處ニアリ
マスカ、地方廳ノ命令ナラ鬼モ角、本省力
ラサウ云フ命令ヲ發スルトハ何タル事デア
ルカ、今ノヤリ方スラモ尙ホ緩和シテ、親
シク指導スルコトニシテ行カナケレバナラ
ヌノニ、私共今度ノ改正案ヲ見ルト、自分
等ガ今日マデノ指導監督宜シキヲ得ズ、組

合ノ運營ガ旨ク行カヌコトヲ棚ニ上ゲテ、寧ロ其ノ責ヲ工業組合ニ轉嫁シテ、サウシテ指導ニ代ヘルニ法律ヲ改正シテ監督權ヲ強化シ、命令ノ範圍ヲ擴大シテ、以テ有無ヲ言ハセズヤツ付ケテシマフト云フ、一方ニハ補助金ヲ持チ一方ニハ監督權ヲ持チ、サウシテ適正デアラウト、不適正デアラウト、色盲的ナ獨善主義ヲ以テ此ノ工業組合ナドニ臨シング場合ニ於テドウナルカ、大臣モ之ヲ適正ニ運用スルト言ハレ、又昨日政府委員モサウ御答辯ニナツテ居ル、現在ノヤリ方ガ是ガ適正デアルト思ハレルカドウカ、吾々ガ若シ此ノ法律ヲ此ノ儘認メテ、現在ノヤリ方ヲ是正セシメモセズ、尙且ツ斯ウ云フ強化ラスルコトガ如何ニ國民ヲ苦シメ、當業者ヲ苦シメ、サウシテ政府ヲ呪ハセルカ、此ノ點ヲ憂フルノデアリマス、斯ノ如ク、法ヲ使フ役人ガ法ニ使ハレルヤウナ現在ノ状態デアリマス、ソコデ斯様ナル改正法律案ヲ出し、益此ノ弊害ヲ増スコトハ、延イテ思想問題ニモ及ボシテ來ルノデアリマス、統制固ヨリ必要デアル、犯罪者固ヨリ取締ルコトハ結構デアル、併シナガラ人ガ犯罪ニ同情シ、統制ニ呪フ爲スヤウナ御指導ヲナサルノガ、現在ノ商工省ノ御方針ノヤウデアル、組合ノ爲ニ惡カレトシテオ

ヤリニナラヌトハ思フガ、固ヨリ眼鏡ガ赤
ルカラ、ヤラレルコトガ悉ク實際ト齟齬才
盾ヲ致シマシテ、斯様ナ結果ニナツテ居ル
ノデアリマス、大臣竝ニ政府委員ガ此ノ法
案ヲ出シテ、サウシテ統制ヲ強化スルト言
ハレル御精神ハ何レニアルカ知ラヌガ、私
共カラ見マスルト、此ノ法案ヲ提出サレタ
精神ハ、恐ラクハ獨善ナル、誤レル、不當
不適正ナル命令ノ爲ニ、有無ヲ言ハサ
ズ執行ノ出來得ルヤウニ考ヘラレタコト
ガ、此ノ法案御提出ノ精神デナイカト思フ
ダケ、一層危險ニ感ズルノデアリマス、大
臣ハ御就任日淺クシテ、省内ノ御事情モ御
分リニナラヌト思ヒスマケレドモ、兎ニモ角
ニモ中小工業者ニスレバ親デゴザイマス大
臣ノ肚一ツニ依ソテ彼等ガ喜ビモンマセウ
シ、悲シミモ致シマス、殺スモ生カスモ大
臣ノ御考一ツニアルモノダト思ハレル位、
重要ナル責務ヲ持ツテ居ラレル方デアリマ
シテ、若シ夫レ斯様ナル狀況ニ致シマシテ
進シデ行キマスナラバ、實ニ商工省ニ對ス
ル呪ノ聲ハ、國民下層ノ間ニ先ヅ私ハ漲ツ
ルコトガ、先程カラ御答辯ニナツテ適正デア
ル、已ムヲ得ヌ、特ニ斯ウ云フ必要ガアツ

タ時ニハヤルト言ハレルコトト、此ノ實際ヲ見ラタ時ノ御感想ハ如何デアリマスカ、ドウカ一般ノ商工業者ノ安堵ノ出來ルヤウニ、一ツ明快ナル御答辯ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○八田國務大臣　只今御尋ノ第一點ノ、物品稅ニ依リマス所ノ物價ノ安定策ニ對シマシテノ御話ガアリマスガ、是ハ御説ノ如ク、全面的ニ公定價格ヲ決定致シテ行キマセヌト中々難カシイ問題デアルト考ヘマス、此ノ點ニ付キマシテハ只今御話ノ點ガゴザイマシタノデ、私ト致シマシテモ十分誤ノナイヤウニ、效果ノ舉リマスヤウニ、此ノ物價ノ問題ハ努メテ見タイト考ヘマス、唯時間ノ關係上詳シク御答申上ゲルコトヲ御容赦願ヒ、ダイト思フノデアリマス

ソレカラ小組合ニ對シマシテ過去ニ於テ失敗、シタコトハ、小組合ノヤウナモノヲ作ツテモ成績ハ舉ラヌグラウ、ソレハ主トシテ資金ノ融通ト云ワコトガ實際ニハ十分ニ行カナイノダト云フ御話デアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ、政府當局ト致シマシテモ十分ニ御説ノ點ハ考ヘテ居リマシテ、例ハ機械ノヤウナモノハ府縣ニ於テ共同施設のニ貸ス、其ノ豫算七十五万圓ト云フモノガ計上サレテ居ル譯デアリマス、又再

補償ノ點ニ付テ御話ガアリマシタガ、此ノ制度モ適用致シマシテ、色々ノ方面カラ此ノ小組合ガソレ自身デハ資金ノ融通ガ困難デアリマスコトハ能ク承知ノ上デ、最モ出来ルダケノ便宜ヲ圖ル積リデ居リマス、隨ヒマシテ今日小組合ナシニハ甚ダ困難ナ立場ニアリマス弱小工業者ガ、之ニ依ツテ相當此ノ時局ノ産業ニ對シマシテ貢獻セラレルコトガ出來ルト存ジテ居ルヤウナ次第ニアリマス

ソレカラ監督規定ニ付テ御話ガアリマシタガ、是ハ一方ニ於テ、此ノ工業組合ニハ段々ト物資統制等ノコトヲシテ戴クノデアリマスカラ、之ニ伴ヒマシテ監督ノ規定ヲ強化スルト云フコトモ、亦洵ニ必要ナコトデアルト考ヘマシテ、今回ノ此ノ改正案ニソレヲ挿入致シタ次第デアリマス、併シナガラ其ノ役員ノ選任等ニ付キマシテハ十分注意ヲ致サナケレバナラヌコトハ、洵ニ御説ノ通リデアルト思フノデアリマス、若シ誤リマスナラバ、洵ニ御話ノ如キ弊害ヲ生ズル場合ガナイトハ保スルコトガ出來ナイト思ヒマスノデ、此ノ運用ニ付テハ十分ニ注意ヲ致シタイト思ヒマス、過去ニ於テ色々ノ實例ガアツカト存ジマスガ、是等ニ付キマシテハ遺憾ナ點モアツカト考ヘ

マスカラ、將來ニ互リマシテハ十分運用ニ
注意ヲ致シタイト思フノデアリマス、此ノ
統制ノ強化ト云フコトニ付キマシテハ色々
ト議論ガアツテ、モットドン／＼強化シタ
ラ宜イデハナイカ、ソンナ生温イコトヲシ
テ居ツタノデハ此ノ非常時局ニ副ハヌデハ
ナイカト云フ御議論モアリマスシ、又一方
ニ於テハサウ云フコトハ成ルベク自由ニ任
スペキモノデアル、其ノ方ガ宜イノダト云
フ御説モアリマスマシ、中々其ノ邊ガ難カ
シイノガ今日ノ時局ダト考ヘルノデアリマ
ス、併シナガラ何レニ致シマシテモ、工業組
合ノ如キハ十分活動ヲスル必要ガアリマス、
殊ニ非常ニ苦情ノ多イ物資ノ統制ト云フコ
トニ對シテ、殆ド政府ニ代ツテ此ノ重要
ナル仕事ヲスルノデアリマスカラ、規定ト
致シマシテハ十分ニ監督ノ行キマスルヤウ
ナ規定ヲ設ケルト云フコトガ、是ガ亦絶對
ニ必要デアルト考ヘルノデアリマス、併シ
ナガラソレノ運用宜シキヲ得ナイト云フコ
トガアリマスレバ、是ハ洵ニ申譯ノナイ
コトデアリマスノデ、私ト致シマシテハ只
今御尋ノ點ニ付キマシテハ、一方ニ於テハ
十分人情、詰リ親切ヲ以テヤルト云フコト
ヲ第一ト致シマシテ、サウシテ又法規ノ嚴

ヘマス、唯口デサウ申シテモ、ソレハ申々
難カシイデハナイカト云フコトデアリマス
ケレドモ、是ハ努メテヤラナケレバナラ
スコトデアルト思フノデアリマス、此點ハ
何卒御諒承願ヒタイト思フノデアリマス、
要スルニ此ノ法制其ノモノハ必要デアルト
存ジマスケレドモ、其ノ運用ニ於テ徒ニ生
活ノ不安ヲ來スト云フヤウナコトハ絶對ニ
避ケナケレバナラヌト云フ精神デ居リマス
コトヲ御答申上ガマシテ、御諒解ヲ得タイ
ト存ズル次第デアリマス

○葉梨委員長代理 樋口君、實ハモウ十一
時ヲ過ギテ居リマシテ、大臣ハ分科會ノ方
ニ行カレナケレバナラヌノデスガ、他ノ政
府委員ノ方デハイケマセヌカ

○樋口委員 後ニ残ツテ宜シケレバ、大臣
ニ對スル質問ヲ保留シテ置キマスガ、今簡
單ニ言ハセテ下サレバ是デ濟マセマス

力ニ進言セラレルモノデハアルマイカ、ナ
セラレルモノハ全ク危險此ノ上ナイノデ申上ゲルノ
スコトデアルト思フノデアリマス、此點ハ
何卒御諒承願ヒタイト思フノデアリマス、
要スルニ此ノ法制其ノモノハ必要デアルト
存ジマスケレドモ、其ノ運用ニ於テ徒ニ生
活ノ不安ヲ來スト云フヤウナコトハ絶對ニ
避ケナケレバナラヌト云フ精神デ居リマス
コトヲ御答申上ガマシテ、御諒解ヲ得タイ
ト存ズル次第デアリマス

○葉梨委員長代理 樋口君、實ハモウ十一
時ヲ過ギテ居リマシテ、大臣ハ分科會ノ方
ニ行カレナケレバナラヌノデスガ、他ノ政
府委員ノ方デハイケマセヌカ

○樋口委員 後ニ残ツテ宜シケレバ、大臣
ニ對スル質問ヲ保留シテ置キマスガ、今簡
單ニ言ハセテ下サレバ是デ濟マセマス

○葉梨委員長代理 ソレデハ極ク簡単ニ願
ヒマス

○樋口委員 實ハ是ハ重要ナコトデス、唯
一考スルトカ注意スルトカ云フヤウナコト
デハナイノデ、私ハ此處デ言ハザルヲ得ヌ
ノデアリマスガ、現ニヤツテ居ルコトソレ
自體ガ、傍カラ出タ改正案デアルダケ私共ハ
一層危険ヲ深ク感ゼシメラレル、之ラ現在

省モ何處デモ、先ヅ以テ本省ヘ實地ニ持ツ
ゲテ置キマス

○八田國務大臣 只今御話ノ點ハ、十分私

ニ於テ注意ヲ致シテ今後ニ對處致シタイト
思ヒマス、御諒承願ヒタイト思ヒマス

○葉梨委員長代理 樋口君宜シウゴザイマスカ

○樋口委員 宜シウゴザイマス

○葉森委員長代理 牧野君

當重要ナ内容ヲ持ツモノト思ヒマス、大體

新帝ヲ強化サレル上ニ於キ、シテ 特ニ從
來斯様ナ遺漏ガ、唯一回ノ事實トシテモ商

工當局ノ手ニ於テ存在致シタコトヲ想起ス

又コトト思ヒマス、只今樋口君ノ舉ゲラレ

マシタ實例ハ、之ニハ商工省ニハ御端解ノ
資料ガアルト私ハ存ジマス、犯罪ニ關スル

方面ノコトニ付テハ、ソレハ商工省ニハ、

其ノ種ノ事例ノ發生致シマシタル場合ニ能ク懇談ヲシテ解決サレル必要ガア

リマス、私初メテ承ツタノデアリマス
ゾ、西之官ミテ、三毛各六、二・一且々

が、商工省ノ役人ト監督下ニアル組合ノ役員トノ間ニ瀆職ニ關スル事案ガ發生

シ、其ノ人ノ身上ニ關スル監督權ノ行使ト

云フコトニ對シテハ利ハ特別ノ詫解ヲ求メテ
レル手續ヲ今後執ツテ戴キタイ、此ノ事ハ

當該ノ、上ノ方ニ居ラレル方々ニハ注意ノ届
カナイ點デアル、斯ウ云フ事例ニ當ツタ時

ニ、感情上ノ問題ヲ惹起スルコトハ常ニア
ルコトデアリマスルカラ、此ノ點ハ吳
レ吳レモ局長課長ヨリ一般ニ對シテ御注意ヲ
與ヘラレタイト思ヒマス。
唯此處デ樋口君ノ擧示サレマシタル第一ノ
事例、統制其ノモノニ關スル事業デアリマスガ、
是ハ全國ニ頗ル多イコトダト思ヒマス、而シテ
其ノ爲ニ實ハ只今工業組合ノ内部ニハ尠カ
ラヌ動搖ヲ來シテ居リマス、私ハ此ノ點ニ關シ
テ商工省ガ極メテ明瞭適切ナル行政ノ方針
ヲ執ツテ戴キタイト思ヒマスノデ、之ニ關
シテ質問ヲ致シマス、大臣ニハ分リマセヌ、
大臣ハ御新任デモアルシ、而シテ此ノ種ノ
コトニ注意ガ届ク筈ガゴザイマセヌ、ドウ
カ——本日ハ長官モ御出席ニナツテ居リマス
ガ、長官、局長、課長、事務官、其ノ方々ガ衆
智ヲ集メラレテ、善後ノ措置ニ遺憾ナキヲ期シ
テ戴キタイト思フノデアリマス、提案ノ理由
ヲ承リマスト、本案ハ、現下ノ時局柄物資
方面ノ弱小工業者ノ爲ニ政府ハ指導誘掖ノ
途ヲ講ジタイ、其ノ目的ヲ以テ、一ツハ全
般的ノ關係カラ監督權ノ強化ヲ圖ツテ行キ
タイ、一ツハ小組合制度ヲ創設致シテ見タ
イ、此ノ二ツガ主旨デアリマス、此ノ二ツ

ノ主旨ハ極メテ時局柄適切デアルト私ハ思
ビマス、適切デアルガ、必ズシモ例外ナシ
ト言フコトガ出來マセヌ、其ノ第一ニ舉グ
ベキモノガ、樋口君ガ具體的事例トシテ舉
示サレタル事案デアリマスガ、是ハ事ハ法
規ノ問題ヨリモ行政取扱上ノ關係デアリマ
スカラ、深ク樋口君質問ノ趣旨ヲ體サレマ
シテ、今後再び斯カル事ノナイヤウニ、十
分戒飭ヲ致シテ戴キタイト思ヒマスガ、茲
ニ具體的法規ニ關スル問題トシテハ、監督
權強化ノ點デゴザイマス、私ハ工業組合ノ
方面ニ於キマシテ、時局發生以來、非常ナ
本質的ナ相違ヲ來シテ參ツタト思ヒマス、
ト言ヒマスノハ、商工省ガ商工組合法ヲ制
定セラレマシタル制定當初ノ狀況ト致シマ
シテハ、生産統制ガ目的デアツタト存ジマ
ス、然ルニ今日ニ於キマシテハ生産統制ハ
多ク必要デナクナツテ、消費統制ガ目的デ
アル、是レ即チ物資統制ノ結果種々ナル施
設ヲ必要トセラレル所以ダト思ヒマス、併
シナガラ樋口君ノ言ハレマシタルガ如キ事
例ハ、生産統制ノ方面ノ事例ダト思ヒマス、
ニ以テ、過去ニ於ケル必要事ガ極メテ適切
故ニ消費統制ノ方面ノ必要事ガ極メテ適切
制ノ方面ニ向ハレテハ、大キナ誤ガアルノ

デヤナイカト思フノデアリマス、例ヘテ申シマスレバ陶磁器ノ如キモノ、樋口君ノ言ハレマシタル事例ハ陶磁器ニ關スル事例デアリマスガ、陶磁器ノ如キモノハ、原料日本ニ於テ之ヲ產シ、製造工業一切之ヲ日本デ爲シテ居リマシテ、遂ニ過剩生産ニ陥ツテ、濫賣ノ弊ガソコカラ出テ來ルカラ茲ニ生産統制ヲ必要トスル、然ルニ今日此ノ提案ノ理由トナツテ居リマスル内容ヲ見マスレバ、左様ナ部門ノモノニアラズシテ、原料ヲ主トシテ輸入ニ仰グ其ノ結果トシテ茲ニ禁止製品ヲ必要トスル、又時局柄製造ヲ一方ニ遍セシメナケレバナラヌ關係上、他方ニ於テ從來ノ工業者ノ正シイ工業ノ經營ヲ壓迫スル結果ニナル、即チ是レ消費統制デゴザイマス、此ノ消費統制ノ方面ニ於テ監督權ヲ強化シテ、政府ノ一定ノ方針ニ順應セシメル、其ノ目的ヲ強化セントセラルコトノ必要ナルコトハ之ヲ認メマス、ソレト同時ニ弱小工業者ニ對スル善後措置ヲ御執リニナラナケレバナラヌコトノ必要モ之ヲ認メマス、隨テ本案ノ提出ノ必要ナルコトニ付テ立法ノ必要、改正案ノ必要ナルコトニ付テハ私ハ異論ヲ持チマセヌ、ケレドモ運用ニシテ特ニ私ハ御意見ヲ承ツテ、固ク其ノ發表サレル意見ヲ受ツテ戴キタイト思ヒマ

スルノハ、消費統制ノ方面ニ於テ本案ガ特ニ必要ナリトセラレタノデアルカ、生産統制ノ方面ニ於テモ亦重大ナル必要ヲ認メテ居ラレルカドウカ、此ノ御意見ヲ先づ前提トシテ承リタイト思ヒマス

○東政府委員 御説ノ通り、抑、工業組合制度ガ始ツタ當初ニ於キマシテハ、工業組合ハ共同設備ニ依ル共同ノ利益ノ増進、或ハ生産ノ制限ニ依ル過剰生産ノ防止ト云フヤウナ、専ラ業者ノ私的利益ヲ目的トシタノデアリマシテ、隨テ其ノ統制ニ當リマシテモ、之ラ自治的ニ統制セシタルコトガ最モ適切デアツタト存ジマス、併シ最近ニ至リマシテ、資材ノ配給ト云フヤウナコトガ一般ニ工業組合ヲ通ジテ行ハレルヤウニナリマシテカラ、工業組合ガ著シク公共的性質ヲ帶ビテ參ツタノデアリマシテ、是方爲ニ工業組合ニ對スル監督モ、一層強化セラレナケレバナラヌ實情ニ相成ツタト考ヘテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ今般改正シテ、工業組合ニ對スル監督ヲ強化セント致シマスル趣旨モ、主トシテ後者ニ對スル監督ヲ嚴重ニシナケレバナラヌト云フ趣旨ニ基クモノデアルト御諒承願ヒタイト存ジマス

○牧野委員 只今ノ御答辯デ私モ安心致シ

マスシ、左様デナケレバナラナイト存ジマス、又提案ノ理由モソコニアルコトヲ承リマシテ本懷ニ存ジマス、即チ最近ニ於ケル工業組合ノ仕事ガ著シク公的性質ヲ帶ビテ來タ爲ニ、監督權ノ強化ヲ必要トスル、隨テ從來ノ生産統制ノ方面ニ於テハ自治的ナ力ヲ中心ニシテ行キタイト云フ、心持ハ、何處マデモ明瞭ニ區劃シテ、頭ニ置イテ戴キタイ、無論監督權ハ一樣ニ及ボサナケレバナリマセヌケレドモ、及ブ上ニ於テ、私ハ程度ノ差デナウシテ本質的ノ差ガアルト存ジマス、其ノ點ハ特ニ十分商工省ノ行政ノ上ニ於テ區別ヲシテ方針ヲ立テテ、監督權行使ノ上ニ苟モ非難ナキヲ期シテ戴キタイ、ソコデ公的性質ヲ帶ビタルモノノ方面ハ、原材料、資材ノ方面ハ政府ノ御厄介ニナル、隨テ此ノ方面ハ監督權ガ強化サレルコトヲ、或ル意味ニ於テハ組合ハ歡迎スル場合モ少クナイト思ヒマス、隨テ販路モ御心配ヲシテ戴クコトガ出來テ、其ノ方面ノ政府ニ依頼スル方面モ多イト思ヒマスカラ、監督權ノ影響ヲ及ボスコトハ少イト思ヒマス、ケレドモ生産統制ノ方面デアリマスト、殆ド惡イ影響ノ方ガ多イノデアリマス、サウシテ一

トシテ私ハ是ハ行政ノ方針トシテドウナサヌシ、左様デナケレバナラナイト存ジマス、又提案ノ理由モソコニアルコトヲ承リマシテ本懷ニ存ジマス、即チ最近ニ於ケル工業組合ノ仕事ガ著シク公的性質ヲ帶ビテ來タ爲ニ、監督權ノ強化ヲ必要トスル、恐ラク私ハ樋口君モナ得セラレル所ガ多イト思ヒマスシ、樋口君ノ言ハレルヤウナ犠牲的事例ガアツタコトヲ以テ、商工省ノ行政方針ガ深キ戒慎ヲサレルコトト思ヒマスカラ、此ノ點ハ特ニ只今政府委員ヨリ御答辯下サイマシタ趣旨ヲ、將來ニ於テサレレバ、樋口君モソレデ満足只今政府委員ヨリ御答辯下サイマシタ趣旨ヲ、將來ニ徹底サシテ戴キタイト存ジマス、

次ニ第二ノ質問ニ移リマス、私ハ只今、此ノ法律案ガ弱小工業者ノ保護ノ方面ヲ主眼トシテ居ルコトニ對シテ、洵ニ結構デアルト云フ同感ノ意ヲ表シタノデアリマスガ、方ニハ生産擴充工業ガ重大デハナイカト思ふノデアリマス、而シテ生産擴充ノ工業ハ大體ニ於テ大工業デアリマス、此ノ生産擴充ノ工業ト、生存ノ爲ニシナケレバナラナイノナカニカリデナク、是等ノ人々ガ専カラザル反感ヲ持ツニ至ツテ居ルノデアリマス、此ノ兩者ヲ同ジ工業組合ノ中ニ入レテ、一二ト云フコトニナリマスレバ、組合ノ内部ガハ原材料ヲ與ヘナイ、一ニハ豊富ニ與ヘルト云クコトニナリマスレバ、組合ノ内部ガハノ問題ヲ惹起シテ、常ニ政府ハ大工業ニ寛大偏頗ニシテ、小工業ニ苛酷デアルト幾多ノ問題ヲ惹起シテ、常ニ政府ハ大工業ニ寛大偏頗ニシテ、小工業ニ苛酷デアルト云フ感情上ノ問題ヲ惹起シテ、親切デヤラレルコトニモ反感ヲ持ツト云フ結果ヲ惹起スルト云フコトニ思ヒ當ラレタイト思ヒマス、ソコデ私ハ御問致シタイ、現在アル所ノ工業組合ニ於テ、生産擴充ノ方面ノ業ト

ナ事例ガ頻繁ニ出テ來ルト思フノデアラザレバ、何處へ行キマシテモ樋口君ノ言ハレルヤウス、ソコデ此ノ組合精神ヲ徹底セシメル方、ゴザイマスガ、商工省デ統制サレルト物ガ全部市場ヲ去ルト云フコトハ、商工省自身ガ御經驗デゴザイマセウガ、今市場ニ潤澤ニアルモノハ物資潤澤ナルニアラズシテ、商工省統制ノ手ガ及バザルガ爲ナリト云フコトガ事實デゴザイマス、試ニ統制スルゾト云フ聲ヲ出シテ御覽ナサイ、市場カラ皆是ハ日本人ノ通弊デアリマス、是ハ人間ノ本能的ノ通弊ト言フコトガ出來ルカモ知レマセヌガ、刻下非常時局ノ狀態カラ考ヘテ見テモ、ヨンナコトガ日本人ニアルト云フコトハ非常ナ恥辱デアリマスガ、是ハ政府ガ惡イ、内閣ガ惡イ、政治ノ方法ガ惡イ、本當ノコトヲ國民ニ知ラセテナイカラ、統制スレバ統制スル程物價ガ高クナル、自分ニナリ、商賣ガ出來ナクナルカラ、又生活ガ困難ヲ隠シテシマフノハ當然デアリマスガ、此ノ事實ハ歐羅巴ノ、殊ニ國ツテ居ル伊太

利、獨逸トマルデ反對デアル、統制スルコ
トニナルト、「ストック」、隠シテ持ツテ居ル
ハ統制ヲサレレバ物ガ圓満ニ潤澤ニ配給サ
ソレハ何ノ爲カト云フト、自分等ガドン底
ノ生活ニ落チテ、食ハンニ食フ能ハズ、勵
カニニ勵ク仕事ナシト云フ所ヘ行ツタ時ニ、
統制ノオ蔭デ、勵カントスル者ニ仕事ガ與
ヘラレ、食ハナケレバナラヌ者ニ食物ガ與
ヘラレタカラ、統制ガ好イ、統制ガ好イト
ナツテ來タガ、日本ハサウ云フ状況ニナラ
ナイ時ニ、ナゼ斯ウ云フ物ガ必要カ、ナゼ
木綿ガ必要ナノカ、ナゼ銅ガ必要ナノカ、
ナゼ鐵ガ必要カト云フコトヲ、本當ノ事ヲ
教ヘナイデ置イテ、口ノ先ダケデ戒メテ行
カレルカラ反対ノ事例ガ出テ來ルノデス、
是ハ商工省ノ責任デハアリマセヌガ、組合
ガ斯ウナツテ來タ原因ヲ考ヘル時ニ、ドウシ
テモ私ハ組合精神ト云フモノヲ徹底サセテ
戴カナケレバナラスト思フ、私ハ今カラ十
五年前ニ産業組合ノ普及者トナリマシデ、
全國ニ其ノ運動ヲ起シマシテ、丁抹ノ實例
ヲ述べテ歩イタノデアリマスガ、昨年丁抹
ニ行ツテ見マスルト、組合制度ノ徹底シタ

丁抹ガ全部赤ニナツテシマツタ、驚キ且ツ
恥シクナツテ、是ハ日本ニ歸ツタル別ノ形
態ヲ執ラナケレバナラスト云フ考ヲ持ツテ
來タノデスガ、只今工業組合内部ニ於ケル
中小以下ノ人々ニハ、稍其ノ傾向ナシト云
フコトガ出來マセヌ、之ニ對シテハドウ云
フ御思想ヲ持チ、事實ヲ御承知ニナリ、將
來ニ對シテドウ云フ御考ヲ持タレマスカ、
私ハ決シテ攻擊スル意味ノ質問デハナク、
將來ニ對シテドウ云フ方針ヲ執ラレルカト
云フコトダケラ承リタイノデアリマス、御
腹藏ノナイ御考ヲ伺ヒタイ。

ヲシテ組合精神ノ普及徹底ト云フコトニ關シテモ、十分ノ活動ヲサセタイト思ツテ居リマス、之ニ對シテハ尙ホ出來ル限リ政府ニ於テ補助金等モ出シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

精神ニ依ツテ注意シテ戴ク、サウシテ内閣ヲ動カス心持ヲアナタ方ガドウカ持ツテ戴キタイ、其ノ爲ニハ此ノ委員會ニ出席ノ委員諸君ハ、無論中心トナツテ援助サレルト思ヒマスカラ、ドウカ其ノ點ヲ特ニ御注意ラレマセヌカラ、第四ノ問題ニ移リマスソレハ經濟警察ノ事デアリマス、私ハ商工大臣竝ニ内務大臣ヲ訪ウテ此ノ事ヲ言ツタノデアリマスガ、其ノ爲ニ此ノ議會ニ於テハ別ノ考ヲ持ツテ吳レルト云フノデアリマスケレドモ、經濟警察ヲ今ノヤウナ狀態ニ置イテハイカヌ、アナタノ所ノ行政ニハ非常ナ缺陷ガアルガ、アナタ方ハ其ノ缺陷ニハ氣付イテ居ラヌ、何トナレバ、急ニ御持ヘニナツタ統制デアル、急ニ御持ヘニナツタ法律命令デアリマスカラ、ソレガドウ云フ風ニ實社會ニ適用サレテ居ルカ、御存ジナイノハ當リ前デアル、其ノ法律命令ニ缺陷ガアルト云フコトハ御氣付ニナラナイコトガ澤山アル、ソレヲ實際ノ場合ニ於テハ、警察官ガ踏込ンデ警察ニ連レテ行ツテ、遂ニムゴイ事ヲシタトナツテハ大變デアリマス、サウ云フコトニ商工省ノ人が踏込ムコト、自分ノ誤ダ、自分ノ不注意ダ、自分ノ

出シテ居ル法律命令ノ誤カラ、不徹底カラ、
不足カラ、缺陷カラスウ云フ事實ガ出テ來
タト云フコトデ胸ヲ打タレルカラ、斯様ナ
コトヲシ、處罰ヲサレル前ニ、先づ已ノ行
政ヲ改メテ行カナケレバナラオイト云フ
濟警察ト云フモノヲ警察官ニ御任セニナツ
テ黙ツテ居ル、ソンナコトハイケマセヌ、
何處ノ國デ斯ウ云フコトヲ司法警察ニ任セ
テ居リマスカ、コンナ重要ナコトヲ政府ガ
方針ヲ決メナイデ置イテ、本當ノコトヲ内
閣ガ國民ニ知ラセナイデ置イテ、下ノ人ノ
取引ノ上ダケニ、ソラ大夕立ガ來ルゾト言
ツテ、サツサト品物ヲ抱ヘ込ムヤウナ人ヲ警
察ニ任せテ、警察ニ連レテ行ツテ帳簿ヲ引揚
ゲテ、甚シキハ昨年ノ夏以來マダ帳簿ノ返
ツテ來ナイモノガ非常ニアルサウデアリマス、
サウシテ留置場ニ留置スルト云フヤウナ事
實ガアツタ時ニ困ル、私ハアツタトハ申シマ
セヌガ、色々ナ事例ガ耳ニ入ツテ居ル、是ハ
大臣ヤ政務官ニ御任セニナル仕事デハナイ、
ドウシテモアナタ方ガ本當ニ自己ノ責任ヲ
自覺シテ奮發シテ下サラナケレバ、如何ニ
ハ巡查デス、警察官ノ職務ハドウモ犯罪檢
査ヲ以テ職業トシテ居ル、困ルデスネ、ダ

カラ犯罪ノ數ガ舉レバ手柄ニナル、アナタ方ハ犯罪ガ一ツデモアツテハ議會ニ申譯ガナイ、國民ニ申譯ガナイト云フ考ラ持タレル人デス、アルト追究サレマス、ダカラ成ベク隠シテ再ビナイヤウニスルト云フ心持テ監督ヲナサルノト、發イテ牢ノ中ニ入レテヤルト云フ心持テ監督ヲスルノドハ、天地霄壤ノ差ガ來ルコトハ當然デアリマスカラ、是ハ大臣ヤ政務官ト云フ事情ニ通ジナ人々ニ任せ置クノデハナク、何處マデモアナタ方局長ガ中心トナツテ、局ノ所屬ノ屬官ト一緒ニナツテ、何トシテモ之ヲ己ノ手ニ取ツテ戴カナケレバナラヌ、サウシテ自分ノ行政ノ誤ヲ自ラ發見シテ戴カナケレバ困ル、今ノ状態デハアナタ方ハイケマセヌ、アナタ方ハ無責任、無反省ダ、コンナコトヲ商工省ノ役人ガヤツテ居ツテハイカヌ、今日ノ重要ナル行政ハ商工省ガ背負ツテ居ルノダカラ、モウ少シ心持ヲ大キクシテ、責任ヲウント自覺シテヤツテ戴カナケレバナラヌ、サウスルト國民ハ贊成シテ、アナタ方ノ手ヲ取ツテアナタ方ヲ助ケマス、内閣ハドウダツテ宜イ、アナタ方ガ中心ニナツテ行政ヲヤツテ戴ク、其ノ心持ヲ此ノ委員會ニ發表シテ御覽ナサイ、少クトモ此ノ委員會ハ翕然トシテ、政派ヲ擧ゲテアナ

タ方ニ同ジテ來ルト思フ、其ノ氣概ヲドウシテモ私ハ示シテ戴キタイ、其ノ爲ニハ局課長ガ中心ニナツテ貰ハスト困ル、今ノヤウニ警察官ニ之ヲ委シテ置イテ、サウシテコンナ命令ガアツタガ、是ハ犯意ナクシテモ處罰サレルノカト云フヤウナコトガアツテハナラスト思ヒマス、デアリマスカラ此ノ點ハ注意シテ戴キタイ、是ハ大臣ナンカニ言ツタツテ實行ハ出來ス、是ハアナタ方ガ本當ニ斯ウ云フ事ヲヤラレルコトハ下剋上デアリマセヌ、本當ニ信念ヲ以テ、熱意ヲ以テ民意ノ在ル所ヲアナタ方ガ大臣ヲシテ實行セシメルコトニナルノデス、無論私ハ大臣ニモ話シ、政務官ニモ話シタコトデアリマスガ、此ノ人達ノ手デナクシテ、アナタ方ノ手デ十分ヤツテ戴キタイト思ヒマス

ハ、深キ討議ヲセズシテ、政府ハ必ズ次年度ニ此ノ法律ヲ議會ニ提出スルト云フ諒解ヲ得タモノデアリマスルカラ、深ク内容ニ立入ラズシテ可決致シタノデアリマスガ、政府ハ此ノ議會ニ遂ニ提出ニナラナカツタノデアリマス、ソレハ過去一年間ハ非常ニ御多忙デアツタガ爲ニ、手ガ廻ラナカツタコトハ御察シ致シマスガ、昨年ノ議會デ必ズ次ノ議會ニ出スト云フ方針ヲ定メラレタ爲ニ、形式的ニ終ツタノデアリマスカラ、此ノ點ハ是非次ノ議會ニハ提出スルヤウニサレタイト思フノデアリマス、是ハ商工省ノ責任ノ上カラ大事デアルト同時ニ、又實際ノ必要ニ應ジル上カラモ大切デアルト思ヒマスノデ、特ニ此ノ點ニ對スル御所見ヲ承リタイ、重ネテ申シマスルガ、商工省ハ近ク機構ノ大改革ヲサレルト云フコトデ、工務局ノ有能ノ方々ガ又他へ行カレテ、其ノ責任ヲ果サレル上ニ遺憾ガアツテハナラナイ、ソレデ其ノ點ハ政府ヲ代表シテ御答辯ヲ願フト共ニ、萬一當務者ニ更迭其他色々シテ明確ニ議會ノ委員會デ決定シ、本會議ニ報告サレタコトハ遵守スルト云フコトダケハ、少々ノ障礙ガアツテモ續ケテ行ツテ戴キタイト思ヒマスノデ、此ノ點特ニ御伺

ハ、深キ討議ヲセズシテ、政府ハ必ズ次年

致シマス

○東政府委員 土木建築業ニ關スル何等力ノ制度ヲ法制化スルト云フゴトニ付キマンテハ、政府ト致シマシテモ之ヲ必要ト認メマシテ、實ハ昨年カラ其ノ準備ヲ致ス筈デアツタノデアリマスガ、御承知ノ通リ物資動員計畫ノ改訂、ソレニ引續イテ配給ノ統制、消費ノ規正ト云フヤウナ事務が非常ニ複雜ニナリマシテ、其ノ事務ニ没頭シナケレバナラヌヤウナ實情デアリマシタノデ、之ヲ準備スル違ガナカツタコトハ甚ダ遺憾デゴザイマス、此ノ問題ハ非常ニ重要ナ問題ト存ジマスノデ、今後十分研究ヲ致シマシテ、成ベク早ク之ヲ實現スルコトニ努力致シタイト考ヘテ居リマス

○牧野委員 淘ニ安心致シマシタ、言フマシテ、一緒ニヤルト云フコトニ致シタマデテハ、政府ト致シマシテモ之ヲ必要ト認メマシテ、實ハ昨年カラ其ノ準備ヲ致ス筈デアツタノデアリマスガ、御承知ノ通リ物資動員計畫ノ改訂、ソレニ引續イテ配給ノ統制、消費ノ規正ト云フヤウナ事務が非常ニ複雜ニナリマシテ、其ノ事務ニ没頭シナケレバナラヌヤウナ實情デアリマシタノデ、之ヲ準備スル違ガナカツタコトハ甚ダ遺憾デゴザイマス、此ノ問題ハ非常ニ重要ナ問題ト存ジマスノデ、今後十分研究ヲ致シマシテ、成ベク早ク之ヲ實現スルコトニ努力致シタイト考ヘテ居リマス

○牧野委員 次ニ貿易方面ニ付テ二點ダケ御伺シタイト思ヒマス、ソレハ極メテ簡単ナコトデアリマスガ、商工省ハ商工省工藝展ト云フモノヲ廢サレタ——廢サレタノデハナクシテ、輸出ノ方面ノ展覽會ト一緒ニサレタト云フコトヲ承ルノデス、ソレハドウ云フ御方針デアリマスカ、ソレヲ承リタ

ヤハリ同ジク工藝ノ振興ノ爲ニヤルモノデ

シテ、一緒ニヤルト云フコトニ致シタマデ

テハ、政府ト致シマシテモ之ヲ必要ト認メ

マシテ、實ハ昨年カラ其ノ準備ヲ致ス筈デ

アツタノデアリマスガ、御承知ノ通リ物資

動員計畫ノ改訂、ソレニ引續イテ配給ノ統

制、消費ノ規正ト云フヤウナ事務が非常ニ複雜ニナリマシテ、其ノ事務ニ没頭シナケ

レバナラヌヤウナ實情デアリマシタノデ、

之ヲ準備スル違ガナカツタコトハ甚ダ遺憾

デゴザイマス、此ノ問題ハ非常ニ重要ナ問

題ト存ジマスノデ、今後十分研究ヲ致シマ

シテ、成ベク早ク之ヲ實現スルコトニ努力

致シタイト考ヘテ居リマス

○牧野委員 淘ニ安心致シマシタ、言フマ

シテ、一緒ニヤルト云フコトニ致シタマデ

テハ、政府ト致シマシテモ之ヲ必要ト認メ

マシテ、實ハ昨年カラ其ノ準備ヲ致ス筈デ

アツタノデアリマスガ、御承知ノ通リ物資

動員計畫ノ改訂、ソレニ引續イテ配給ノ統

制、消費ノ規正ト云フヤウナ事務が非常ニ複雜ニナリマシテ、其ノ事務ニ没頭シナケ

レバナラヌヤウナ實情デアリマシタノデ、

之ヲ準備スル違ガナカツタコトハ甚ダ遺憾

デゴザイマス、此ノ問題ハ非常ニ重要ナ問

題ト存ジマスノデ、今後十分研究ヲ致シマ

シテ、成ベク早ク之ヲ實現スルコトニ努力

致シタイト考ヘテ居リマス

○牧野委員 淘ニ安心致シマシタ、言フマ

シテ、一緒ニヤルト云フコトニ致シタマデ

テハ、政府ト致シマシテモ之ヲ必要ト認メ

マシテ、實ハ昨年カラ其ノ準備ヲ致ス筈デ

アツタノデアリマスガ、御承知ノ通リ物資

動員計畫ノ改訂、ソレニ引續イテ配給ノ統

制、消費ノ規正ト云フヤウナ事務が非常ニ複雜ニナリマシテ、其ノ事務ニ没頭シナケ

レバナラヌヤウナ實情デアリマシタノデ、

之ヲ準備スル違ガナカツタコトハ甚ダ遺憾

デゴザイマス、此ノ問題ハ非常ニ重要ナ問

題ト存ジマスノデ、今後十分研究ヲ致シマ

シテ、成ベク早ク之ヲ實現スルコトニ努力

致シタイト考ヘテ居リマス

○牧野委員 淘ニ安心致シマシタ、言フマ

シテ、一緒ニヤルト云フコトニ致シタマデ

テハ、政府ト致シマシテモ之ヲ必要ト認メ

マシテ、實ハ昨年カラ其ノ準備ヲ致ス筈デ

アツタノデアリマスガ、御承知ノ通リ物資

動員計畫ノ改訂、ソレニ引續イテ配給ノ統

制、消費ノ規正ト云フヤウナ事務が非常ニ複雜ニナリマシテ、其ノ事務ニ没頭シナケ

レバナラヌヤウナ實情デアリマシタノデ、

之ヲ準備スル違ガナカツタコトハ甚ダ遺憾

デゴザイマス、此ノ問題ハ非常ニ重要ナ問

題ト存ジマスノデ、今後十分研究ヲ致シマ

シテ、成ベク早ク之ヲ實現スルコトニ努力

致シタイト考ヘテ居リマス

○牧野委員 淘ニ安心致シマシタ、言フマ

シテ、一緒ニヤルト云フコトニ致シタマデ

テハ、政府ト致シマシテモ之ヲ必要ト認メ

マシテ、實ハ昨年カラ其ノ準備ヲ致ス筈デ

アツタノデアリマスガ、御承知ノ通リ物資

動員計畫ノ改訂、ソレニ引續イテ配給ノ統

制、消費ノ規正ト云フヤウナ事務が非常ニ複雜ニナリマシテ、其ノ事務ニ没頭シナケ

レバナラヌヤウナ實情デアリマシタノデ、

之ヲ準備スル違ガナカツタコトハ甚ダ遺憾

デゴザイマス、此ノ問題ハ非常ニ重要ナ問

題ト存ジマスノデ、今後十分研究ヲ致シマ

シテ、成ベク早ク之ヲ實現スルコトニ努力

致シタイト考ヘテ居リマス

○牧野委員 淘ニ安心致シマシタ、言フマ

シテ、一緒ニヤルト云フコトニ致シタマデ

テハ、政府ト致シマシテモ之ヲ必要ト認メ

マシテ、實ハ昨年カラ其ノ準備ヲ致ス筈デ

アツタノデアリマスガ、御承知ノ通リ物資

動員計畫ノ改訂、ソレニ引續イテ配給ノ統

制、消費ノ規正ト云フヤウナ事務が非常ニ複雜ニナリマシテ、其ノ事務ニ没頭シナケ

レバナラヌヤウナ實情デアリマシタノデ、

之ヲ準備スル違ガナカツタコトハ甚ダ遺憾

デゴザイマス、此ノ問題ハ非常ニ重要ナ問

題ト存ジマスノデ、今後十分研究ヲ致シマ

シテ、成ベク早ク之ヲ實現スルコトニ努力

致シタイト考ヘテ居リマス

○寺尾政府委員 御話ノヤウニ廢止シタノ

デハナイノデアリマス、從來輸出ノ方ノ工

藝展覽會ト別々ニヤツテ居リマシタノヲ、

イ商工省ノ工藝展ハ何處マデモ維持シテ、

○牧野委員 大變結構ナコトデアリマス、

宜イカト云フコトニ付テ目下研究中デアリ

マス、左様御諒承願ヒマス

戴キタイト思ヒマスノデ、此ノ點特ニ御伺

度ニ此ノ法律ヲ議會ニ提出スルト云フ諒解

ヲ得タモノデアリマスルカラ、深ク内容ニ

立入ラズシテ可決致シタノデアリマスガ、

政府ハ此ノ議會ニ遂ニ提出ニナラナカツタ

ノデアリマス、ソレハ過去一年間ハ非常ニ御

多忙デアツタガ爲ニ、手ガ廻ラナカツタコ

トハ御察シ致シマスガ、昨年ノ議會デ必ズ

次ノ議會ニ出スト云フ方針ヲ定メラレタ爲

ニ、形式的ニ終ツタノデアリマスカラ、此

ノ點ハ是非次ノ議會ニハ提出スルヤウニサ

レタイト思フノデアリマス、是ハ商工省ノ

責任ノ上カラ大事デアルト同時ニ、又實際

ノ必要ニ應ジル上カラモ大切デアルト思ヒ

マスノデ、特ニ此ノ點ニ對スル御所見ヲ承

リタイ、重ネテ申シマスルガ、商工省ハ近

ク機構ノ大改革ヲサレルト云フコトデ、工

務局ノ有能ノ方々ガ又他へ行カレテ、其ノ

責任ヲ果サレル上ニ遺憾ガアツテハナラナ

イ、ソレデ其ノ點ハ政府ヲ代表シテ御答辯

ト願フト共ニ、萬一當務者ニ更迭其他色々

シテ明確ニ議會ノ委員會デ決定シ、本會議

ニ報告サレタコトハ遵守スルト云フコトダ

ケハ、少々ノ障碍ガアツテモ續ケテ行ツテ

ドウゾ此ノ趣旨ノ實現サレマスルヤウニ御願致シマス、是デ私ノ質問ハ終リマス、有難ウゴザイマシタ

○葉梨委員長代理 是ニテ休憩致シマス、其ノ再開時間ハ一時半頃ニシテ置キマシテ、其ノ間ニ速記ノ方ノ交渉ヲ出來ルダケ致シマス

カラドウゾ左様御諒承願ヒマス

午後零時二十四分休憩

○葉梨委員長代理 休憩前ニ引續キ會議ヲ開キマス

○長谷委員 私ノ當局ニ御尋ヲ致シタイト

思ツタ所ハ、凡ソ前ノ方々デ殆ド盡キテ居リマスガ、同僚坂本宗太郎君ノ依囑デ、特ニ現ニ監督官廳ニ於テ考慮セラレマシテ、今日

マデ巷ニ聞ク所ノ天降リ式ノ弊害ヲ除去シテ戴キタイト云フコトヲ、此ノ際一言希望申上げテ置キマス、ソレハ私達が受取り

マシタ「工業組合及同聯合會役員中現職官吏ニ關スル調」ノ中ニモ、第一項トシテ、ヤハ

リ經濟部長ナリ商工課長ガ或ル特殊ノ組合ニ役員トシテ入ラレテ居ル者モアリマス、

其ノ組合ニモヤハリ其ノ實例ヲ見ルコトガ出來ルノデアリマシテ、是等ノ人達ノ入ラレル場合ハ特例ノ場合ダト思ハレマスル

カラ、サウ云フ事例ハ特ニ例外規定トシテ一つ御留意置キヲ願ヒタイト存ジマス、是ハ私ノ希望トシテ申上げテ置キマス

次ニ御尋ヲ申上げタインハ、私ハ此ノ統制下ニ於キマシテ各組合、特ニ既存ノ組合、

今回設立ノ小組合、ソレカラ私立ノ組合、

其ノ他組合ヲ結成シナイ所ノ業者、斯ウ云

フ風ナモノガ、此ノ統制下ノ犠牲ヲ出來ルダケ均一化サレテ行カナケレバナラスト考

ヘラレテ居リマス、非常ニ御忙シイ關係上、

ソコマデ手ガ廻リ兼ネテ居ラルルト考ヘテ居リマスガ、地方ノ實情ハ非常ニサウ云フ

風ナ問題ガ澤山介在致シテ居リマシテ、私達ノ耳ニ入ルコトガ多イノデアリマス、茲ニ具體的ノ事例ハ申上げマセヌガ、幸ヒ此ノ委員會ヲ機會ト致シマシテ工務局長ヨリ、私立ノ組合デモ、新シク出來ル小組合デモ、是マデノ組合デモ、全部統制ノ下ニ生レル犠牲ハ公平ニ受ケル、其ノ代リ恩典モ出來ルダケ公平ニ受ケル、資材ノ配給統制、一切ノ點ニ於テ公平ニ、合理的ニ御統制ヲ願ヘルヤウニ御言明ヲ願ヒタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○東政府委員 御趣旨ハ能ク了承致シマシタ、出來ルダケ公平ニヤツテ行キタイト考

精神ヲ、吾々ハ當初本案提出ノ理由ヲ御説

ラ、單ニ二申上げテ置キマシテ、答辯ハ要シマセヌガ、聯合會ガアツテ其ノ下ニ組合ガ

アリ、其ノ組合ト利害相反スル所ノ立場ヲ異ニスル所ノ私設ノ組合ガアル、サウ云フ場合ニ於テ、聯合會ガ資材ヲ獨占スルヤル御意見ガアツタノデアリマス、アレハ吾モ同感デアリマス、ソコデ何故斯様ナコトヲ申上げテ當局ノ御意見ヲ承ルカト申

レナイ組合ニモ五分々々ニ、是マデノ立場ニ於テ公平ニ分配セラルルヤウニ御取計ヲ願ヒタイト存ジマス、是ハ特ニ何等カノ方針ニ依ツテ、監督官又ハ局員ノ方々ニ對シテ御指示ヲ願ヒタイト考ヘテ居リマス、不公平ナコトノナイヤウニ、ソレカラ起ル不達ノ耳ニ入ルコトガ多イノデアリマス、茲ニ具體的ノ事例ハ申上げマセヌガ、幸ヒ此ノ委員會ヲ機會ト致シマシテ工務局長ヨリ、私立ノ組合デモ、新シク出來ル小組合デモ、是マデノ組合デモ、全部統制ノ下ニ生レル犠牲ハ公平ニ受ケル、其ノ代リ恩典リマスケレドモ、此ノ際特ニ申上げテ置キ五分々々ト云フ建前ヲ執ツテ貰ヒタイト思

マス、ソレハ先般來縷々申述ベタ所デア

リマスケレドモ、ソレハ公平ニ受ケル、其ノ代リ恩典マス

○長谷委員 私ハ時間ガナイノデ實例ヲ簡

リマシタガ、ソレ等ノ指導精神ヲ明ニセラ

レマシテ、其ノ間ニ於テ誤ナカラシメルヤ

アリ、其ノ組合ト利害相反スル所ノ立場ヲ異ニスル所ノ私設ノ組合ガアル、サウ云

フ場合ニ於テ、聯合會ガ資材ヲ獨占スルヤ

ル御意見ガアツタノデアリマス、アレハ吾モ同感デアリマス、ソコデ何故斯様ナコトヲ申上げテ當局ノ御意見ヲ承ルカト申

レナイ組合ニモ五分々々ニ、是マデノ立場ニ

於テ公平ニ分配セラルルヤウニ御取計ヲ

願ヒタイト存ジマス、是ハ特ニ何等カノ方

針ニ依ツテ、監督官又ハ局員ノ方々ニ對シ

テ御指示ヲ願ヒタイト考ヘテ居リマス、不

達ノ耳ニ入ルコトガ多イノデアリマス、茲ニ具體的ノ事例ハ申上げマセヌガ、幸ヒ此ノ委員會ヲ機會ト致シマシテ工務局長ヨリ、私立ノ組合デモ、新シク出來ル小組合デモ、是マデノ組合デモ、全部統制ノ下ニ生レル犠牲ハ公平ニ受ケル、其ノ代リ恩典リマスケレドモ、ソレハ先般來縷々申述ベタ所デア

リマスケレドモ、此ノ際特ニ申上げテ置キ五分々々ト云フ建前ヲ執ツテ貰ヒタイト思

マス、ソレハ公平ニ受ケル、其ノ代リ恩典マス

○長谷委員 私ハ時間ガナイノデ實例ヲ簡

リマシタガ、ソレ等ノ指導精神ヲ明ニセラ

レマシテ、其ノ間ニ於テ誤ナカラシメルヤ

アリ、其ノ組合ト利害相反スル所ノ立場ヲ異ニスル所ノ私設ノ組合ガアル、サウ云

フ場合ニ於テ、聯合會ガ資材ヲ獨占スルヤ

ル御意見ガアツタノデアリマス、アレハ吾モ同感デアリマス、ソコデ何故斯様ナコトヲ申上げテ當局ノ御意見ヲ承ルカト申

レナイ組合ニモ五分々々ニ、是マデノ立場ニ

於テ公平ニ分配セラルルヤウニ御取計ヲ

願ヒタイト存ジマス、是ハ特ニ何等カノ方

針ニ依ツテ、監督官又ハ局員ノ方々ニ對シ

テ御指示ヲ願ヒタイト考ヘテ居リマス、不

達ノ耳ニ入ルコトガ多イノデアリマス、茲ニ具體的ノ事例ハ申上げマセヌガ、幸ヒ此ノ委員會ヲ機會ト致シマシテ工務局長ヨリ、私立ノ組合デモ、新シク出來ル小組合デモ、是マデノ組合デモ、全部統制ノ下ニ生レル犠牲ハ公平ニ受ケル、其ノ代リ恩典リマスケレドモ、ソレハ先般來縷々申述ベタ所デア

リマスケレドモ、此ノ際特ニ申上げテ置キ五分々々ト云フ建前ヲ執ツテ貰ヒタイト思

マス、ソレハ公平ニ受ケル、其ノ代リ恩典マス

○長谷委員 私ハ時間ガナイノデ實例ヲ簡

リマシタガ、ソレ等ノ指導精神ヲ明ニセラ

レマシテ、其ノ間ニ於テ誤ナカラシメルヤ

アリ、其ノ組合ト利害相反スル所ノ立場ヲ異ニスル所ノ私設ノ組合ガアル、サウ云

フ場合ニ於テ、聯合會ガ資材ヲ獨占スルヤ

ル御意見ガアツタノデアリマス、アレハ吾モ同感デアリマス、ソコデ何故斯様ナコトヲ申上げテ當局ノ御意見ヲ承ルカト申

レナイ組合ニモ五分々々ニ、是マデノ立場ニ

於テ公平ニ分配セラルルヤウニ御取計ヲ

願ヒタイト存ジマス、是ハ特ニ何等カノ方

針ニ依ツテ、監督官又ハ局員ノ方々ニ對シ

テ御指示ヲ願ヒタイト考ヘテ居リマス、不

達ノ耳ニ入ルコトガ多イノデアリマス、茲ニ具體的ノ事例ハ申上げマセヌガ、幸ヒ此ノ委員會ヲ機會ト致シマシテ工務局長ヨリ、私立ノ組合デモ、新シク出來ル小組合デモ、是マデノ組合デモ、全部統制ノ下ニ生レル犠牲ハ公平ニ受ケル、其ノ代リ恩典リマスケレドモ、ソレハ先般來縷々申述ベタ所デア

リマスケレドモ、此ノ際特ニ申上げテ置キ五分々々ト云フ建前ヲ執ツテ貰ヒタイト思

マス、ソレハ公平ニ受ケル、其ノ代リ恩典マス

○長谷委員 私ハ時間ガナイノデ實例ヲ簡

リマシタガ、ソレ等ノ指導精神ヲ明ニセラ

レマシテ、其ノ間ニ於テ誤ナカラシメルヤ

アリ、其ノ組合ト利害相反スル所ノ立場ヲ異ニスル所ノ私設ノ組合ガアル、サウ云

フ場合ニ於テ、聯合會ガ資材ヲ獨占スルヤ

ル御意見ガアツタノデアリマス、アレハ吾モ同感デアリマス、ソコデ何故斯様ナコトヲ申上げテ當局ノ御意見ヲ承ルカト申

レナイ組合ニモ五分々々ニ、是マデノ立場ニ

於テ公平ニ分配セラルルヤウニ御取計ヲ

願ヒタイト存ジマス、是ハ特ニ何等カノ方

針ニ依ツテ、監督官又ハ局員ノ方々ニ對シ

テ御指示ヲ願ヒタイト考ヘテ居リマス、不

達ノ耳ニ入ルコトガ多イノデアリマス、茲ニ具體的ノ事例ハ申上げマセヌガ、幸ヒ此ノ委員會ヲ機會ト致シマシテ工務局長ヨリ、私立ノ組合デモ、新シク出來ル小組合デモ、是マデノ組合デモ、全部統制ノ下ニ生レル犠牲ハ公平ニ受ケル、其ノ代リ恩典リマスケレドモ、ソレハ先般來縷々申述ベタ所デア

リマスケレドモ、此ノ際特ニ申上げテ置キ五分々々ト云フ建前ヲ執ツテ貰ヒタイト思

マス、ソレハ公平ニ受ケル、其ノ代リ恩典マス

○長谷委員 私ハ時間ガナイノデ實例ヲ簡

リマシタガ、ソレ等ノ指導精神ヲ明ニセラ

レマシテ、其ノ間ニ於テ誤ナカラシメルヤ

アリ、其ノ組合ト利害相反スル所ノ立場ヲ異ニスル所ノ私設ノ組合ガアル、サウ云

フ場合ニ於テ、聯合會ガ資材ヲ獨占スルヤ

ル御意見ガアツタノデアリマス、アレハ吾モ同感デアリマス、ソコデ何故斯様ナコトヲ申上げテ當局ノ御意見ヲ承ルカト申

レナイ組合ニモ五分々々ニ、是マデノ立場ニ

於テ公平ニ分配セラルルヤウニ御取計ヲ

願ヒタイト存ジマス、是ハ特ニ何等カノ方

針ニ依ツテ、監督官又ハ局員ノ方々ニ對シ

テ御指示ヲ願ヒタイト考ヘテ居リマス、不

達ノ耳ニ入ルコトガ多イノデアリマス、茲ニ具體的ノ事例ハ申上げマセヌガ、幸ヒ此ノ委員會ヲ機會ト致シマシテ工務局長ヨリ、私立ノ組合デモ、新シク出來ル小組合デモ、是マデノ組合デモ、全部統制ノ下ニ生レル犠牲ハ公平ニ受ケル、其ノ代リ恩典リマスケレドモ、ソレハ先般來縷々申述ベタ所デア

リマスケレドモ、此ノ際特ニ申上げテ置キ五分々々ト云フ建前ヲ執ツテ貰ヒタイト思

マス、ソレハ公平ニ受ケル、其ノ代リ恩典マス

○長谷委員 私ハ時間ガナイノデ實例ヲ簡

リマシタガ、ソレ等ノ指導精神ヲ明ニセラ

レマシテ、其ノ間ニ於テ誤ナカラシメルヤ

アリ、其ノ組合ト利害相反スル所ノ立場ヲ異ニスル所ノ私設ノ組合ガアル、サウ云

フ場合ニ於テ、聯合會ガ資材ヲ獨占スルヤ

ル御意見ガアツタノデアリマス、アレハ吾モ同感デアリマス、ソコデ何故斯様ナコトヲ申上げテ當局ノ御意見ヲ承ルカト申

レナイ組合ニモ五分々々ニ、是マデノ立場ニ

於テ公平ニ分配セラルルヤウニ御取計ヲ

願ヒタイト存ジマス、是ハ特ニ何等カノ方

針ニ依ツテ、監督官又ハ局員ノ方々ニ對シ

テ御指示ヲ願ヒタイト考ヘテ居リマス、不

達ノ耳ニ入ルコトガ多イノデアリマス、茲ニ具體的ノ事例ハ申上げマセヌガ、幸ヒ此ノ委員會ヲ機會ト致シマシテ工務局長ヨリ、私立ノ組合デモ、新シク出來ル小組合デモ、是マデノ組合デモ、全部統制ノ下ニ生レル犠牲ハ公平ニ受ケル、其ノ代リ恩典リマスケレドモ、ソレハ先般來縷々申述ベタ所デア

リマスケレドモ、此ノ際特ニ申上げテ置キ五分々々ト云フ建前ヲ執ツテ貰ヒタイト思

マス、ソレハ公平ニ受ケル、其ノ代リ恩典マス

○長谷委員 私ハ時間ガナイノデ實例ヲ簡

リマシタガ、ソレ等ノ指導精神ヲ明ニセラ

レマシテ、其ノ間ニ於テ誤ナカラシメルヤ

アリ、其ノ組合ト利害相反スル所ノ立場ヲ異ニスル所ノ私設ノ組合ガアル、サウ云

フ場合ニ於テ、聯合會ガ資材ヲ獨占スルヤ

ル御意見ガアツタノデアリマス、アレハ吾モ同感デアリマス、ソコデ何故斯様ナコトヲ申上げテ當局ノ御意見ヲ承ルカト申

レナイ組合ニモ五分々々ニ、是マデノ立場ニ

於テ公平ニ分配セラルルヤウニ御取計ヲ

願ヒタイト存ジマス、是ハ特ニ何等カノ方

針ニ依ツテ、監督官又ハ局員ノ方々ニ對シ

テ御指示ヲ願ヒタイト考ヘテ居リマス、不

達ノ耳ニ入ルコトガ多イノデアリマス、茲ニ具體的ノ事例ハ申上げマセヌガ、幸ヒ此ノ委員會ヲ機會ト致シマシテ工務局長ヨリ、私立ノ組合デモ、新シク出來ル小組合デモ、是マデノ組合デモ、全部統制ノ下ニ生レル犠牲ハ公平ニ受ケル、其ノ代リ恩典リマスケレドモ、ソレハ先般來縷々申述ベタ所デア

リマスケレドモ、此ノ際特ニ申上げテ置キ五分々々ト云フ建前ヲ執ツテ貰ヒタイト思

マス、ソレハ公平ニ受ケル、其ノ代リ恩典マス

○長谷委員 私ハ時間ガナイノデ實例ヲ簡

リマシタガ、ソレ等ノ指導精神ヲ明ニセラ

レマシテ、其ノ間ニ於テ誤ナカラシメルヤ

アリ、其ノ組合ト利害相反スル所ノ立場ヲ異ニスル所ノ私設ノ組合ガアル、サウ云

フ場合ニ於テ、聯合會ガ資材ヲ獨占スルヤ

ル御意見ガアツタノデアリマス、アレハ吾モ同感デアリマス、ソコデ何故斯様ナコトヲ申上げテ當局ノ御意見ヲ承ルカト申

レナイ組合ニモ五分々々ニ、是マデノ立場ニ

於テ公平ニ分配セラルルヤウニ御取計ヲ

願ヒタイト存ジマス、是ハ特ニ何等カノ方

針ニ依ツテ、監督官又ハ局員ノ方々ニ對シ

テ御指示ヲ願ヒタイト考ヘテ居リマス、不

達ノ耳ニ入ルコトガ多イノデアリマス、茲ニ具體的ノ事例ハ申上げマセヌガ、幸ヒ此ノ委員會ヲ機會ト致シマシテ工務局長ヨリ、私立ノ組合デモ、新シク出來ル小組合デモ、是マデノ組合デモ、全部統制ノ下ニ生レル犠牲ハ公平ニ受ケル、其ノ代リ恩典リマスケレドモ、ソレハ先般來縷々申述ベタ所デア

リマスケレドモ、此ノ際特ニ申上げテ置キ五分々々ト云フ建前ヲ執ツテ貰ヒタイト思

マス、ソレハ公平ニ受ケル、其ノ代リ恩典マス

○長谷委員 私ハ時間ガナイノデ實例ヲ簡

リマシタガ、ソレ等ノ指導精神ヲ明ニセラ

レマシテ、其ノ間ニ於テ誤ナカラシメルヤ

アリ、其ノ組合ト利害相反スル所ノ立場ヲ異ニスル所ノ私設ノ組合ガアル、サウ云

フ場合ニ於テ、聯合會ガ資材ヲ獨占スルヤ

ル御意見ガアツタノデアリマス、アレハ吾モ同感デアリマス、ソコデ何故斯様ナコトヲ申上げテ當局ノ御意見ヲ承ルカト申

レナイ組合ニモ五分々々ニ、是マデノ立場ニ

於テ公平ニ分配セラルルヤウニ御取計ヲ

願ヒタイト存ジマス、是ハ特ニ何等カノ方

針ニ依ツテ、監督官又ハ局員ノ方々ニ對シ

テ御指示ヲ願ヒタイト考ヘテ居リマス、不

達ノ耳ニ入ルコトガ多イノデアリマス、茲ニ具體的ノ事例ハ申上げマセヌガ、幸ヒ此ノ委員會ヲ機會ト致シマシテ工務局長ヨリ、私立ノ組合デモ、新シク出來ル小組合デモ、是マデノ組合デモ、全部統制ノ下ニ生レル犠牲ハ公平ニ受ケル、其ノ代リ恩典リマスケレドモ、ソレハ先般來縷々申述ベタ所デア

リマスケレドモ、此ノ際特ニ申上げテ置キ五分々々ト云フ建前ヲ執ツテ貰ヒタイト思

マス、ソレハ公平ニ受ケル、其ノ代リ恩典マス

○長谷委員 私ハ時間ガナイノデ實例ヲ簡

リマシタガ、ソレ等ノ指導精神ヲ明ニセラ

レマシテ、其ノ間ニ於テ誤ナカラシメルヤ

アリ、其ノ組合ト利害相反スル所ノ立場ヲ異ニスル所ノ私設ノ組合ガアル、サウ云

フ場合ニ於テ、聯合會ガ資材ヲ獨占スルヤ

ル御意見ガアツタノデアリマス、アレハ吾モ同感デアリマス、ソコデ何故斯様ナコトヲ申上げテ當局ノ御意見ヲ承ルカト申

レナイ組合ニモ五分々々ニ、是マデノ立場ニ

於テ公平ニ分配セラルルヤウニ御取計ヲ

願ヒタイト存ジマス、是ハ特ニ何等カノ方

針ニ依ツテ、監督官又ハ局員ノ方々ニ對シ

テ御指示ヲ願ヒタイト考ヘテ居リマス、不

達ノ

作業ガドウナルカト云フト、工業組合ノ事業ヲ擴張スルコトニナリマシテ、是マデ工業組合ガヤツテ居ツタ仕事ニ附隨シタ部分ヲヤラレル形ニナリ、又之ニ關係ノアル仕事ヲモヤラセルコトニナリマシタ結果、其ノ附隨部分ヲ獨立ニヤツテ居ツタ業者ヤ、其ノ關係部分ヲ獨立ニヤツテ居ツタ業者ガ、失業ニ陷ルノデアリマス、ダカラ一貫作業ハ理想的ノモノデアツテ、吾々ハ之ヲ認メルケレドモ、其ノ一貫作業ニ依ツテ組合ガ事業ヲ擴張スレバ、其ノ擴張サレタ範圍内ノ仕事ヲ獨立ニシテ居ツタ人達ハ、失業ノ苦痛ヲ味ハネバナラヌコトニナルノガ現在ノ實情ニナツテ居リマス、此ノ二點カラ見ケル率方非常ニ多ク、利益ヲ獨占化シテ居ル反面ニ於テハ、既存ノ業ヲ失ツテ居ル人達ガ澤山アルノデアリマス、斯ウ云フ點ハ、商工當局トシテハ十分實情ヲ御承知ノコトト存ジマスガ、特ニ明ニ斯ウ云フコトヲ無カラシメルダケノ御自信ヲ、此處デ御發表願ヒタイト存ジマス

○東政府委員 原料、材料ノ配給ニ當リマシテ、工業組合ヲ通ジテヤル場合ニ、組合員外ノ同ジ事業ヲ經營シテ居ル業者ノ方ニハ、兎角原料材料ガ行カナイ、其ノ點ニ於テ不公平ガアルト云フコトハ、實際問題トシテアリ得ルト考ヘマス、從來ト雖モサウ云フ場合ニハ、成ベクサウ云フ業者ノ工業組合ニ加入スルコトヲ勸奨致シマシテ、一ツノ組合ニ之ヲ纏メテ、其ノ上デ公平且ツ圓滑ニ材料ノ配給ヲスルヤウニ致シテ居リマス、今後モ成ベク同ジ業者ハ一ツノ組合ニ加入サセマシテ、公平且ツ圓滑ニ材料ノ供給ヲシテ行キタイト考ヘテ居リマス

○長谷委員 モウ一言御答ヲ要求シテ置キマス、商工當局ニ於テハ、積極的ニ工業組合ニ勸告ラシテマデモ、サウ云フ弱イ立場ニアル人達ヲ工業組合ニ加入サセル方途ヲ執ラレマスカ、ドウデスカ

○東政府委員 成ルベクサウシテ行キタイト思ヒマス

○長谷委員 有難ウ存ジマシタ、是非サウ云フ風ニヤツテ戴キタイ、其ノ事例ハ吾々ノ石川縣下ニゴザイマシタ、其ノ爲ニ私ガ或ル所へ縣知事ヲ招イテ、其處デ一喧嘩シナケレバナラヌ情勢マデモ起シタコトガアラ、漸クニシテ組合ニ加入スルコトヲ許サレタ、吾々ノ力ガ幸ニシテ役ニ立ツタカラ、トナケレバナラヌ情勢マデモ起シタコトガアラ、漸クニシテ組合ニ加入スルコトヲ許サレ

○東政府委員 代用品工業ノ今後ト云フコトハ非常ニ重要ナ問題デアリマシテ、當局

ト致シマシテモ十分ニ之ヲ指導シテ行カナ

トナケレバナラヌト思フノデアリマス、大體代用品ト申シマシテモ、其ノ中ニハ大別シテ

二通りアルト思フノデアリマス、一ツハ從

ナルガ故ニ飛ビ付カセテ置イテ、後ニソレ

テ不公平ガアルト云フコトハ、實際問題ト

ノ對策デアリマス、是ハ現在ノ時局產業ト致シテ、今日ナルガ故ニ生産產業トシテノ

組合ニ加入スルコトヲ勸奨致シマシテ、一ツノ組合ニ之ヲ纏メテ、其ノ上デ公平且ツ圓滑ニ材料ノ配給ヲスルヤウニ致シテ居リマス、今例ニ出マシタ人造護謨ノ如キハ、

マス、今後モ成ベク同ジ業者ハ一ツノ組合ニ加入サセマシテ、公平且ツ圓滑ニ材料ノ

供給ヲシテ行キタイト考ヘテ居リマス

○長谷委員 モウ一言御答ヲ要求シテ置キ

マス、商工當局ニ於テハ、積極的ニ工業組合ニ勸告ラシテマデモ、サウ云フ弱イ立場ニアル人達ヲ工業組合ニ加入サセル方途ヲ執ラレマスカ、ドウデスカ

○東政府委員 成ルベクサウシテ行キタイト思ヒマス

○長谷委員 有難ウ存ジマシタ、是非サウ

云フ風ニヤツテ戴キタイ、其ノ事例ハ吾々

ノ石川縣下ニゴザイマシタ、其ノ爲ニ私ガ

或ル所へ縣知事ヲ招イテ、其處デ一喧嘩シ

ナケレバナラヌ情勢マデモ起シタコトガア

ラ、漸クニシテ組合ニ加入スルコトヲ許サレ

タ、吾々ノ力ガ幸ニシテ役ニ立ツタカラ、

トナケレバナラヌ情勢マデモ起シタコトガア

ラ、漸クニシテ組合ニ加入スルコトヲ許サレ

タ、吾々ノ力ガ幸ニシテ役ニ立ツタカラ、トナケレバナラヌ情勢マデモ起シタコトガア

<p

ハ知ラナカツタト云フコトニナルト困リマス、此ノ小サナ組合ニ關係スル人達ハ、サウ云フ立場カラ、小工業組合ノ指導ニ當リマシテハ特ニ物品ヲ處理スル方面ガ多イカラ、御注意マデニ申上ガタノデアリマス。

最後ニ御尋ヲ申上ゲタインハ、丁度長官ガ見エテ居リマスカラ、私ハ此ノ際昨日ノ續キヲ御尋申上ゲタイト思ヒマス、昨日モ特許權ノコトヲ申上ゲテ置キマシタガ、工業所有權ガ此ノ頃埋レテ居リマスガ、ソレヲ活カシテ行キタイ、ソレガ國家的ニ非常ニ利益ダト思フ、所ガ日本ノ各研究室ガ持ツ工業所有權ハ、才互ニ相手方ノ事業ヲ妨害スル意思ハナクテモ、邪魔ニナルモノガ澤山アリマス、使ハセテ吳レバ利益ダケレドモ、使ハセテ吳レナイコトニナルト非常ニ邪魔ニナル、使ハセテ吳レタナラバ非常ニ利益ニナルト云フモノガ局部的ニ澤山ゴザイマスノデ、斯ウ云フ方面ノ資材ヲ、此ノ非常時局下ニ於テ各工業ガ圓滿ニ利用融通スルコトガ出來得マシタナラバ、日本ノ工業發達ノ爲ニ非常ニ宜カラウト考ヘテ居リマス、斯様ナ立場カラ此ノ間事例ヲ申上ゲテ御尋ヲ致シテ見マシタガ、此ノ方面ハ特ニ何等カノ處置ニ出デマシテ、至急

○竹内政府委員 昨日モ御答致シマシタ通り、工業所有權ノ中ニハ、廣イ意味ニ於キマシテ非常ニ大切ナ物資ト同ジヤウニ考へテ宜イモノガアルダラウト思ヒマス、御趣意ニハ全然吾々モ同感デアリマスノデ、具體的ノ事例ニ付キマシテ十分善處シテ行キタイト思ヒマス。

○長谷委員 最後ニ御尋ヲ申上ゲマスガ、廢品ノ回收ト云フ問題ハ、時局下ニ於テ相當重大ナモノデアルト私ハ考ヘテ居リマス、過般來物ノ生產ノ方面ノ委員會デ、十分其ノ方面ノ立場カラ出來ルダケ澤山ノ物ヲ作リタイ、物資ヲ獲得シタイト云フコトヲ發言シテ參リマシタガ、日本ノ國內ニ存在スル所ノ埋藏物ナリ、其ノ他製造スル物資ト云フモノニ對シマシテハ、自ラ限度ガアリマス、所ガ眼光ノココ一年、一年半ト云フ風ナ物資ヲ假ニ完全ニ御用意ニナツテ居ルト致シマシテモ、ソレニ加フルニ何割カノモノガ餘分ニアリマシタナラバ、日本ノ進ムベキ歩ミト云フモノハ豊カニナツテ來ルモノヤナイカト考ヘテ居リマス、ソコデ廢品回収策ト云フモノハ相當效果ガアルト見透シヲ付ケテ居リマスガ、具體策ニ對シマ

シテハ、吾々ハ各新聞紙上ニ於テ、新聞社ガ廢品ノ回收ニ御努力ニナツテ居ラレルヤウガ、長官ノ御意見ハ如何デゴザイマセウカリ、工業所有權ノ中ニハ、廣イ意味ニ於キマシテ非常ニ大切ナ物資ト同ジヤウニ考へテ宜イモノガアルダラウト思ヒマス、ソレノ事例ニ付キマシテ十分善處シテ行キタイト思ヒマス。

○竹内政府委員 御尋ノ點ハ、現在ノ事情ノ下ニ於キマシテハ非常ニ大切ナル問題ダト思ヒマス、實ハ事變勃發以來廢品ノ回收直ニ申上ゲマスト極メテ不十分デアリマス、ツテ居ルコトモ御承知カト思ヒマスガ、率ニ付キマシテ、商工省デモ相當ノ施設ヲヤニ付キマシテモ、ソレニ加フルニ何割カノ直ニ申上ゲマスト極メテ不十分デアリマス、ツテ居ルコトモ御承知カト思ヒマスガ、率ニ付キマシテモ、實ハ色々物資ノ種類モアリマスシ、又廢品ガ存在シテ居リマス、併シソレモ政府ガ廢品回收ヲロニサ

ト」ナリ何ナリヲ持ツテ來ルコトガアリマス、併シソレモ政府ガ廢品回收ヲロニサレル時期ダケデアリマシテ、其ノ後日々起ル廢品回收ニ對シマシテ何等繼續セラレテ來テ居リマセヌ、私ハ廢品ヲ回收スルト云フコトハ、相當多量ナ生産ト同ジ結論ニナルト存ズルノデアリマシテ、一應承リマシテ私ノ考ヲ申上ゲタイト思ヒマスガ、政府ノ廢品回收ノ熱意ト希望ト、ドレダケノ意向ヲ持ツテ居ラレルカヲ承リタイト存ジマス。

○長谷委員 御尋ノ點ハ、現在ノ事情ノ下ニ於キマシテハ非常ニ大切ナル問題ダト思ヒマス、實ハ事變勃發以來廢品ノ回收直ニ申上ゲマスト極メテ不十分デアリマス、ツテ居ルコトモ御承知カト思ヒマスガ、率ニ付キマシテモ、ソレニ加フルニ何割カノ直ニ申上ゲマスト極メテ不十分デアリマス、ツテ居ルコトモ御承知カト思ヒマスガ、率ニ付キマシテモ、實ハ色々物資ノ種類モアリマスシ、又廢品ガ存在シテ居リマス、併シソレモ政府ガ廢品回收ヲロニサ

レカラ吾々ノ住ム所ニモ、婦人會ナリ青年團體的ノ事例ニ付キマシテ十分善處シテ行キタイト思ヒマス。

○長谷委員 最後ニ御尋ヲ申上ゲマスガ、廢品ノ回收ト云フ問題ハ、時局下ニ於テ相當重大ナモノデアルト私ハ考ヘテ居リマス、過般來物ノ生產ノ方面ノ委員會デ、十分其ノ方面ノ立場カラ出來ルダケ澤山ノ物ヲ作リタイ、物資ヲ獲得シタイト云フコトヲ發言シテ參リマシタガ、日本ノ國內ニ存在スル所ノ埋藏物ナリ、其ノ他製造スル物資ト云フモノニ對シマシテハ、自ラ限度ガアリマス、所ガ眼光ノココ一年、一年半ト云フ風ナ物資ヲ假ニ完全ニ御用意ニナツテ居ルト致シマシテモ、ソレニ加フルニ何割カノモノガ餘分ニアリマシタナラバ、日本ノ進ムベキ歩ミト云フモノハ豊カニナツテ來ルモノヤナイカト考ヘテ居リマス、ソコデ廢品回収策ト云フモノハ相當效果ガアルト見透シヲ付ケテ居リマスガ、具體策ニ對シマ

シテハ、吾々ハ各新聞紙上ニ於テ、新聞社ガアリマス、又工場ト云フヤウナ所ニ可ナリソレヲ適當ナル方法デ取纏メルコトニ依リマシテ、相當ナル資材ニナリ得ルト云フモノモアルト思フノデアリマス、ソレデ只今ノ所ハ實ハ少シ遲レテ居リマスケレドモ、マス、併シソレモ政府ガ廢品回收ヲロニサル廢品回收ニ對シマシテ何等繼續セラレテ來テ居リマセヌ、私ハ廢品ヲ回收スルト云フコトハ、相當多量ナ生産ト同ジ結論ニナルト存ズルノデアリマシテ、一應承リマシテ私ノ考ヲ申上ゲタイト思ヒマスガ、政府ノ廢品回收ノ熱意ト希望ト、ドレダケノ意向ヲ持ツテ居ラレルカヲ承リタイト存ジマス。

○長谷委員 御尋ノ點ハ、現在ノ事情ノ下ニ於キマシテハ非常ニ大切ナル問題ダト思ヒマス、實ハ事變勃發以來廢品ノ回收直ニ申上ゲマスト極メテ不十分デアリマス、ツテ居ルコトモ御承知カト思ヒマスガ、率ニ付キマシテモ、ソレニ加フルニ何割カノ直ニ申上ゲマスト極メテ不十分デアリマス、ツテ居ルコトモ御承知カト思ヒマスガ、率ニ付キマシテモ、實ハ色々物資ノ種類モアリマスシ、又廢品ガ存在シテ居リマス、併シソレモ政府ガ廢品回收ヲロニサ

方策等ニ付テモ考ヘテ來テ居ツタノデアリ
マスルガ、是ハ何故左様ナコトヲ申上ゲルカ
ト言ヒマスト、現在政治ノ衝ニ當ラル人達
ガ、此ノ時局下ニ於テ爲サネバナラナイ仕
事ノ中デ、物ノ獲得ト云フ點カラ見テ、少ク
トモ鑛業開發株式會社ガ三千万圓ノ金ヲ以
テ設立サレタ、アレデ以テ貧鑛ナリ、或ハ是
マデ見捨テラレタモノヲ處理スル、サウシテ
特殊鑛產物ヲ手ニ入レルト言フノデアリマス
ガ、廢品回収ト云フ問題ハ、此ノ三千万圓
ノ鑛業開發株式會社、五千万圓ノ日本產金
振興株式會社ノ業績以上ニ、私ハ大キナ問
題デアルト思フ、ダカラ政府トシテ此ノ方
面ノコトニ對シマシテ、相當大キナ計畫ヲ爲
サルベキ苦ダト私ハ思フ、今、紙ハ木ヲ伐ツ
テ「バルブ」ヲ作ルヨリモ、新聞紙ノ屑ヲ以テ
之ヲ漉キ直シテ行ツタラバ、雜用ノ紙ハ直ダ
出來ル、櫻穂ガ直チニ他ノ衣服ニナリ得ル、
手取り早イ方法デ、現在ノ品物ヲ循環シテ行
リズツト效果的デアルト云フコトヲ吾々ハ
確信致シテ居リマス、ソコデ私ノ望ム所ハ、
今長官ガ御説明ニナツタヤウニ、其ノ綜合
的具體策ニ對シマシテ、少クトモ商工省ニゲ
ハ大掛リト言ハレル位ノ程度ノ對策ヲ立て

ラレテ、寧口商工省デヤナクテ現内閣ノ私
ハ仕事デヤナイカト思フ、ダカラ内閣總理
大臣、内閣機構直屬ノ仕事デヤナイカトサ
ヘモ私ハ考ヘテ居リマス、其ノ位ニ廢品ノ
回収ト云フモノハ、此ノ四箇年計畫ノ計畫
其ノモノニ對シテ、或ハ起ラントスル「ギャッ
ブ」ヲ相當補フコトノ出來ル一ツノ行キ方デ
ハナイカト思フ、而モ是ハ手許ニアルノデ
ス、手許ニアル廢品ヲ回収スル、ソレガ國
民精神ニ非常ナ影響ヲ與ヘル、ダカラ一石
二鳥ノ放果ガアルノデスカラ、是ハ商工省
ハ御自身ノ仕事デナクシテ、國家ノ仕事デ
アルトシテ、相當内閣ヲ動カシテ戴イタラ
宜イデヤナイカト考ヘテ居リマス、此ノ點
ハ此ノ程度ノ發言デ終リマスガ、ドウカシ
テ迅速ニ、具體策ガ而モ相當大キナモノガ
出來ルト云フコトヲ特ニ希望ラ申上ダテ置
キタインデアリマス、私達ハ——私自身ハ
持ツテ居リマセヌガ、此ノ際金屏風ヲ剥ガ
シテ之ヲ金ニシタ方が產金獎勵ヨリズツト
宜イ、手ニ持ツテ居ル所ノ金ノ合金ノモノ
デモ之ヲ鑄替ヘタナラバ、出來ルダケ政府ニ
協力セラルト云フ行キ方ヲ國民ガ執ツテ、
吾々トシテハ此ノ際不用ノモノナラバ、又
廢品ニナルモノナラバ、出來ルダケ政府ニ

タイ、斯ウ考ヘルノデアリマス、今日新聞
デ一寸見タノデスガ、何カ金ノ買上ノコ
トニ關シマシテ貴族院アタリデ、金ノ強制
買上ハ所有權ノ侵害デアルトカ、憲法違反
デアルトカ云フ御議論ガアツタヤウニ拜見
致シマシタ——私直接聽イタ譯デハアリマ
セヌガ、斯ウ云フヤウナ御考ヲ持タレルト
云フコト自體ニ對シマシテモ、吾々ハ世間
ニ非常ニ惡イ影響ガソレカラ生ズルコトヲ
惧レテ居ルノデアリマス、是ハサウ云フコ
トヲ言ハセナイデ、進ンデ自分ノ持ツテ居
ル金ノ地金トカ、金製品トカ云フモノヲ政
府ニ獻金スルト云フ思想ヲ、國民全般ニ持
ツテ貰ヒタニ拘ラズ、最高階級ニ屬スル
貴族院ノ委員會デサウ云フ意見ガ假ニ出タ
トシタナラバ、吾々非常ニ殘念ニ思フ、不
要ノモノハ此ノ際徹底的ニ御出シニツテ、
日本ガ此ノ聖戰ヲ貫徹シタ曉ニハ金ノ靴ヲ
穿カセテヤツテモ宜イカラ、此ノ際ハ金ヲ
出シテ貰ツテ國家ノ爲ニスルコトガ一番宜
イコトト思ヒマス、此ノ廢品回収ト云フ問
題一點ダケヲ、私竹内サンニ申上ゲタイト
思ツテ御出席ヲ願ツタノデアリマス、許サ
レタ時間ガアリマセヌカラ、是ハ機會ヲ得
マシテ十分御尋スルナリ何ナリ致シマシテ、
御説明申上ゲタイト思ヒマス、サウシテ十

○長谷委員 宜シウゴザイマス
○葉梨委員長代理 中村君
○中村委員 先程戴キマシタ今回ノ工業組合ノ改正案ノ中ニアリマス小組合ノ範圍ニ付テノ勅令案ノ要綱ヲ見マスト、資本金ニ依ツテ小組合ヲ決メヨウトナサルヤウデアリマスガ、其ノ額ガ二万圓ト決メラレルサウデアリマスガ、是ハドウ云フヤウナ點カラ二万圓ヲ相當トセラレルノデアリマスカ

○東政府委員 實ハ小工業者ノ資本金ノ額ヲ最高二万圓ニ標準ヲ置クコトニ付テハ、理論的根據ハアリマセヌ、常識的ニ見テ此ノ程度ガ適當デハナカラウカト云フ考へ方デアリマス、唯業種ニ依リマシテハ、是デハ少シ小サ過ギルト云フ場合モアリ得ルト考ヘマスノデ、特例ハ場合ニ依ツテ之ヲ認メルコトニ致シタイト考ヘテ居リマスト、現在ノ日本ノ工業家ノ何割位ガ之ニ入ルコトニナルデセウカ

○東政府委員 大體二万圓ヲ標準ニシマスルト、現在ノ日本ノ工業家ノ何割位ガ之ニ入ルコトニナルデセウカ

○中村委員 大體二万圓ヲ標準ニシマスルト、現在ノ日本ノ工業家ノ何割位ガ之ニ入ルコトニナルデセウカ

Digitized by srujanika@gmail.com

正確ナ統計ガゴザイマセヌカラ、正確ナコトハ申上ゲルコトハ出來マセヌガ、色々ナ資料カラ検討致シマシテ、其ノ邊ノ所ニ見當ヅケテ居ル次第アリマス

○中村委員 割合ハドノ位ニナルデセウカ

○東政府委員 所謂小工業者ト云フモノガ、色々ナ統計カラ推定致シマシタ數字カラ約二十七万人ニナル見當ヲ致シテ居リマシテ、其ノ中デ小組合ヲ作ルニ適シナイモノ相當アル、約其ノ中ノ三分ノ二程度ハ小組合ヲ作ルニ適シタモノデハナカラウカ、斯ウ云フ見當ヲツケテ約二十萬ト申上ダタノデアリマス

○中村委員 小組合ヲ作ルニ適シナイト云フノハドウ云フヤウナモノデセウカ
○東政府委員 其ノ二十七万ハ苟モ工業者——何カ物ヲ造ツテ居リマス者ヲ全部網羅シテ居ルノデアリマシテ、中ニハ組合ヲ作ルコトノ必要ノナニ業種ノモノモ相當アルト思ヒマスノデ、サウ云フモノヲ差引キマシテ約二十萬ト見當ヲ付ケタノデアリマス

○中村委員 小組合ガ出來マシテ、配給ノ點ニ付テ私ハ將來ノコトヲ聽イテ置キタイ

○中村委員 次ニ原料ノ配給ニ付キマシテ

業者カラ色々ナ註文ガアリマシタノデ、此ノ際配給ニ付テノ御尋ラシテ置キタイト思フノデアリマスルガ、其ノ一つハ「ミニラ」麻ノスガ、若シ同ジ工業組合ノ中デ配給問題ナ

ドガ起リマシタ時ニハ、其ノ小組合ヲ作ツテ居レバ、單獨ノ一ヨリモ何等カノ便益デモ受ケラレルヤウナ場合ガアリマスカ

○東政府委員 小組合ヲ作ツタコトニ依リマシテ、例ヘバ輸出産業ニ轉換シタトカ、或ハ軍需品ノ註文ヲ受ケルトカ云フコトニナリマシテ、サウ云フモノノ生産ガ非常ニ必要ダト云フコトニナリマスレバ、隨テ之ニ對スル材料ノ割當モ殖エテ行ク譲デアリマス

○中村委員 第三十三條ノ三ニ依ツテ、小組合ハ十人ヲ超ニザルヲ以テ例トスルト云フノデスガ、必要アレバ一體下ノ位マデハ宜シト云フ御考デセウカ

○東政府委員 「組合員ノ總數ハ十人ヲ超エザルヲ以テ例トス」ト云フ意味ハ、原則トシテ十人以下、斯ウ云フ意味デアリマシテ、大體ハ十人以下ノ積リデアリマスガ、

必要ナ場合ニハ十四五人、或ハモウ少シ殖エテ二十人位マデハ認メル場合モアルカト

○中村委員 ドウシテモ舊來ノ色々ナ慣例ナドカラ、麻眞田工業組合ノ方ニ原料ガ配給ニナルヨリ外ニハ出來ナイト云フノデアリマスルナラバ、モウ少シ卷絲工業組合ト云フモノヲ重要視致シマシテ——、自分ノ都合ノ好イ子分ニバカリ配給スルト云フヤウナコトヲ今ヤツテ居ルサウデアリマシテ、織物工業組合ノ方ノ人ノ子分ニナツテ居ル者ハ思フヤウニ配給ガ受ケラレルガ、子分關係ノナイ者ハサツパリ配給ガ受ケラレナイト云フコトデアリマスカラ、其ノ點ニ付テハ嚴重ニ監督ラシテ戴ク必要ガアルト思フノデアリマス、其ノ點ニ付テノ監督方針ニ付テ御伺致シマス

マスト、「ミニラ」麻ノ卷絲工業組合ト云フモノガ一ツト、更ニ麻眞田工業組合ト云フ、

之ヲ織物ニスル方ノ工業組合トニ分レテ居ルサウデアリマスルガ、此ノ「ミニラ」麻ノ

ニ依ツテ原料ヲ卷絲工業組合ノ方ニ配給サセルカラト言フノデ、工業組合ヲ作ツタニモ拘ラズ、直接配給ヲ受ケナインハ商工省ガ嘘ヲ言ツタノダト云フコトデ、大變憤慨シテ居ルノデアリマスガ、サウ云フ事實ハアリマスカ

○東政府委員 其ノ問題ニ付キマシテハ吾吾も聞イテ居リマス、併シ大體卷絲ノ業者ハ、麻眞田ノ工業組合ノ方ノ下請ト云フヤウニ從來カラ關係ガナツテ居リマスノデ、

ノ沿革ヲ認メマシテ、麻絲ハ之ヲ工業組合ニ配給シ、其ノ組合員カラソレバ、卷絲業者ニ配給スルコトニナツテ居ルノデアリマ

ニ、卷絲業者ノ方ニ不當ナ壓迫ガ及ブヤウナコトガアリマシテハ、甚ダ宜シクアリマス

ス、併シ其ノ間サウ云フコトガアリマス爲ニ、卷絲業者ノ方ニ不當ナ壓迫ガ及ブヤウナコトガアリマシテハ、甚ダ宜シクアリマ

コトノナイヤウニ指導シテ行キタイト考ヘ

テ居リマス

○中村委員 卷絲工業組合ノ人ニ言ハセマ

スト、工業組合ヲ作レバ、直接商工省監督

ニ依ツテ原料ヲ卷絲工業組合ノ方ニ配給サ

セルカラト言フノデ、工業組合ヲ作ツタニモ拘ラズ、直接配給ヲ受ケナインハ商工省

ガ嘘ヲ言ツタノダト云フコトデ、大變憤慨シテ居ルノデアリマスガ、サウ云フ事實ハアリマスカ

○東政府委員 御話ノ點ハ御尤ト思ヒマス
カラ、十分不公平ノナイヤウニ監督ヲシテ
行キタイト思ヒマス

○中村委員 モウ一ツ、是モ業者ノ方ノ希望
デアリマスノデ、併セテ御尋シテ置キタイ
ト思ヒマス、鋼材ノ配給ニ付テアリマス
ルガ、大體昨日承ツタノデ、極ク細カイ點
ダケ再度承ツテ置キタイト思ヒマス、昨日
調整局ノ次長ノ御答辯ニ依リマスルト、今
度ハ新シク鋼材ノ販賣會社ヲ作ツテ、配給
方法ニ付テハ十分考ヘルト云フ御答辯デア
ツタノデアリマスルガ、新シク販賣會社ガ出
來ルニ致シマシテモ、配給機構トシテハ、
問屋ト特約店ト云フモノハ依然トシテ殘ル
ノダ、斯様ニ考ヘルノデアリマス、今民間
ノ業者ニハ、問屋ト特約店ト兩方カラ二筋
道デ配給シテ居ルノデアリマスガ、ドウシ
テモ特約店ヲ活カシテ行ク爲ニハ、問屋ノ
配給ニ付テ何等カノ制限ヲスル必要ガアル
ト思フノデアリマス、其ノ制限ノ方法ニ付
テ何等カ具體的ノ御考ガアリマシタナラバ、
此ノ際御答辯ヲ願ヒタイト思フノデアリマ
ス

○東政府委員 配給會社ノ問題ニ付キマシ
テハ目下準備中デアリマシテ、是ガ出來マ
シタ際ニハ、其ノ爲ニ配給上不都合ナコト
ジマス

ガアルトカ、或ハ從來ノ業者ニ不當ナル不
利益ヲ來スコトノナイヤウニ、十分注意致
テシ行キタイト考ヘマス

○中村委員 モウ少シ具體的ニ御尋致シマ
ス、若シ問屋ニ對シテ制限スルトシマスレ
バ、種類ニ依ルノカ、廻數ニ依ルノカ、或
ハ使用先ト云フヤウナモノデ、何等カノ制
限ヲスル標準ヲ御決メニナル必要ガアルト
思フノデアリマスルガ、若シ決メルトスレ
バ何ニ依ツタラ適當ダト思ハレマスカ
○東政府委員 其ノ標準ハ、從來ノ取引數
量ヲ標準ニシテ決メテ行キタイト考ヘテ居
リマス

○中村委員 更ニ現在デモ、問屋ガ民間ニ
賣ルノト、特約店ニ賣ルノトハ兩方トモ五
ノ業者ニハ、問屋ト特約店ト兩方カラ二筋
道デ配給シテ居ルノデアリマスガ、ドウシ
テモ特約店ヲ活カシテ行ク爲ニハ、問屋ノ
實際ニ來テ居ルノカドウカ分ラナイノデ、五〇%
ノ問屋ニ來ル數量ガ分ラナイノデ、五〇%
更ニ問屋ト特約店ト云フヤウナモノヲ併セ
デアリマス、今後ハ鋼材ノ販賣會社ト、
アルノデアリマス、其ノ配給ノ萬全ヲ期スルコ
トガ宜イノダト思フノデアリマスルガ、サ
ウ云フヤウナ配給協議會ト云フモノヲ作ラ
セル御考ハゴザイマセヌカ

○東政府委員 其ノ點ニ付キマシテハ、ソ
レゾレ係リヲ決メマシテ嚴重ナ監督ヲ致シ
テ居リマスカラ、不公平ナコトハナイト存
在ルコトモ出來マスガ、町役場等ニ於キマシ
テハ、工業組合ノ關係法規モ能ク香込ンデ
居ナイノデ、其ノ手續等ニ非常ニ苦シンデ居
ルノデアリマス、殊ニ今回工業組合法ヲ改
正サレマシテ、小組合ト云フ制度ヲ設ケラ

○中村委員 其ノ問屋ニ卸サレマスル數量
ト云フモノハ、發表スル譯ニハ行カナイノ
ト云フコトモ、其ノ趣旨ノ現ハレニ外ナラ
ト云フコトニ付キマシテモ、色々ナモ
ノニ付テ既ニ協議會ガ出來テ居ルノデアリ
マスガ、鋼材ノ配給ニ付テモ、御話ノヤウ
ナ機構ガ必要デアルト云フコトニナリマス
作ツテ居ルサウデアリマスガ、新シイ會社
ニ新鐵共販ヲ入レル御考デアリマセウカ、
ドウデアリマセウカ

○東政府委員 其ノ點ニ付テハ目下考究中
デアリマス

○中村委員 實際ノ配給ニ付キマシテ色々
問題ガ起ツテ居リマスノハ、配給ノ統制ガ
完全ニ行ハレテ居ラヌカラダト私達ハ考ヘ
ヒマス、小工業者ガ工業組合ノ組織ニ依ツ
テ非常ナ恩惠、利益ヲ受ケテ居リマスト共
ニ、一方ニ事務的ニ不馴レナ仕事ノ爲ニ、
非常ニ苦痛ヲ感ジテ居ルト云フコトハ事實
デアリマス、是ハ地方ニ行クニ從ツテ指導
者等モ段々少クナリマス、縣廳ノ所在地其
ノ他ニ於キマシテハ相當簡單ニ指導ヲ受ケ
居ナイノデ、其ノ手續等ニ非常ニ苦シンデ居
ルコトモ出來マスガ、町役場等ニ於キマシ
テハ、工業組合ノ關係法規モ能ク香込ンデ

レマシタコトニ付テハ、之ニ該當スル業者

ハ、此ノ點ニ付テ全然何等ノ知識モ持タナ

イ業者ガ多數デアルト考ヘラレルノデアリ

マスガ、此ノ點ニ付テ商工省ハドウ云フ

御認識ヲ持ツテ居ルカ、之ニ對シテ如何ナ

ル準備ヲ御持チニナツテ居ルカ、御伺致シ

タイ

○東政府委員 御話ノ點ハ御尤デアリマス、

私共モ小組合ノ指導ト云フコトニ付テハ、

特ニ細心ノ注意ヲ拂ハナケレバナラスト考

ヘテ居リマス、之ニ付キマシテハ地方廳ニ

相當ノ人ヲ増加スルコトガ、既ニ追加豫算

デ要求シテゴザイマス、本省デモ組合ノ指

導監督ノ爲ニ、若干ノ人ヲ殖ヤスコトニナ

ツテ居リマス、其ノ外工業組合中央會ノ支

部等ニ對シマシテモ、出來ルダケ指導スル

ヤウニ仕向ケテ行キタイト思ツテ居ルノデ

アリマス、特ニ小組合ニ付キマシテハ、其

ノ設立ノ場合等モ、定款其ノ他ノ書類ハ、

縣廳ノ方デナリ、或ハ工業組合中央會ノ支

部等ニ於テ、皆作製シテヤル所マデ、實際

ノ指導ト援助ヲシテ行キタイ、斯ウ考ヘテ

居リマス

○中田委員 十四年度ノ追加豫算ヲ見マス

ト、内務省ノ豫算ノ中ニ工業組合ノ事務ニ

關スル豫算ヲ計上セラレテ居ルノデアリマ

スガ、アノ經費ハ只今御話ニナツタヤウナ

モノニ充テラルベキモノデゴザイマスカ

○中田委員 左様デゴザイマス

○中田委員 色々ナ事務ハアリマスケレド

モ、一番必要ヲ感ズルノハ登記ヲ要スル事

務ダト思ヒマス、此ノ事務ニ付テハ產業組

合ニ於キマシテハ囑託登記ト云フモノガ出

來マシテ、產業組合ノ登記ト云フモノハ何

等ノ苦痛ヲ感ゼズシテ、登記事務ヲ濟マス

コトガ出來ルヤウニナツテ居リマスガ、商

業組合、工業組合モ此ノ點ニ於テハ國ノ施

設トシテ、產業組合ト同一ニ取扱ハルベキ

モノダト考ヘルノデアリマスケレドモ、此

ノ點ニ付テノ御考ヲ承リタイ

○東政府委員 其ノ點ニ付キマシテモ、私

共色々研究ヲ致シマシテ、產業組合ト同ジ

ヤウニ小組合ノ登記ニ付テハ、所謂囑託登

記ノ制度ヲ執ツタラドウカト云フコトノ研

究ヲ致シタノデアリマスガ、實情ハ却テ囑

託登記デアル爲ニ手續ガ遅レテ、非常ニ事

務ガ滯滯シテ居ルコトガ多イト云フヤウナ

コトモアルノデアリマシテ、此ノ際トシテ

ハ囑託登記ノ制度ヲ執ラナカツタノデアリ

マス、併シ登記ハ成ベク簡便ニ取扱フ、特

ニ工業小組合ニ付テハ便利ニ取扱フト云フ

コトニ、司法省トノ打合セモ致シマシテ、

暫ク囑託登記ノ制度デナク行ソテ見タイト

考ヘテ居リマス

○中田委員 事務ノ簡易化ト云フコトハ、

工業組合、殊ニ小組合ノ制度ニ於テハ最モ

ハ十分ノ御配慮ヲシテ戴キタイト云フコト

ヲ、特ニ希望シテ置キマス、次ニ御伺シタイ

ト思ヒマスコトハ、十四年度ノ追加豫算ニ

於キマシテ、商工省關係ニ於テ工業組合ニ

對スル相當ナ經費ヲ計上致シテ居リマスガ、商

業組合ニ付テ御説明願ヒタイ

此ノ内容ニ付テ御考ヘテ居リマス

○東政府委員 先程モ申シマシタ地方廳ニ

人ヲ置ク費用ハ、專ラ工業組合ノ指導監督

ノ爲ニ人ヲ殖ヤスノデアリマス、又本省デ

工業組合事務官四人、ソレカラ屬十人ノ增

員ヲ致スノデアリマスガ、是ハ專ラ工業組

合ノ監督ニ從事セシムル積リデアリマス、

組合ニ對シテ、組合自體ノ事務費マデ補助

スルト云フコトハ、財政上ノ都合モアリマ

スノデ、只今ノ所考ヘテ居リマセヌ

シテ、府縣デ必要ナ機械ヲ買入レテ、其ノ

機械ヲ工業組合ニ貸與ヲスル、斯ウ云フコ

ニ、事務費ノ支辨ニ困ツテ居ルト云フ實情

ハ、申上ゲルト敷限リナク澤山アルノデゴザ

イマス、現ニ鐵銅配給ガ工業組合ヲ通ジテ

モ、サレルコトニナリマシテ以來、ドウシテ

考デセウカ

○東政府委員 補助ハ四分ノ三ノ補助ヲス

キ、又本省ニモ事務官、屬官等ノ増員ヲス

ルト云フコトデゴザイマスガ、ヤハリ組合

ノ事務ニ付テハ、監督指導ノ人ヲ得タダケ

デハ、十分ニ組合員ガ其ノ恩惠ニ浴シ得ナ

イ、ソレヨリハ寧ロ組合ニ對シテ事務費ノ

補助ヲスルト云フコトガ必要デハナイカト

考ヘルノデアリマスガ、此ノ點ニ付テノ御

考ヲ承リタイ

○東政府委員 御話ノ通り組合ノ中ニハ、

其ノ組合ヲ經費ヲ支辨スルコトガ困難ナ組

合モ相當アルト思ヒマスケレドモ、多數ノ

組合ニ對シテ、組合自體ノ事務費マデ補助

スルト云フコトハ、財政上ノ都合モアリマ

スノデ、只今ノ所考ヘテ居リマセヌ

シテ、府縣デ必要ナ機械ヲ買入レテ、其ノ

機械ヲ工業組合ニ貸與ヲスル、斯ウ云フコ

ニ、事務費ノ支辨ニ困ツテ居ルト云フ實情

ハ、申上ゲルト敷限リナク澤山アルノデゴザ

イマス、現ニ鐵銅配給ガ工業組合ヲ通ジテ

モ、サレルコトニナリマシテ以來、ドウシテ

モ、蹄鐵工デモ、鍛力屋デモ、何モ彼モ工

業組合ヲ組織シテ、其ノ區域モ十里モ二十
里モ廣イ範圍ニ亘ツテ、組合員ガ散在シテ
居ルト云フ狀態デアリマス、而シテ此ノ經
費ヲ支辨スルニハ、配給シ得ル材料ニ對ス
ル手數料デ支辨スルコトニナツテ居リマス
ガ、配給サレルモノハ極ク僅カノ量シカ配
給サレナイ、ソレカラ生ジテ來ル手數料ナ
ドデハ到底是ハ支辨シテ行ケナイ、結局縣
アタリカラ責メラレテ、其ノ發起人ニナツ
テ組合ノ世話ヲシテ居ル者ガ、自腹ヲ切ツ
テ奔走シナケレバナラスト云フヤウナ實情
デアルノデアリマス、鐵鋼配給ノコトニ付
キマシテハ、日工聯ノ方カラ小サナ組合ニ
對シテ或ル補助ヲスルトカ聞イテ居リマシ
タガ、是ハマダ實現ニナツテ居リマセヌ、
斯ウ云フ實情カラ致シマシテモ、是ハ相當
ニ考慮シテ戴ク必要ガアルノデアリマス、
殊ニ小組合ナドノ制度ガ出來マシタナラ
バ、或ハ範圍ノ廣イ組合ト違ツテ、事務費
ト云フ點ニ付テハ多少其ノ點ハ緩和サレル
カトモ考ヘマス、併シ相當ニ事務費ニ困ツ
テ居ル、今マデ、組合ヲ組織シタコトニ依
リマシテ、材料ガ不自由ナク貰ヘルノダ、
仕事ノ配給モ受ケ、軍需品ノ配給等モ受ケ
ルコトガ出來ル、斯ウ云フ考デ喜ンデ組合
ヲ組織シマスケレドモ、入ツテ見テ總會ダ、

役員會ダ、配給ノ會合ダト云ツテ始終會合
ガ澤山殖エル、サウシテ自分達ガ効イテ食
費ヲ支辨スルニハ、配給シ得ル材料ニ對ス
ル手數料デ支辨スルコトニナツテ居リマス
ガ、配給サレルモノハ極ク僅カノ量シカ配
給サレナイ、ソレカラ生ジテ來ル手數料ナ
ドデハ到底是ハ支辨シテ行ケナイ、結局縣
アタリカラ責メラレテ、其ノ發起人ニナツ
テ組合ノ世話ヲシテ居ル者ガ、自腹ヲ切ツ
テ奔走シナケレバナラスト云フヤウナ實情
デアルノデアリマス、鐵鋼配給ノコトニ付
キマシテハ、日工聯ノ方カラ小サナ組合ニ
對シテ或ル補助ヲスルトカ聞イテ居リマシ
タガ、是ハマダ實現ニナツテ居リマセヌ、
斯ウ云フ實情カラ致シマシテモ、是ハ相當
ニ考慮シテ戴ク必要ガアルノデアリマス、
殊ニ小組合ナドノ制度ガ出來マシタナラ
バ、或ハ範圍ノ廣イ組合ト違ツテ、事務費
ト云フ點ニ付テハ多少其ノ點ハ緩和サレル
カトモ考ヘマス、併シ相當ニ事務費ニ困ツ
テ居ル、今マデ、組合ヲ組織シタコトニ依
リマシテ、材料ガ不自由ナク貰ヘルノダ、
仕事ノ配給モ受ケ、軍需品ノ配給等モ受ケ
ルコトガ出來ル、斯ウ云フ考デ喜ンデ組合
ヲ組織シマスケレドモ、入ツテ見テ總會ダ、

役員會ダ、配給ノ會合ダト云ツテ始終會合
ガ澤山殖エル、サウシテ自分達ガ効イテ食
費ヲ支辨スルニハ、配給シ得ル材料ニ對ス
ル手數料デ支辨スルコトニナツテ居リマス
ガ、配給サレルモノハ極ク僅カノ量シカ配
給サレナイ、ソレカラ生ジテ來ル手數料ナ
ドデハ到底是ハ支辨シテ行ケナイ、結局縣
アタリカラ責メラレテ、其ノ發起人ニナツ
テ組合ノ世話ヲシテ居ル者ガ、自腹ヲ切ツ
テ奔走シナケレバナラスト云フヤウナ實情
デアルノデアリマス、鐵鋼配給ノコトニ付
キマシテハ、日工聯ノ方カラ小サナ組合ニ
對シテ或ル補助ヲスルトカ聞イテ居リマシ
タガ、是ハマダ實現ニナツテ居リマセヌ、
斯ウ云フ實情カラ致シマシテモ、是ハ相當
ニ考慮シテ戴ク必要ガアルノデアリマス、
殊ニ小組合ナドノ制度ガ出來マシタナラ
バ、或ハ範圍ノ廣イ組合ト違ツテ、事務費
ト云フ點ニ付テハ多少其ノ點ハ緩和サレル
カトモ考ヘマス、併シ相當ニ事務費ニ困ツ
テ居ル、今マデ、組合ヲ組織シタコトニ依
リマシテ、材料ガ不自由ナク貰ヘルノダ、
仕事ノ配給モ受ケ、軍需品ノ配給等モ受ケ
ルコトガ出來ル、斯ウ云フ考デ喜ンデ組合
ヲ組織シマスケレドモ、入ツテ見テ總會ダ、

役員會ダ、配給ノ會合ダト云ツテ始終會合
ガ澤山殖エル、サウシテ自分達ガ効イテ食
費ヲ支辨スルニハ、配給シ得ル材料ニ對ス
ル手數料デ支辨スルコトニナツテ居リマス
ガ、配給サレルモノハ極ク僅カノ量シカ配
給サレナイ、ソレカラ生ジテ來ル手數料ナ
ドデハ到底是ハ支辨シテ行ケナイ、結局縣
アタリカラ責メラレテ、其ノ發起人ニナツ
テ組合ノ世話ヲシテ居ル者ガ、自腹ヲ切ツ
テ奔走シナケレバナラスト云フヤウナ實情
デアルノデアリマス、鐵鋼配給ノコトニ付
キマシテハ、日工聯ノ方カラ小サナ組合ニ
對シテ或ル補助ヲスルトカ聞イテ居リマシ
タガ、是ハマダ實現ニナツテ居リマセヌ、
斯ウ云フ實情カラ致シマシテモ、是ハ相當
ニ考慮シテ戴ク必要ガアルノデアリマス、
殊ニ小組合ナドノ制度ガ出來マシタナラ
バ、或ハ範圍ノ廣イ組合ト違ツテ、事務費
ト云フ點ニ付テハ多少其ノ點ハ緩和サレル
カトモ考ヘマス、併シ相當ニ事務費ニ困ツ
テ居ル、今マデ、組合ヲ組織シタコトニ依
リマシテ、材料ガ不自由ナク貰ヘルノダ、
仕事ノ配給モ受ケ、軍需品ノ配給等モ受ケ
ルコトガ出來ル、斯ウ云フ考デ喜ンデ組合
ヲ組織シマスケレドモ、入ツテ見テ總會ダ、

役員會ダ、配給ノ會合ダト云ツテ始終會合
ガ澤山殖エル、サウシテ自分達ガ効イテ食
費ヲ支辨スルニハ、配給シ得ル材料ニ對ス
ル手數料デ支辨スルコトニナツテ居リマス
ガ、配給サレルモノハ極ク僅カノ量シカ配
給サレナイ、ソレカラ生ジテ來ル手數料ナ
ドデハ到底是ハ支辨シテ行ケナイ、結局縣
アタリカラ責メラレテ、其ノ發起人ニナツ
テ組合ノ世話ヲシテ居ル者ガ、自腹ヲ切ツ
テ奔走シナケレバナラスト云フヤウナ實情
デアルノデアリマス、鐵鋼配給ノコトニ付
キマシテハ、日工聯ノ方カラ小サナ組合ニ
對シテ或ル補助ヲスルトカ聞イテ居リマシ
タガ、是ハマダ實現ニナツテ居リマセヌ、
斯ウ云フ實情カラ致シマシテモ、是ハ相當
ニ考慮シテ戴ク必要ガアルノデアリマス、
殊ニ小組合ナドノ制度ガ出來マシタナラ
バ、或ハ範圍ノ廣イ組合ト違ツテ、事務費
ト云フ點ニ付テハ多少其ノ點ハ緩和サレル
カトモ考ヘマス、併シ相當ニ事務費ニ困ツ
テ居ル、今マデ、組合ヲ組織シタコトニ依
リマシテ、材料ガ不自由ナク貰ヘルノダ、
仕事ノ配給モ受ケ、軍需品ノ配給等モ受ケ
ルコトガ出來ル、斯ウ云フ考デ喜ンデ組合
ヲ組織シマスケレドモ、入ツテ見テ總會ダ、

役員會ダ、配給ノ會合ダト云ツテ始終會合
ガ澤山殖エル、サウシテ自分達ガ効イテ食
費ヲ支辨スルニハ、配給シ得ル材料ニ對ス
ル手數料デ支辨スルコトニナツテ居リマス
ガ、配給サレルモノハ極ク僅カノ量シカ配
給サレナイ、ソレカラ生ジテ來ル手數料ナ
ドデハ到底是ハ支辨シテ行ケナイ、結局縣
アタリカラ責メラレテ、其ノ發起人ニナツ
テ組合ノ世話ヲシテ居ル者ガ、自腹ヲ切ツ
テ奔走シナケレバナラスト云フヤウナ實情
デアルノデアリマス、鐵鋼配給ノコトニ付
キマシテハ、日工聯ノ方カラ小サナ組合ニ
對シテ或ル補助ヲスルトカ聞イテ居リマシ
タガ、是ハマダ實現ニナツテ居リマセヌ、
斯ウ云フ實情カラ致シマシテモ、是ハ相當
ニ考慮シテ戴ク必要ガアルノデアリマス、
殊ニ小組合ナドノ制度ガ出來マシタナラ
バ、或ハ範圍ノ廣イ組合ト違ツテ、事務費
ト云フ點ニ付テハ多少其ノ點ハ緩和サレル
カトモ考ヘマス、併シ相當ニ事務費ニ困ツ
テ居ル、今マデ、組合ヲ組織シタコトニ依
リマシテ、材料ガ不自由ナク貰ヘルノダ、
仕事ノ配給モ受ケ、軍需品ノ配給等モ受ケ
ルコトガ出來ル、斯ウ云フ考デ喜ンデ組合
ヲ組織シマスケレドモ、入ツテ見テ總會ダ、

利用シテ居リマス、ソレハ今府縣ト連絡ヲ取リマシテ、サウシテ註文モ致シテ居ルノデアリマス、是ガ僅カノ利潤デアリマシテモ、件數ガ非常ニ澤山ニナリマスト、其ノ利潤ガ多クナルコトガアラウト思ヒマスケレドモ、サウデナイ限リヘ大工場ニ於テモ暴利ヲ貪ルト云フヤウナ利潤ガアルモノトハ考ヘテ居ラナイノデアリマス

○中田委員 私ノ希望致シマスルコトハ、單價ノ値下ト云フコトガ可ナリ各方面ニ言ハレテ居ルコトデアリ、之ニ對シテ若シ御調査ヲナサレテ取引ヲサレルト云フヤウナ場合ニ於テハ、大工場ト地方ノ中小工業トハ、生産費ニ於テモ、設備其ノ他ノ關係カラ致シマシテ、相當ナ達ヒガアルト思ヒマスルカラ、一律ニ御扱ニナラナイデ、十分事情ヲ參酌サレテ御扱ヲ願ヒタイ、斯ウ云フ希望デ御尋ヲ致シタノデアリマス

○山本委員 ソレハモウ御述ニナリマジタ通リニ致シテ居ルノデアリマシテ、將來モチットモ其ノ方針ニ變リハゴザイマセヌ、殊ニ地方ノ小工業ニ對シテハ、海軍トシテハ府縣ヲ通ジ、或ハ工業組合カラノ要望ニ依リマシテ指導員ヲ派シ、實際ノ技術ヲ教ヘテ居ルヤウナ狀況デアリマシテ、サウ云フモノコソ十分保護ヲシナケレバナラ

ヌト云考ハ、從來モサウデアリマシタガ、將來モ變リハゴザイマゼス

○中田委員 只今ノ御答辯ヲ承リマシテ、私共非常ニ安心ヲ致シマシタ、組合制度ガ段々改正サレマシテ、小組合其ノ他ノ制度ガ出來テ、整備ハ致シテ行キマシテモ、何シロ仕事ガナケレバ結局小工業者ト云フ者ハ救ハレナイノデアリマス、地方ノ實情ト致シマシテ、現在ハ材料ノ配給其ノ他ノ關係カラ致シマシテ、軍需工業ニ依ツテ立ツテ行方ナケレバナラナイト云フ實情ニナツテ居リマシテ、此ノ點ハ更ニ一層地方ノ中小工業者ニ付テ御配慮ヲ戴キタイト考ヘル次第デアリマス、現在陸海軍共契約ノ前渡金ヲ拂ツテ戴クノデ、業者ハ資金ノ點ニ於テハ非常ニ樂ニナツテ居ルノデアリマスルガ、唯一番困ルコトハ納期ガ確實ニ行カナイノデ、此ノ點ハ軍部ニ對シテモ甚ダ御迷惑ヲ掛ケルト共ニ、業者自身モ非常ニ困ツテ居ルノデアリマス、ソレハ要スルニ初メテノ仕事デアリマシテ、之ニ對スル設備モ不十分デアリ、又職工等モ慣レナイト云フコトガ原因致シテ居ルノデアリマスルガ、シテハ府縣ヲ通ジ、或ハ工業組合カラノ要望ニ依リマシテ指導員ヲ派シ、實際ノ技術ヲ教ヘテ居ルヤウナ狀況デアリマシテ、サウ云フモノコソ十分保護ヲシナケレバナラ

貰フ、斯ウ云フコトガ出來マシタナラバ、非常ニ此ノ點ハ業者ガ樂ニナルト考ヘルノコトニ工夫ガ出來ルダラウト思ヒマスケレドモ、又物ニ依リマシテハサウハ行カナイドモ、又副フヤウニ致スコトニ、地方ノ購買官ニモ適當ナ機會ニ申傳ヘルコトニ致シマス

○中田委員 次ニ商工省ノ方へ簡單ニ伺ビタイト思ヒマス、此ノ追加豫算ヲ見マスト、軍需品ノ發注引受ニ關スル豫算ガ計上サレテ居ルノデアリマスガ、此ノ發注事務所ニ對スル費用ト云フノハドウ云フモノデスカ

○吉田說明員 対スル費用ト云フノハドウ云フモノデスカ

テモ、是バカリノ資金デハ到底一般ノ小工業者ニ幾フノ配分ニモナラヌ、尙且ツ何レノ府縣デモ其ノ割當額ヲ可ナリ残シテシマフト云フノガ實情デアル、餘計貸付ケタ所デ七割位、少イ所デハ二割位シカ貸付ケテ居ナイ、其ノ理由ハ何カト云フト、補償制度ニ於テモ所謂金融業者ニモ一部ノ責任ヲ持タセルカラ、勢ヒ金融業者ハ擔保ヲ取ツテ貸スコトニナル、ダカラ是ガ思フヤウニ融通サレナインデアル、故ニ今後ハ金融業者ガ擔保ヲ取ラズニ貸スト云フコトニシナケレバ駄目ダト思ヒマスガ、サウ云フ方法ニ

ヤウナ方法ニアツテハ、到底借リルコトガ
出來ヌコトハ分り切ツテ居ル、中小商工業
者ノ救ハレナイ所以ハソコニ在ル、損失補
償制度ト云フヤウナモノヲ設ケテ、是ガ全部
デ一千万圓ノヤウニ見エテ居ル、今日一組
合ニ對シテ一万圓乃至二万圓、一組合ヲ十
人トシテ約三十万人アルトスレバ、少クト
モ三万組合ナリ四万組合拵ヘナケレバナラ
ヌ、ソレヲグソト切下ゲテ見テモ一万組合
位ハ造ラナケレバナラヌ、ソレニ要スル資
金ハ少クトモ一億五千万圓カ二億圓位ナケ
レバ間ニ合ハヌノデアリマス、然ルニモ拘
ラズ一千万圓ノ損失補償制度ノモノデス

イ、高橋大藏大臣ガ曾テ「モラトリアム」ヲヤ
ラレタ時ニ於テモ、各府縣ニ對シテ相當の割當ノ低利資金ガ廻ツテ來タ、併シナガラ之ヲ借りタ者ハヤハリ有力ナ者ガ申譯的ニ借リタダケデアツテ、眞ニ借りナケレバナラナイ者ハ擔保ヲ要スルノデ借リルコトガ出来ナカツタ、何モ擔保ガアル位ナラソニモノヲ借りナクテモ、結構有利ノ金融ハ調フノデアリマス、其ノ後ズット何レノ内閣ニ於テモ中小商工業者ノ救濟ト云フコトヲ叫ンデ來タノデアルケレドモ、其ノ方法ハ當ニ低利資金或ハ共同施設ト云フヤウナコトデアツテ、是等ハ何レモ資力ノナイ者ハ利

ルト云フコトガ常ニ有リ勝チデアリマスカラ、結局此ノ人ハ避ケル、サウナルト此ノ十人ヲ一組トスルコトハ、同ジヤウナ商賣、同ジヤウナ資力ノ者デナケレバイカヌト云フコトニナツテ來マスガ、ソコデ愈、振落サレタ無資力ナ者ニ、政府ガ一千万圓ヤソコ等ノ低利資金ヲ如何ニ補償制度ヲ以テヤルト言ハレタ所ガ、ソレコソ大海ニ蜑貝トルコトハ言フベクシテ行ヒ難イコトデアリル、ダカラ此ノ小組合ヲ設ケテ、金融ノ方ヲ政府ガ十分ニ補償スルト云フコトニシテ、資力ノ無イ者カラ先ニヤレバ宜イガ、出來

中華書局影印
中華書局影印

ニ東政府委員 中小商業者ニ對スル金融
ニ付テハ只今御話ノヤウニ、中々圓滑ニ行
キ難イ點ガアルト思ヒマス、損失補償ノ點
ニ付テモ、從來ヤハリ一部金融業者ニ責任
ヲ負ハセマス爲ニ、中々貸出ガ慎重デ、十
分ニ行キ兼ネルト云フ點ガアルコトモ認メ
テ居リマス、其ノ點ニ付キマシテモ最近之
ヲ或ル程度改正シマシテ、或ル程度マデ金
融業者ノ損失ハ全部之ヲ補償スルト云フ制

ヲ、各府縣ノ例ヲ見レバ前述ノ通りノ不成績デアル、之ヲ見テモ如何ニ金融ガ困難デアルカト云フコトガ立證サレルト思フ、況ヤ低利資金ト言ヘバ、勸銀デアルトカ特殊銀行ニ依ツテ融通セラレル所ノ低利資金ハ勿論擔保ヲ要スルコトニナツテ居ル、今政府デハ銀行業者ノ補償モ政府ガヤルト言ハレマシタガ、ソレニハ相當ノ豫算ヲ持タナケレバナラヌ、ソコデ唯單ニサウ云フコトヲスル方針ダト云フヤウナコトダケデハ、

用スルコトガ出來ナイ、結局政府ノ救濟ニ
恩典ニ浴スル者ハ、救濟ヲシナクテモ宜イ
ヤウナ者ガ其ノ恩典ニ浴スル、今茲ニ小組
合ヲ造リマシテモ、出來タモノハ何カト云
ヘバ、資力アル所ノ十人ノ連帶責任デアル
トカ、又十人ノ者ノ保證責任ト云フコトヨ
言ツテ居ル、假ニ擔保ガナイト致シマシテモ
モ十人ノ連帶責任トナリマスト、先ヅ同ジ
ヤウナ資力ノ者ダケナラ仲間ニナリマスガ

放題ニ各方面ノ申請ニ任シテヤルト云フト、
結局目的デナイ所ノ資力ノ有ルモノガ設立
ヲシテ、資力ノ無い者ハヤハリドウスルコ
トモ出來ナイト云フコトニナリマスカラ、
寧ロ此ノ施設ニ對シテ呪ノ聲ヲ放チ、ソコ
ニ僻ミ根性ヲ起シテ來ルト云フコトデ、ヤラ
ヌ方ガ宜イト云フコトニナリハシナイカ、
若シ夫レ單ニ斯ウ云フ低利資金トカ、唯漠然
ト從來ノヤリ方ヲヤルナラバ、羊頭狗肉ノ
譏リヲ免レナイノミナラズ、サウ云フコト

○櫻口委員 小組合ト云フモノヲ規則ノ上
ニ設ケラレルコトハ宜イケレドモ、低利資
金ノ融通ニ付テ政府ガ從來ヤツテ居ラレル

單ニ小組合ヲ造ルト云フダケノコトデ、ヤ
ハリ其ノ金ヲ借り得ル者ハ資力アル者ノミ
ガ借リラレテ、資力ノナイ者ハ借リラレト

此ノ人ハ仲間ニナルコトヲ避ケル、何トナレバ今度ノ連帶責任ノ個人保證ニナルモノデアルカラ、其ノ取立ニ對シテ不利益ヲ蒙

ヲシタ結果ハドウカト云フト、今言フ通りニ
目的デナイ資力ノ有ル者ヲ救濟スルコトニ
ナツテ、資力ノ無イ者ハ依然トシテドウスル

ヤウナ方法デアツテハ、到底借リルコトガ

イ、高橋大蔵大臣が曾テ「モラトリアム」ヲヤ
ラノタ時ニムニモ、各府^{アソシ}ニ封ノニ目當ノ

ルト云フコトガ常ニ有リ勝チデアリマスカラ、吉田比ノ人、韓アレ、ナクナレト比ノ

コトモ出來ナイ、益、ドン底ニ陥ツテ行クノデアリマス、其ノ資力ノ無イ者モ少シドウカシテヤレバ、眞ニ家庭工業デヤツテ居ルモノデアルカラ、我國ノ工業ノ基礎ヲ成シテ居ツテ、過去ニ於テモ、國家ニ貢獻シテ居ル所ノ小工業デゴザイマシテ、將來ニ於テモ是ガ我國ノ中堅トナツテ、最モ根強イ所ノ工業組織ヲ成ス所ノ小工業者デアル、ハ何ニモナラヌ、見タ所ヘ小サイモノヲ寄セテ斯ウ云フモノヲ作レバ、如何ニモ政府ノ施設ハ宜イヤウニ見エマスガ、行ヘヌ所ノ結果ヲ見タ時ニ於テ、全クコンナ事ハヤラヌ方ガ宜イノデハナイカ、或ハ一時社會政策的ナ氣持ヲハセルト云フ程度デアツテ、結局救ヒ上ゲルコトガ出來ヌヤウニナル思フガ、此ノ點ニ付テモ必ズナ私ハ大藏省ト商工省トノ話ハマダ出來テ居ラスト思フ、今商工省ガ目指サレル小組合ハ、一年ニドレ位作ツテ行クト云フ御見込デアリマスカ、其ノ點ヲ承リタイ

○東政府委員 御話ノ通り從來兎角中小ノ特ニ小サナ業者ノ方へハ資金ノ融通ガ困難デアツタト云フ實情ハアツタト思ヒマスガ、併シ此ノ小組合ガ出來マスレバ、五人ナリ十人ナリ集ツテ、共同ノ設備ヲシテ、仕事

モ漸次相當ノ基礎ガ出來テ行クト云フコトニナリマスレバ、自ラ其ノ共同ノ設備ヲ擔保ニシテ金融ヲ受ケルト云フコトモ出來マシシ、又普通ノ工業組合ト違ヒマシテ、極シ小人敷デ、而モ同ジヤウナ程度ノ相信賴シ得ル業者ノミガ集ツテ小組合ヲ作ルノデアリマスカラ、共同連帶保證ニ依ツテ資金アラウト思フノデアリマス、此ノ制度ガ出来マスレバ、相當金融ヲ受ケルト云フコトニ付テモ便宜ガ多カラウト思フノデアリマス、尙ホ小組合ガドノ位ノ數出來テ行ク積リカト云フ御尋デアリマスガ、是ハ只今ノ所、之ヲ實施致シマシテ、最初ノ年ハ約二千位ハ出來ルノデハナイカト見當ヲ付ケテ居リマス、併シはヤツテ見マセヌコトニハ、的確ニドレ位出來ルト云フコトハ申上ゲ兼ネルノデアリマス

○櫻口委員 サウスルト今ノ數カラ申スト十五箇年掛ツテ作ラスト云フコトニナル、小組合ヲ作ラセル必要ノアルノハ約三万トカ四万トカ云ヒマスガ、一年二千組合ト云フト少クモ十五年ハ掛ル、今日ハソンナ餘裕ヲ持ツテ居ル時デハ決シテナイト思フ、常ノ時ナラソレデ宜シイガ、今斯ウ云フ事變ノ爲ニ重壓ヲ受ケ、サウシテ四苦八苦

争ヘヌ證據ハ、政府ハ補償支拂ト云フモノヲ殆ドシテ居ラナイ、銀行ガ吟味シテ貸シテ居ルカラ、損ガ政府ニ轉ンデ來ル筈ハ決シテナイ、現ニ私ハ自分ノ縣ヲ調ベタコトガアリマスガ、何デモ二百圓トカ損害ガアシテタ云フコトデアル、其ノ位ノ損害ナラスカ

私等デモ出來ル、結局將來ハ擔保デヤラズニ、連帶責任ニナルト云ヒマスガ、其ノ時ニ若シ小資本ノ者ガ金ガ借リラレナカツタ時ニハ、政府ハドウ云フ御取扱ヲナサイマスカ

○東政府委員 銀行ヘ行ツテ銀行デ貸サナカツタ場合ニドウスルカト云フ御尋デアリマスガ、サウ云フコトノナイヤウニ、成ベク小組合ハ工業組合ニ入り得ルノデアリマシテ、工業組合カラ資金ノ融通ヲ受ケルノデアリマスカラ、若シ直接銀行等カラ資金ノ融通ヲ受ケラレヌ場合ニハ、成ベク工業組合ヲ通ジテ融通サセルト云フヤウナコトモ考ヘテヤラナケレバナリマセヌ、其ノ他組合ヲ整備致シマシテ、成ベク資金ノ融通等ニモ支障ノナイヤウニ指導ラシテ行キタイト考ヘテ居リマス

○櫻口委員 サウスルト斯ウ云フ場合ガアリマス、連帶責任ガ出來ヌト云フ場合ニハドウシマスカ、連帶保證ヲサセルヤウニ政府ガシテヤラナケレバ是ハ出來ルモノデハ

トモ四千ヤ五千ハ出來テ行クト思ヒマスノデ、假ニ二万ノ組合ガ出來ルト致シマシテモ、サウ十年トカ十五年トカヲ要スルモノトハ考ヘテ居リマセヌ

○櫻口委員 私ノ尋ねタノハサウ云フコトニシテヤラナケレバナラヌト云フ際ニ、一千五百箇年掛ツテ作ラスト云ヒマスガ、一年二千組合ト云フコトニナル、小組合ヲ作ラセル必要ノアルノハ約三万トカ四万トカ云ヒマスガ、一年二千組合ト云フコトニナル、小組合ヲ作ラセル必要ノアルノハ約三万トカ四万トカ云ヒマスガ、一年二千組合ト云フコトニナル、小組合ヲ作ラセル必要ノアルノハ約三万トカ四万トカ云ヒマスガ、一年二千組合ト云フト少クモ十五年ハ掛ル、今日ハソンナ餘裕ヲ持ツテ居ル時デハ決シテナイト思フ、常ノ時ナラソレデ宜シイガ、今斯ウ云フ事變ノ爲ニ重壓ヲ受ケ、サウシテ四苦八苦リマスケレドモ、次年度カラハ一年ニ少ク

ナ、連帶ノ個人保證ヲサセルト云フコト

自體が出来ヌト云フコトニナツテ來ル、ダ
カラサウ云フ個人保證ヲサセルヤウニ、政
府ガ保證ニ立ツト云フコトニシテ貰ヘヌモ
ノデスカ

○東政府委員 資金ノ融通ト云フコトハ中
中難カシイコトデアリマシテ、救濟ノ爲ニ

補助金ヲ出スト云フヤウナ場合ト違ヒマスカラ、貸出ニ付テハ相當信用アリ、資金ノ貸出ニ適當ナモノデナケレバナラスト思フノデアリマシテ、隨テ小組合ノ制度ヲ設ケルト云フ趣旨ハ、單獨デハ資金ノ融通ヲ受ケラレヌ業者ニモ、資金ノ融通ヲ受ケルヤウニ、之ヲ組織化シテ行カウト云フノガ趣旨デゴザイマスカラ、成ベク其ノ制度ニ依リマシテ、小サナ業者ガ資金ノ融通ヲ受ケラレルヤウニ指導シテ行キタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○繩口委員 ソレハ一人ナラバ借りラレルケレドモ、連帶ノ保證ヲスルコトガ出來ヌト云フノデス、一人ナラバ借りラレルデセウガ、十人ナリ二十人ナリノ連帶ト云フコトニナルト、其ノ一人々々ノ保證ヲセヨト云フカラ借りラレヌノデス、今ノ御説明カラ言ヘバ從來ト同ジヤリ方ヲ、成タケ注意シテヤルト云フコトデアツテ、ヤハリ小資力ノ者ハ借リルコトガ出來ヌノデアリマス、

私其ノ政府ノヤラレタ實績ヲ一ツ見セテ貰
ヒマスガ、果シテ小組合ハ資力ノアルモノ
カナイモノカ、何時デモ中小商工業者ノ
低利資金ハ誰ガ借リルカト思ツテ、銀行デ
調べテ見ルト、擔保ノアル者、有力ナ者ガ
借りテ、他ノ者ハ振落サレテ借リラレヌノ
デス、サウ云フコトダカラ實施ヲシタ曉ニ
ナルト目的ト反シタ結果ニナル、是等モソ
ンナ一千万圓ヤ二千万圓デヤナク、幾ラ氣
永ク見タ所デ一億ナリ二億ナリ、其ノ位ノ
用意ラシナイコトニハ、實際小組合ダ、小
組合ダト云ツタツテ、ソレヲ借リル者ハヤ
ハリ力ノアル者、政府ガサウ云フコトヲセ
ラレヌデモ私ハヤツテ行ケル者ダト思フ、
併シナガラ是ハ今何度局長サンニ言ツテ見
タ所ガ仕方ガナインオデ、此ノ程度デ私ハ止
メテ置キマス

モウ一つ御尋スルノハ、政府ハ何時モ轉
業ヲサセルト云フ時ニハ、動ケヌヤウニナ
ツタ者ヲ轉業サセル、サウ云フ者ヲ轉業サ
セルト云フコトハ餘程私ハ見當ガ違ヒハセ
ヌカト思フ、是ハ相當資力ノアル者ヲ轉業
今是方平和産業デ困ツテ居ル者ガアル、其
ノ人々ヲ平和産業ノ方カラ持ツテ來ル
ト、其ノ下ノ者ハ政府ガソシンナコトヲセヌ

デモ、ヤハリ工業者ノ小サイ者ハ其ノ製品ヲ家デ元ノ通リ造ルコトガ出來ルノアル、今日資力ノアル内ニ其ノ一人ヲ轉業サセルト云フコトニシタ方ガ本當ヂヤナイカ、モウ動ケヌヤウニナツタ者ニ、行ケト言ツタツテ動ケハシナイ、ソレハ旅費ノナイ者ニ旅ヲセヨト云フヤウナモノダ、ヤレヌコトヲ高ヒテヤラス、ソレダカラ政府ノ轉業ノ實績ト云フモノガ舉ラヌノダ、今日殆ド舉ツテ居リハセヌ、之ヲ本當ニ轉業サセルト云フコトヲスルニハ、今日ニ因ツテ居ラヌ者ヲ轉業サセル、失業ハシテ居ツテ遊ンデ居ルケレドモ、平和産業ノ方ノ工業組合ノヤル生産統制ノ割當ヲ持ツテ居ル、其ノ割當ヲ一ツ緩和シテヤレバ、下ノ方ノ者ハ何モ轉業セヌデモ割當ガ來ルヤウニナル者ガ多イト私ハ思フガ、今ノ御方針ハ、ヤハリ動ケナイヤウニナツテ、ドウニモ斯ウニモナラヌ者ヲ轉業サセルト云フ御考ニナツテ居ルヤウニ見エルガ、ドンナモノデスカ
○東政府委員 御話ノ通り、サウ云フ風ニイテ行ケルト云フ場合ガアリマスガ、又小サベクヤリタイト考ヘテ居リマスガ、又小サニテ業者デ實際困ツテ居ル人ニモ、ヤハリ適

當ニ之ヲ指導シテ、出來ルコトナラバ轉業ヲ考ヘテ行カナケレバナラヌノデアリマス、私共實際ノ實績ト致シマシテハ、工業者ノ轉業ト云フコトハ、相當短期間デアルニ拘ラズ、實績ヲ舉ゲツツアルト考ヘテ居リマス

○纏口委員 私ハマダソコノ所ガ分ラヌ、相當ノ成績ヲ舉ゲテ居ルト言ハレルガ、ソレハ成程世間ハ廣イカラ轉向シタ著モアリマセウ、私共ノ言フノハ斯ウ云フコトデス、三菱ナリ何ナリト云フ指定工場ガ大キナ擴張ヲシテ居ル、其ノ擴張ノ分ヲ、平和産業ノ方ノ大キナ者ヲ集メテ五百万圓ナリ千万圓作ラシテ行ケルモノガアル、サウスルト其ノ下ノ方ノ者ハ轉業ヲサセヌデモ、元ノ商賣デ、其ノ人ノ物モ皆廻ツテ來ルカラ、非常ニ緩和シテ來ル、設備モ幾ラカ昔ノ儘ノ家庭工業デヤツテ行ケル、今ノ生產統制カラ言ヘバ、實績ニ依ツテ來ルノグカラ、下ノ方ノ者ノ割當ガ減ツテシマフガ、大キナ所カラ持ツテ來レバ幾ラモ浮シデ來ルモノガアル、サウ云フモノハ軍需工業ノ方ニ入レヌデモ、平和産業、家庭工業デ結構出来ル、家庭工業ノ者ヲ軍需工業ニ變ヘルコトモヤレルガ、何トカ資金ヲ貸シテヤラナケレバナラヌ、施設モ講ジテヤラナケレバ

- ナラヌ、現ニ或ル平和産業ノ大キナモノヲ見テモ、其ノ人ハ別ニ食フニ困ツテ居ルノデハナイ、唯工場ノ職工ヲ減ラサナケレバナラヌト云フ程度デアル、サウ云フ者ヲ持ツテ行クコトハ餘程考ヘナケレバナラヌト思フノデアル、併シナガラ是等ノコトハ商工省ダケデイカヌコトデアリマスガ、一應此ノ點モ御考置キヲ願ヒタイト思ヒマス、別ニ私ハ御答辯ヲ要求シヨウトハ思ヒマセヌ
- 葉梨委員長代理 横口君一寸御相談申シマスガ、實ハ各派ノ申合ニ依リマシテ、質問ノ時間ヲ非常ニ制限シテヤツテ居ル譯デス、ソコデ御意見デアルナラバ、討論ノ際トカ、他ノ場合ニ御讓り願ヘマセヌカ
- 横口委員 私ハ何分ニモ素人デゴザイマシテ、何時ノ委員會デモ皆サンニ先ニ質問シテ戴イテ、私ハ一番終リニヤリマス、サウスルト何時モ時間ヲ制限セラレテ、已ムヲ得ヌト思フノデスガ、實ハ皆サンノ質問ノ時ハ出來ルダケ席ヲ離レスヤウニシテ聽いて居ルノデス、モウ一點ダケ願ヒタイト思ヒマス
- 葉梨委員長代理 簡潔ニ御願致シマス
- 横口委員 ソレハ日陶聯ノ方ノ石炭デス、之ヲ共同購入ト云フコトデ、商工省ハ色々骨ヲ折ツテ戴ケルト云フコトニナツテ居リマスガ、實ハ此ノ石炭ノ配給ト云フコトニ付テハ、昨年ノ議會中カラ鑛山局長サンヲ初々、次官ノ方へ陳情シテ皆サンニ願ツテアル、ソレガ漸ク一年バカリ過ギテカラ、云フコトデアリマスガ、アレハ一體ドンナ風ニ、進行致シテ居ルカ、是ガ圓滑ニ行クト云フ商工省ノ見透シガアルカドウカ、之ヲ承リタイ
- 東政府委員 石炭ノ配給ニ付キマシテハ、色々準備ヲ致シマシテ、四月一日カラ配給ノ統制ヲヤルコトニナツテ居リマス
- 葉梨委員長代理 次ハ阿部君ノ發言ヲ許シマス
- 阿部委員 同僚議員諸君ノ昨日カラノ御質問デ大體了解致シタノデスガ、尙ホハツキリシナイ點ハ、小工業者ト云フ定義ノ範圍ガ二万圓ト云フ最高ノ限度ヲ置イテ、ソレ以下ダト云フコトニナツテ居ルノデスガ、先程カラ工務局長カラノ御説明デ大體分ツタヤウナ氣ガシマスケレドモ、下ノ方ハドノ程度ノモノヲ實際上組織シヨウト云フ時ニ認メラレルノデスカ、モウ一回御説明ヲ願ヒタ
- 阿部委員 更ニ開聯シテ御聽キシタインガシマスガ、サウ云フ數字ノ根據ハ一體何處カラ計算サレマシテ二十七万ニナルノデスカ
- 東政府委員 是ハ屢々申上ゲマシタ通り正確ナ統計デゴザイマセヌノデ、根據ト云フモノハアリマセヌ、色々資料カラ推定ヲ致シマシタ數字デゴザイマス
- 阿部委員 ソコデ實際結成シマス場合ニ商工當局トシテハ御諒解ガ出來テ居ルシ、御考ガ明確ニナツテ居ルノデスガ、地方ニ参考ガ此ノ法案ニ依ツテ結成シヨウト致シマスリマスト極メテ貧弱ト申シマスカ、小工業者ガ此ノ法案ニ依ツテ結成シヨウト致シマシテモ、實際上制限ヲ設ケラレル虞ガアルヤウニ、過去ノ問題カラ私共ハ一つノ危惧ヲ持ツノデスガ、サウ云フ點ニ對シテ地方廳ニ對シテモ明確ニヤラセ得ルト云フ何カ御達シガアルノデセウカ
- 東政府委員 此ノ改正法律案ノ實施ニ當リマシテハ地方廳トハ十分ニ打合セヲ致シタイト考ヘテ居リマス、場合ニ依リマシテハ經濟部長會議ナリ、商工課長會議勿論開キマセウシ、ソレカラ中小工業者ノ多數居ル地方ニハ本省カラ屢々出張モ致シマシテ、打合セモ致シマスシ、又必要ガアレバ通牒等モ出シマセウシ、ソコ等ノ點ニ付テハ遺憾ナキヲ期シタイト考ヘテ居リマス
- 阿部委員 下ノ方ニハ何等制限ヲ置イ

ハ商業組合ノ方デアリマスガ、「スクラップ」ノ商業組合等ガ御承知ノヤウニ指定ニナツテ、集荷、配給ノ問題ヲヤリ得ルト言明チレタト言ハレテ居リマスケレドモ、實際組合ヲ作ツテシマツタ所ガ、サウ云フ指定ニナラナカツタト云フノデ、結局組合ハ出来タケレドモ、組合ノ目的ヲ達シ得ラレナカツタト云フ事例ガアルノデス、況ヤ將來小組合ガ完成サレマシテモ、指導ト云フ方面ニ對シテ政府當局ガモウ少シ私ハ具體的方法ヲ以テ、例ヘバ申上ゲルマデモナク現在マデノ生産機構ガ御承知ノヤウナ自由主義經濟機構ニ依ツテヤラレテ居ル、ソレガ統制強化サレテ共同運動化サレマシタ今日、此ノ組織サレヤウトスル小工業者ハ極メテサウ云フ方面ニ對スル理解ノ薄イモノト見ナケレバナリマセヌガ、サウ云フ者ヲ集メテ一ツノ組合ヲ作ツテ其ノ目的ヲ達シサセヨウトル場合ニハ、政府當局ガ力ヲ入レテ作ラレタ組合デスカラ、尙且ツ其ノ目的ガ達セラレナイモノガ東京ニ於テ二ツモ横ツテ居ルト云フ關係カラシマスト、將來此ノ組合ガ作ラレマシテモ、中央地方ニ於ケルサウ云フ意味ノ指導ヲモット具體的ニヤラネバ、私ハ結局目的ハ達セラレヌノデヤナイカト思フノデス、サウ云フ點ニ對

シテ尙ホモツト具體的ニ指導ノ方法——單ニ府縣ノ方面ニ指導員ヲ置クト云フバカリデナクシテ、何カ御者ガアレバ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○東政府委員 組合ノ指導監督ト云フコト
ガ極メテ重要デアルコトハ御話ノ通リデア
リマス、其ノ指導監督ノ具體的方法ト致シ
マシテハ、先程來屢、申上ダマシタヤウニ、
本省竝ニ地方廳ニ人ヲ増員スル、工業組合
中央會及ビ其ノ支部等ノ活動ヲ促スト云フ
以外ニ、只今ノ所ハ具體的ニ考ヘテ居リマ
セヌ

○阿部委員 私多少意見ニナリマスガ、ヤ
ハリ小組合等ハ一面ニ於テ指導監督ノ密ヲ
要シマスガ、他ノ一面ニハ自主的ノ組合ノ目
的達成ノ爲ニ進ンデ行カナケレバナラナ
イ、斯ウ思フノデス、結局資金ノ關係等ニ
於キマシテヤハリ自主的ニ行カウトスルナ
ラバ、資金ノ融通ヲ考ヘネバナラヌシ、又
サウデナイトスルナラバ、今仰セラレル
ヤウニ中央會トカラ色々ノ方面ニ於ケル
手ニソレヲ委嘱スルノ已ムヲ得ナイヤウナ
結果ガ來マスト、十人以内ノ小サナモノハ、
要スルニ過去ノ家庭工業ニ於ケル習慣ニ於
テ見ラレルヤウニ、一人ノ親方ノ下ニ職方
トカ、或ハ下請職人ダトカ云ノヤウナ立場

ニ組合全體ガ置カレルヤウナ虞ガアルト思
フノデス、サウ云フ意味カラ先程モ同僚議
員ニ依ツテ縷々御質問ガアリマシタガ、資
金ノ關係デス、是ハ商工當局ガ色々御説明
サレタノデスガ、私共ノ經驗トシマシテモ
ガ、實行方法トシマシテサウ簡単ニ行カナ
不ト云フ今日マデノ實績ヲ持ツテ居ルノデス
スガ、ソレニ對スル自信ガアルデセウカ
○東政府委員 御話ノ通り資金ノ融通ハ中
中思フヤウニ行カナイコトハ其ノ通りデア
ルト思ヒマス、併シ是ハ有ユル方面カラ資
金ノ融通ヲ圓滑ニスルト云フコトヲ考へテ
行カナケレバナラヌノデアリマシテ、先程
モ申上ゲマシタヤウニ小組合ト云フモノガ
出來マスレバ、個々ノ小工業者デハ融通ヲ
受ケラレナカツタモノガ、小組合ヲ作ツタコ
トニ依ツテ融通ヲ受ケラレルコトガアルト
考ヘマスノデ、此ノ小組合ヲ助長シテ少シ
デモ資金ノ融通ヲ圓滑ニシテ行キタイト考
ヘテ居リマス

○阿部委員 其ノ點ニ對シテ商工省ニ於テ
モ實際御調査ニナツテ居ラレルト思フノデ
スガ、例ヘバ共同責任ノ上ニ資金ノ融通ヲ
要求スル、所謂共同デ保證シテ借り得ル、
斯ウ云フコトハ昭和七年以來既ニ經驗シタ

コトデアリマス、併シ其ノ結果ガ不十分デ
アルト云フコトカラ、各地方廳ニ於テ補償
制度ノ資金ノ融通ニ變ツテ居ルノデスガ、
是亦旨ク行カナイ、サウシマスト他ノ方ニ
於テハ中央金庫カラト云フコトニナリマス、
中央金庫カラト云フコトニナレバ、實際上
有力ナル保證トカ何カガナイト事實上借リ
得ナイ、若シ信用組合ノ方ニ手ヲ伸バシマ
スルナラバ、是亦信用組合ノ方ニ投資ヲシ
ナケレバナリマセヌ、庶民金庫ハト云フコ
トニナルト、庶民金庫ハ一人々々ガ單位デ
アリマスカラ、共同デ借リルコトガ出來ナ
イ、サウスルト結局公設質屋ニ下ツテ來ナ
ケレバナラヌ、公設質屋ハ一世帶五十圓^デ
アリマスカラ、十世帶集マリマシテモ大シ
タモノデモナイ、特殊銀行ガアリマシテモ、
アンナモノハ今度創定シタ所ノ小工業組合
ニハ殆ド縁ノナイ話デアル、サウスルト當
局ニ於テハ各方面カラト云フ意味ニ於キマ
シテ、資金ノ融通ヲ計畫サレ御考ニナツテ
居ルヤウデアリマスケレドモ、實際茲ニ小
組合ガ出來タ、サウシテ或ル一定ノ拂込モ
シタ、併シソレデハ事實上ノ共同設備ヲシ
テ、サウシテ更生ノ目的ニ達シ得ルヤウナ
事業ヲヤツテ行カウトスルニハドウシテ
モ足リナシ、其ノ場合ニ何處カ目當ガ

ハツキリシナケレバ、唯組合ヲ作ツテ共
同運動性ヲ彼等ニ植付ケルト云フダケデ
ハ、今日ノ所謂中小工業、殊ニ小工業者ノ
更生ト云フコトハ覺束ナイ、考へ方ニハ私
共贊成デアリ、滿腔ノ敬意ヲ表シテ居ルノ
デアリマスガ、運用ノ上ニ於テサウシタ資
金關係ガモツト——何ト言ヒマスカ、見透
シノ付ケラレルヤウナ金融ノ途ヲ、例ヘバ
中央金庫ガ輸出業トカ、或ハ商業組合、工
業組合ト云フモノニ入ルナラバ、其ノ組合
ヲ通シテ借リラレルトカ、或ハ市街地信用
組合ニ入ルナラバ、ソコカラ金ヲ借リラレ
ルトカ云フヤウナ見透シガ付イテ居レバ、
斯様ナ方法ニ依ツテ資金ノ融通ノ途ヲ發見
シマスガ、今日乍ラウツル小組合ハ、何
處デ金融ノ途ヲ得ルカト云フコトハ、過去
ノ色々々ノ經驗カラ、將來ヲ豫測スル以外ニ
ナイト思フノデスガ、其ノ點ニ對シテ商工
當局ニ、モウ少シ何處カニ見透ノ付ク金融
ノ方法ガアルカドウカ、御聽カセヲ願ヒタ
イ

ツテ居ルノデアリマス、其ノ他勿論各種ノ銀行等カラ資金ノ融通ヲ受ケルコトハ是ハ勿論デアリマス、今連帶保證ノ御話ガヨモイマシタガ、普通ノ工業組合ノ場合デアリマスト、其ノ組合員ノ資力信用ト云フヤウ力信用ノ違フ者ガ連帶保證デ金ヲ借リルト云フコトハ、困難ナ事情ガアルト思フノデアリマス、併シナガラ小組合ニナリマスト其ノ邊ノ事情ガ餘程變ツテ來ルノデハナイカ、即チ極ク小人數デ、而モ同ジヤウナ程度ノ業者デ、其ノ上一緒ニナラウデハナイカト云フヤウナ氣ノ合ツタ人達ダケデ小組合ヲ作ルノデアリマスカラ、非常ニ金融ノ上ニモ便利ガアルノデハナイカト考ヘテ居ルノデアリマス

○葉梨委員長代理　是ニテ質疑ハ終了致シマシタ、直チニ討論ニ入りタイト思ヒマス、御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○葉梨委員長代理　ソレデハ討論ニ入りマシテ、卯尾田毅太郎君

○卯尾田委員　私ハ立憲民政黨ヲ代表致シイト思フノデアリマス、御承知ノ通り、工業組合法ハ大正十四年施行セラレマシテ、

三回ノ改正ヲ經テ今回ノ改正ニナツテ居リ
マス、申スマデモナク工業者ガ工業ノ改良
發達ヲ期スル爲ニ、共同施設ヲ爲スコトガ
主ナル目的デアリマシタケレドモ、支那事
變ガ勃發致シマシテカラ、統制經濟ノ強化
ガ自然配給機關ニマデ、重要ナ時局ノ役割
ヲ爲シツツアル現狀デアリマスノミナラズ、
生産等ノ關係カラ、遂ニ統制ノ強化ガ失業、
休業、轉業ニマデ同組合ニ關聯ヲ持ツヤウ
ニ相成ツタノデアリマス、茲ニ本案ノ提出
ガアリ、サウシテ指導誘掖、監督助成ヲ徹
底セシムルコトニ依ツテ、小組合ノ活用ヲ
一層有效ナラシメネバナラナイト思ヒマ
ス、隨テ監督ノ強化ハ却テ斯業ノ圓滿ナル
發達ヲ阻害セザルヤウニ、適正ナル運用ヲ
期シタイト願ツテ已ミマセヌ、尙ホ統制經
濟ノ徹底ハ、自然失業休業ヲ續出セシムル
現情ニ鑑ミマシテ、轉業等ニ關シテモ、特
殊ノ對策ヲ講ジ、中小工業者ノ保持ニ萬遺
憾ナイヤウニ努メラレムコトヲ望ミマス、
更ニ最後ニ重要物產同業組合ノ利用更生ニ
對シテモ一段ノ考慮ヲ煩ハシタイト思ヒマ
ス、斯ノ如キ意見ヲ述ベマシテ本案ニ賛成
致シマス

シテ、本案ニ對シテ贊成ノ意ヲ表シマス、
唯第二十條ノ三デアル事實的ニ選任サルベ
キ理事、監事ノ選任又ハ解任ノ權限ヲ行政
官廳ニ與ヘルト云フコトハ、原則ト致シマ
シテハ私共ハ之ニ反對デアリマス、併シナ
ガラ現在ノ事變下ニ於ケル情勢トシテ、物
資ノ配給其ノ他ノ關係上、是ハ已ムヲ得ザ
ル、モノト考ヘマシテ、之ニ贊意ヲ表スル者
デアリマスルガ、先日來屢々質疑應答ヲ重
ネラレマシテ此ノ點ニ對シテハ商工當局ト
シテハ、決シテは濫用ハシナイ、特ニ必
要アリト認ムル場合ト云フコトヲ力説サレ
タノデアリマスカラ、之ニ信賴シテ贊意ヲ
表スルノデアリマスルガ、更ニ此ノ機會ニ
於テ此ノ點ニ對スル商工當局ノ御言明ヲ得
タイト考ヘル著デアリマス、又希望ト致シ
マシテハ、是ハ要スルニ戰時事變下ニ於ケ
ル變則的ナ規定デアリマスカラ、事變ガ終
了致シマシテ常態ニ復シタ場合ニハ、斯ノ
如キ規定ハ一日モ速ニ改正セラレンコトヲ
希望スル次第デアリマス、此ノ點ヲ申上ゲ
マシテ、本案ニ贊成ノ意ヲ表シマス

マシテ、現在銃後對策トシテ、塗炭ノ苦ニ
アル所ノ中産以下ノ人達ガ救濟サレルト云
フヤウナ運ビニナツタト云フコトハ、私心
カラ喜ンデ居リマス、只今マデニ承リマシ
タ其ノ金額ガ極メテ輕微デアリマシテ、而
モ其ノ資金ノ融通性ニ於テ相當拘束ヲ受ケ
ルモノガアリ、斯様ナ點カラ致シマシテ、
此ノ組合ガ運行セラレテ行ク所ノ前途ニ對
シマシテ幾多ノ暗影ヲ持ツテ居リマスルケ
レドモ、此ノ點ハ行政ノ衝ニ當ラレル所ノ
商工當局ハ、努メテ銃後ニ喘イデ居ル所ノ
中産以下ノ、今回特ニ御認可ニナリマシタ
小組合ノ人達ヲ實際的ニ生カシテ行ク爲ニ
ハ萬全ノ處置ヲ執ラレマシテ、銃後對策ニ
於ケル戰時物資、平和產業、此ノ兩方面ニ
於ケル色々今問題ニナツテ居ル人達ノ救濟
ヲ完全ニヤツテ戴キタイト考ヘテ居リマス、
此ノ點ヲ特ニ私ハ強調致シテ置キタイト存
ジマス、其ノ外ノコトニ關聯致シマシテハ、
此ノ小組合、既設ノ組合、ソレカラ聯合會
トノ間ニ於テ、物資ノ配給ニハ極メテ合理
的ナ圓滑サヲ持ツテ貰ヒタイ、サウシテ下
ニ厚ク上ニ薄イ、是ガ是マデノ指導精神デ
アラレタト思フノデスガ、特ニ此ノ小組合
側ニ於ケル物資ノ配給モ下ニ厚イト云フ態
度ニ出デラレタイト考ヘテ居リマス、前者

ガ言ハレマシタ本組合ノ二十條ニ關聯シテ
ノ綏制ハ、傳家ノ寶刀デアツテ、ソレヲ誤
宜ニ適シタ方法ト感ズルノデアリマス、併
ルガ如キコトガアリマシタナラバ、組合ノ
精神ヲ冒瀆スルヤウナ形ニナリマスカラ、
此ノ點ノ御留意ハ當然過ギル程當然デアリ
マス、併シ此ノ二ツノ工業組合ノ指導精神
ト云フモノノ完全ナル運營ニ對シマシテ、
商工省ハ萬全ヲ期セラレマシテ、工業組合
ノ指導精神ガ完全ニ此ノ時局ニ運營セラレ
テ行クト云フコトヲ希望致シマシテ私ノ意
見ヲ終リマス

○葉梨委員長代理 阿部茂夫君

○阿部委員 私ハ社會大衆黨ヲ代表致シマ
シテ本改正案ニ對シテ贊意ヲ表スル者デア
リマス、戰時體制下トハ云ヘ、今日全國内
ニ於ケル有ユル職業、產業ノ階級戰線ニ於
テ最モ窮迫シ、最モ時局ノ影響ノ惡結果ニ
沈淪致シテ居リマスモノハ申スマデモナ
ク今日ノ中小商工業者ノ實情デアリマス、
殊ニ家庭工業者ト總稱サレテ今日マデ參リ
マシタ小企業家、小工業者ノ原料不足ト金
融ノ梗塞カラ來ル、サウシテ平和產業ノ時
局下ニ於ケル壓迫カラ來ル困窮ノ狀態ハ、
正ニ憂フベキ狀態ニマデ行ツテ居ルノデア
リマス、此ノ際ニ當局ガ小組合ノ制度ヲ創
始サレテ、共同主義ニ依ツテ更生ノ一途ヲ

迦ラスベク法制化サレマシタコトハ洵ニ時
シ是ガ將來ニ向ツテノ施行運營ノ立場ニ於
テ考ヘマスル時ニ、尙ホ左ニ述べマスルヤ
ウナ疑點ガアリマスルノデ、此ノ點ハ商工
當局ニ於キマシテモ十二分ニ御留意アツテ、
萬善ノ方法ヲ講ゼラレタイト思フノデアリ
マス、先づ第一點ハ、先程モ申上ゲマシタ
所謂小組合ノ運營ニ於ケル金融ノ圓滿ナル
流通デアリマス、第二點ハ是等ノ小組合ノ
全員ニ對シテノ產業機構ノ變革過程ニ於ケ
ル統制經濟ノ此ノ内容ト、共同運動ニ依ツ
テノ更生方針ノ指導ノ問題デアリマス、第
三點ハ既成ノ工業組合及ビ中央會、聯合會
等ト此ノ小組合ノ間ニ於ケル物資ノ圓滿
ナル流通性ト資材ノ圓滑ナル配給ト利潤ノ
公平ナル分配、斯ウ云フ問題ニ對シテ施行
上商工當局ニ於カレマシテハ十二分ノ御注
意ヲ拂ハレテ、萬善ノ方策ヲ講ジ、サウシ
ニアリマス所ノ小工業者ノ更生ト救濟ト云
テ先程申シマシタ今日ノ一番疲弊ノドン底
ニアリマス、本法案施行ニ當ツテ十二分ニ考
マス

○葉梨委員長代理 採決ニ入リマス、本案
ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ求ヌマス
〔總員起立〕

○葉梨委員長代理 全會一致ト認ヌマス、
本案ハ是ニテ可決致サレマシタ
〔拍手起立〕

○葉梨委員長代理 本日ハ是ニテ散會致シ
マス

午後四時二十分散會

昭和十四年三月二十一日印刷

昭和十四年三月二十一日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局